

平成28年度

# 新居浜市の教育

平成28年度の計 画  
平成27年度のあゆみ

新居浜市教育委員会

## — 望ましき市民像 —

- 文化を尊重し、そのために貢献する創造的で教養ある市民
- すべての人々を敬愛るとともに、真理と正義にたって行動する市民
- 科学精神を身につけ、生活の合理化を図り、勤労にいそしむ市民
- 健康明朗で強い精神を持ち、情操豊かな市民
- 社会の改良、公共の福祉に参加して、郷土の発展に努める市民

(市の教育方針として昭和29年4月教育委員会が策定)

## — めざす都市像 —

第五次新居浜市長期総合計画では、将来都市像を「—あかがねのまち、笑顔輝く— 産業・環境共生都市」と定め、次の4つの理念を基本にまちづくりを推進しています。

- 1 市民が安全・安心を実感できるまちづくり
- 2 市民、団体、事業者と行政が一体となったまちづくり
- 3 市民が郷土に誇りと愛着を持てるまちづくり
- 4 子どもたちの未来に責任が持てるまちづくり

# 目 次

平成28年度の計画	1
新居浜市教育大綱	3
教育委員会の沿革	4
教育長、教育委員、歴代教育委員	8
教育委員会事務局組織図、職員数	10
事務局事務分掌	11
教育費歳出予算（目別、平成27・28年度当初予算）	12
年度別教育費歳出決算（目別、平成22～27年度）	13
<b>社会教育課</b>	
1 重点目標、最重要課題、重点事項	14
2 社会教育委員名簿、放課後児童クラブ一覧表	16
3 公民館等一覧表	17
4 公民館事業計画	18
<b>青少年センター</b>	
1 重点目標、重点事項	36
2 施設状況、地区別少年補導委員の状況	37
<b>生涯学習センター</b>	
1 重点目標、重点事項、施設状況	38
<b>高齢者生きがい創造学園</b>	
1 重点目標、重点事項、施設状況	39
<b>学校教育課</b>	
1 重点目標、めざす子ども像、スローガン、最重要課題、重点事項	40
2 新居浜市教育研究所の概要	42
3 学校教育計画資料	44
4 平成28年度児童・生徒・園児・教職員数	46
5 学校等一覧	50
6 通学区域	54
7 園児・児童・生徒数の推移（平成23～32年度）	56
8 中学校卒業者の進路状況	57
<b>発達支援課</b>	
1 重点目標、最重要課題、重点事項	58
2 発達支援システムイメージ図	60
<b>学校給食課</b>	
1 重点目標、重点事項、施設状況	61
2 学校給食運営組織図	62
3 新居浜市学校給食の推移	63
<b>スポーツ文化課</b>	
1 重点目標、重点事項、課題	64
2 体育施設一覧表、教育施設一覧表、文化施設一覧表	65
3 国指定文化財、県指定文化財、市指定文化財、登録有形文化財	67

## 広瀬歴史記念館

- 1 重点目標、重点事項、施設状況 ..... 70
- 2 平成28年度事業計画 ..... 71

## 図書館

- 1 基本方針、重点目標、重点事項、施設状況 ..... 72
- 2 蔵書冊数 ..... 73

## 総合文化施設・美術館（あかがねミュージアム）

- 1 重点目標、重点事項、施設状況 ..... 74
- 2 施設の概要、平成28年度事業計画 ..... 75

## 平成27年度のあゆみ ..... 77

### 教育委員会の主な施策と実績 ..... 79

- 1 平成27年度決算額 ..... 79
- 2 主な施設の建設及び環境整備事業 ..... 82

### 社会教育課の主な施策と実績 ..... 83

- 1 地域教育力向上プロジェクト事業 ..... 83
- 2 地域コミュニティ再生支援事業 ..... 83
- 3 学校支援本部事業 ..... 83
- 4 放課後子ども教室 ..... 83
- 5 放課後児童クラブ ..... 83
- 6 こころのことばコンクール ..... 83
- 7 別子ハイツ自然学習館の利用状況 ..... 84
- 8 学校体育施設開放の利用状況 ..... 85
- 9 公民館事業報告 ..... 86
  - 新居浜公民館 ..... 86
  - 口屋跡記念公民館 ..... 88
  - 地域交流センター ..... 90
  - 金栄公民館 ..... 92
  - 高津公民館 ..... 94
  - 浮島公民館 ..... 96
  - 惣開公民館 ..... 98
  - 若宮公民館 ..... 100
  - 垣生公民館 ..... 102
  - 神郷公民館 ..... 104
  - 多喜浜公民館 ..... 106
  - 大島交流センター ..... 108
  - 泉川公民館 ..... 110
  - 中萩公民館 ..... 112
  - 船木公民館 ..... 114
  - 大生院公民館 ..... 116
  - 角野公民館 ..... 118
  - 別子山公民館 ..... 120

<b>青少年センターの主な施策と実績</b>	122
1 運営協議会	122
2 街頭補導	122
3 相談活動	122
4 関係機関・団体との連絡連携	123
5 青少年善行表彰	123
6 青少年健全育成の活動状況	123
<b>生涯学習センターの主な施策と実績</b>	124
1 生涯学習センター事業報告	124
2 生涯学習大学の開設	124
<b>高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績</b>	125
1 高齢者生きがい創造学園事業報告	125
<b>学校教育課の主な施策と実績</b>	126
1 教職員研修の推進	128
2 教育研究所の歩み	129
3 適応指導教室（あすなろ教室）の歩み	129
4 教育における国際化への対応	130
5 中学生による国際交流事業	131
6 奨学金等	132
7 新居浜市寺尾音楽教育振興基金	135
8 新居浜市工藤交通災害遺児修学基金	135
9 就学援助制度	136
10 幼稚園就園奨励事業	136
11 私学助成	138
12 学校保健	138
13 学校体育活動の推進	139
14 人権・同和教育実践の状況	140
<b>発達支援課の主な施策と実績</b>	141
1 学校特別支援教育支援員の配置	141
2 教育支援委員会の開催状況	142
3 校区外自閉症・情緒障がい学級通学費補助	142
4 新居浜市地域発達支援協議会の開催状況	142
5 総合相談の実施状況	142
6 巡回相談の実施状況	143
7 発達検査の実施状況	143
8 早期療育通園事業（親子通園事業）の実施状況	143
9 ペアレントトレーニングの実施状況	144
10 講演会等の開催状況	144
11 ソーシャルスキル支援事業	146
12 聴覚障がい児相談事業	146
13 特別支援教育就学奨励費	146

<b>学校給食課の主な施策と実績</b> .....	148
1 学校給食の意義 .....	148
2 学校給食の運営等 .....	148
3 学校給食の充実等 .....	148
4 主な主催行事 .....	148
5 給食の状況 .....	148
<b>スポーツ文化課の主な施策と実績</b> .....	149
1 市民体育・スポーツの振興 .....	149
2 市民体育振興事業 .....	149
3 競技力向上事業 .....	149
4 講習会・研修会事業 .....	149
5 野外活動施設整備と運営 .....	149
6 芸術文化活動 .....	150
7 文化財の保存活用 .....	150
8 体育文化施設の充実 .....	150
9 総合文化施設建設計画 .....	150
10 総合体育施設建設計画 .....	150
11 総合型地域スポーツクラブ設立 .....	150
12 (公財)新居浜市文化体育振興事業団 .....	150
13 銅山の里自然の家利用状況 .....	151
14 体育施設・文化施設年度別利用状況 .....	151
15 平成27年度体育施設等月別利用状況 .....	152
16 平成27年度月別利用状況(市民文化センター) .....	154
<b>広瀬歴史記念館の主な施策と実績</b> .....	156
1 展示内容等 .....	156
2 資料の収集状況 .....	156
3 平成27年度事業実績 .....	156
4 平成27年度月別観覧者内訳 .....	156
<b>図書館の主な施策と実績</b> .....	157
1 図書館の利用状況 .....	157
2 主な事業 .....	158
<b>総合文化施設(あかがねミュージアム)の主な施策と実績</b> .....	162
1 月別入館者数 .....	162
2 平成27年度新居浜市美術館展示内容 .....	162
3 平成27年度主なイベント .....	162
4 教育普及事業、ワークショップ .....	163

# 平成28年度の計画

# 新居浜市教育大綱

## ～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

施策	望ましい姿	基本計画
1 学習活動の充実	誰もが学べる環境をつくります	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生涯学習機会の内容充実</li> <li>2. 生涯学習関連施設・機能の充実</li> <li>3. 高等教育機関との連携充実</li> <li>4. 図書館機能の充実</li> </ol>
2 地域づくりの推進	住民主体の地域づくりを推進します	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域課題を解決する住民活動の推進</li> <li>2. 地域を担う人材の育成</li> <li>3. 郷土愛を育むための活動の推進</li> </ol>
3 家庭、地域の教育力の向上	社会全体で子どもを育てる体制をつくります	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子育て世代に対する家庭教育の充実</li> <li>2. 学社融合の推進</li> <li>3. 青少年健全育成の推進</li> </ol>
4 学校教育の充実	生きる力を育みます	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域に開かれた特色ある学校づくり</li> <li>2. 社会変化に対応した多様な教育の推進</li> <li>3. 児童・生徒の健全育成</li> <li>4. 教育施設・教育環境の整備充実</li> <li>5. 幼児教育の推進</li> </ol>
5 特別支援教育の充実	個々に適した支援を行います	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 早期からの教育相談・支援の充実</li> <li>2. 特別支援教育の充実・体制の整備</li> <li>3. 地域生活における自立に向けた支援体制の整備</li> </ol>
6 芸術文化の振興	芸術文化の香りを未来に伝えます	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 芸術文化活動の推進</li> <li>2. 芸術文化施設の整備・充実</li> <li>3. 文化財の保護と活用</li> </ol>
7 スポーツの振興と競技力の向上	いつでもどこでも誰でもスポーツを楽しむことができます	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会体育の推進</li> <li>2. 競技スポーツの振興</li> <li>3. 施設環境の整備</li> </ol>
8 近代化産業遺産の保存・活用の充実	生きた博物館都市を目指します	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 別子銅山の近代化に携わった人々に学び、伝承・発信を促進</li> <li>2. 別子銅山近代化産業遺産のネットワークの促進</li> <li>3. 別子銅山近代化産業遺産の保存・整備の推進</li> <li>4. あかがね基金の育成</li> <li>5. 多喜浜塩田文化の保存・継承</li> </ol>
9 人権の尊重	人権尊重のまちづくりを推進します	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会における人権・同和教育及び啓発の推進</li> <li>2. 学校における人権・同和教育の推進</li> <li>3. 人権擁護体制の充実</li> </ol>

# 教育委員会の沿革

- 27年 4月 市庁舎落成  
8月 「義務教育費国庫負担法」 公布  
11月 新居浜市教育委員会設置 新居浜市教育委員会事務局設置
- 28年 5月 神郷村・垣生村・多喜浜村・大島村合併  
7月 「青少年問題協議会設置法」 公布  
12月 市営野球場設置
- 29年 6月 「へき地教育振興法」 「学校給食法」 公布
- 30年 3月 泉川町・中萩町・船木村・大生院村合併  
泉川公民館・船木公民館設置  
4月 社会教育委員会設置  
6月 青年学級開校
- 31年 2月 大島公民館・惣開公民館設置  
3月 「就学奨励援助法」 公布  
6月 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」 公布  
7月 「文化財保護条例」 制定  
12月 「幼稚園設置基準」 告示 多喜浜公民館設置
- 32年 6月 川東支所開所
- 33年 4月 神郷公民館・高津公民館設置 教育研究所設置  
「義務教育学校施設費国庫負担法」 「学校保健法」 公布  
5月 「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」 公布
- 34年 4月 郷土館設置 角野町合併 王子幼稚園・神郷幼稚園設置  
12月 「日本学校安全会法」 公布
- 35年 4月 市立商業高等学校設置  
10月 上部支所開所
- 36年 6月 「スポーツ振興法」 公布  
9月 大島地域・離島振興法適用  
10月 中学校全国一斉学力テスト実施
- 37年 3月 「教科書無償法」 公布  
11月 市民文化センター設置 中央公民館設置
- 39年 1月 東予新産業都市指定  
4月 記念会館設置 重量挙げ練習場設置 弓道場設置 武徳殿設置  
「奨学資金貸付基金条例」 制定  
7月 青少年問題協議会設置 少年補導センター設置
- 40年 5月 勤労青少年ホーム設置
- 42年 3月 市樹クスノキ 市花ツツジ 制定
- 44年 7月 「同和对策事業特別措置法」 公布
- 45年 4月 「入学準備金貸付基金条例」 制定  
10月 第1回市民体育祭開催（以後毎年開催） 口屋跡記念公民館設置  
12月 山根市民グラウンド設置
- 46年 5月 「義務教育教員給与特別措置法」 公布  
7月 第1回憲法を暮らしに生かす市民の集い開催  
10月 テニスコート設置  
12月 「特別奨学基金条例」 制定 スポーツ振興審議会設置
- 47年 4月 川東中学校開校（神郷中・垣生中・多喜浜中・大島中統合）  
市民プール開設 体育施設建設基金設置 第一次長期総合計画策定  
6月 社会教育指導員設置  
11月 市民憲章 制定
- 48年 4月 桃山学院短期大学開校 別子銅山休山
- 49年 2月 「教員人材確保法」 公布

5月 市立学校体育施設開放  
 8月 市民福祉会館設置  
 50年 4月 金子公民館設置 心身障害児就学指導委員会設置  
 7月 「私立学校振興助成法」公布  
 8月 市立商業高校夏の高校野球で準優勝  
 51年 3月 泉川公民館新築  
 9月 身体障害者福祉センター設置  
 12月 「青野記念奨学基金条例」制定  
 52年 7月 市民体育館設置  
 54年 2月 中央児童センター設置  
 6月 滝の宮トリム公園設置 角野公民館新築  
 55年 3月 新庁舎落成 惣開公民館・船木公民館新築  
 4月 第二次長期総合計画策定 生徒指導推進事務局設置 新設校推進臨時事務局設置  
 10月 郷土美術館設置  
 56年 3月 大島公民館新築  
 4月 金栄公民館設置  
 57年 4月 豊かな心を育てる施策推進モデル指定 若宮公民館・浮島公民館設置  
 58年 4月 新居浜公民館設置  
 59年 4月 青少年健全育成推進事務局設置  
 12月 美術館建設推進臨時事務局設置  
 60年 3月 新居浜市文化振興基金条例制定  
 東中・中萩小・船木小校舎増改築  
 中萩中プール増改築  
 6月 市営野球場改築  
 61年 2月 重量挙練習場改築 中萩小プール増改築  
 3月 神郷公民館新築 生徒指導推進事務局廃止  
 8月 財団法人新居浜市文化体育振興事業団設立  
 62年 1月 中学校柔剣道場新築（～元年度）  
 2月 新居浜小学校改築 東中体育館増改築  
 3月 山根総合体育館設置 多喜浜公民館増改築  
 63年 3月 船木中・泉川中・北中校舎改築 宮西小プール増改築  
 10月 山根屋内プール完成  
 11月 銅山の里自然の家新築  
 元年 1月 角野中校舎増築  
 3月 若宮小校舎改築 南中体育館増改築  
 10月 「寺尾音楽教育振興基金条例」制定  
 2年 2月 部室整備（中萩中・大生院中） 大生院中体育館増改築  
 3月 プール増改築（新居浜小・惣開小） 垣生公民館新築  
 桃山学院短期大学閉校 市立商業高校県立移管  
 4月 第三次長期総合計画策定  
 3年 3月 船木中体育館増改築 泉川中体育館、屋上プール増新築  
 部室整備（船木中・泉川中） 中萩公民館増改築 大島教育集会所新築  
 4月 生涯学習センター設置  
 12月 パソコン教室設置（西・南・北中）  
 4年 2月 川東中部室整備  
 3月 金栄小体育館増改築 金子小プール増改築 口屋跡記念公民館改修  
 銅山の里自然の家集会所棟新築 別子銅山記念図書館住友より寄贈  
 4月 広瀬記念邸設置  
 5年 3月 大生院公民館増改築 文化振興会館改築  
 北中プール増改築 北中部室整備  
 パソコン教室設置（川東・東・船木・泉川・角野・中萩・大生院中）

4月	高齢者生きがい創造学園設置
6年 3月	部室整備（東中・西中・南中・角野中）
	高津小プール増改築
7年 3月	高津公民館増改築
	多喜浜小屋内運動場改築
	泉川小プール増改築
	船木小運動場造成
9月	小学校パソコン教室設置
8年 3月	若宮小プール改築
	川東中屋内運動場大規模改造
9年 3月	広瀬歴史記念館完成
	神郷小屋内運動場大規模改造
	大島小プール新築
9月	生涯学習都市宣言制定
10年 2月	高津小北校舎大規模改造
10月	東中完全給食開始
11年 1月	心の教室整備（東中）
7月	市営サッカー場（グリーンフィールド新居浜）完成
8月	心の教室整備（中萩中、川東中）
10月	泉幸吉文庫開設（別子銅山記念図書館）
12年 3月	西中北校舎棟改築
	男女共同参画都市宣言制定
4月	地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律（地方分権一括法）施行
9月	心の教室整備（北中、泉川中）
13年 3月	学校給食センター完成
4月	西・南・北・船木・泉川・角野・中萩・川東中学校完全給食実施
	船木小学校わかば分教室開設
	船木中学校ひびき分校開校
6月	第四次長期総合計画策定
10月	心の教室整備（南中・角野中）
11月	西中南校舎棟外改築
14年 4月	学校週5日制の完全実施
15年 1月	心の教室整備（船木中・大生院中）
3月	垣生小学校プール改築
4月	別子山村との合併により別子小学校、別子中学校、教職員住宅、別子山公民館、別子山ふるさと館、別子山市民プール、別子山市民グラウンドが加わる
	総務課を廃止、同課の業務を社会教育課と学校教育課に移管
	同和教育課を廃止、同課の業務と大島教育集会所を人権擁護課に移管
	生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園を市民活動推進課に移管
	多喜浜体育館（旧勤労者体育センター）を商工観光課から体育文化課に移管
	新設校推進臨時事務局廃止
	視聴覚ライブラリー廃止
	教職員住宅保土野寮B棟焼失
6月	旧広瀬家住宅が国の重要文化財に指定
7月	泉川公民館新築
16年	台風の被害、避難所の設置
3月	武徳殿 国の登録有形文化財登録
17年 1月	子ども見守り隊結成
3月	角野小学校プール改築
18年	耐震補強工事の実施
	（角野小・宮西小・高津小・若宮小・泉川小・惣開小・中萩小・浮島小） 体育館

3月	新居浜市伝える力を育てる教育特区（英語で話そう科・表現科）認定
9月	新居浜市こども夢未来基金創設
19年	耐震補強工事の実施（金子小・大生院小・西中・川東中） 体育館 （船木小・金子小・泉川小・中萩中） 校舎
20年	耐震補強工事の実施（金栄小・中萩小・高津小・垣生小・東中） 校舎
4月	発達支援準備室設置 新居浜・西条地区広域市町村圏事務組合の解散により、同組合の施設「別子ハイッ 自然学習館」が新居浜市に帰属 地域主導型公民館へ移行（金子公・惣開公・若宮公・泉川公）
21年	耐震補強工事の実施（角野小・神郷小・大生院小・惣開小・角野中・船木中・泉川中） 校舎
4月	発達支援課設置 地域主導型公民館へ移行（新居浜公・金栄公）
22年	大規模改造工事の実施（神郷小・中萩小・角野小・別子小中・川東中） 校舎
4月	太陽光発電設備設置工事（新居浜小外26校） 新居浜市地域交流センター設置（金子公民館廃止） 地域主導型公民館へ移行（口屋跡記念公・高津公・浮島公・垣生公・神郷公・多喜浜公・ 船木公・大生院公）
10月	こども発達支援センター開所
23年 3月	北中学校体育館改築
4月	生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園が市民活動推進課から移管 放課後児童健全育成事業の移管 地域主導型公民館へ移行（中萩公民館・角野公民館） 第五次長期総合計画策定 体育文化課を廃止、スポーツ文化課設置 耐震補強工事の実施（多喜浜小・北中・角野中） 校舎
24年 3月	新居浜市神郷学習館及び垣生学習館を廃止 大規模改造工事の実施（角野小） 校舎 耐震補強工事の実施（宮西小・浮島小・南中） 校舎
25年	アセットマネジメントにより、公民館施設環境整備事業で、公民館の外壁塗装（惣開公民 館・若宮公民館・大生院公民館）、公民館の屋上防水（神郷公民館・大生院公民館体育館） 等を実施 金栄小学校プール建設 多喜浜体育館防水外壁改修を実施
3月	神郷公民館駐車場を拡張
27年 4月	大島小学校（廃校）を利用して大島交流センターを新設（大島公民館は廃止） 学校図書館支援センターを学校教育課内に設置
5月	多喜浜公民館耐震補強及び大規模改修
7月	新居浜市総合文化施設・美術館開館 口屋跡記念公民館耐震補強及び大規模改修
28年 3月	新居浜市立郷土美術館閉館

# 教 育 長

職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
教 育 長	関 福 生	平成28年 4月 1日	

## 教 育 委 員

職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
教 育 委 員	三 木 由紀子	平成21年 6月 27日	
教 育 委 員	伊 藤 嘉 秀	平成22年12月 24日	
教 育 委 員	宮 内 文 久	平成23年12月 24日	
教 育 委 員	長 野 美和子	平成23年12月 24日	

## 歴 代 教 育 委 員

公選された教育委員

氏 名	就 任 年 月 日	離 任 年 月 日	備 考
小 野 基 道	昭和 27年11月 1日	昭和 31年 9月 30日	初代教育委員長
大 場 英 雄	" 27年11月 1日	" 31年 9月 30日	二、三代教育委員長
村 上 精 逸	" 27年11月 1日	" 31年 9月 30日	四代教育委員長
加 藤 長 次	" 27年11月 1日	" 30年 4月 22日	
青 野 重 馬	" 27年11月 1日	" 30年 4月 22日	議会選出
黒 川 晋	" 30年 5月 2日	" 31年 9月 30日	
高須賀 佐太郎	" 30年 5月 2日	" 31年 9月 30日	議会選出

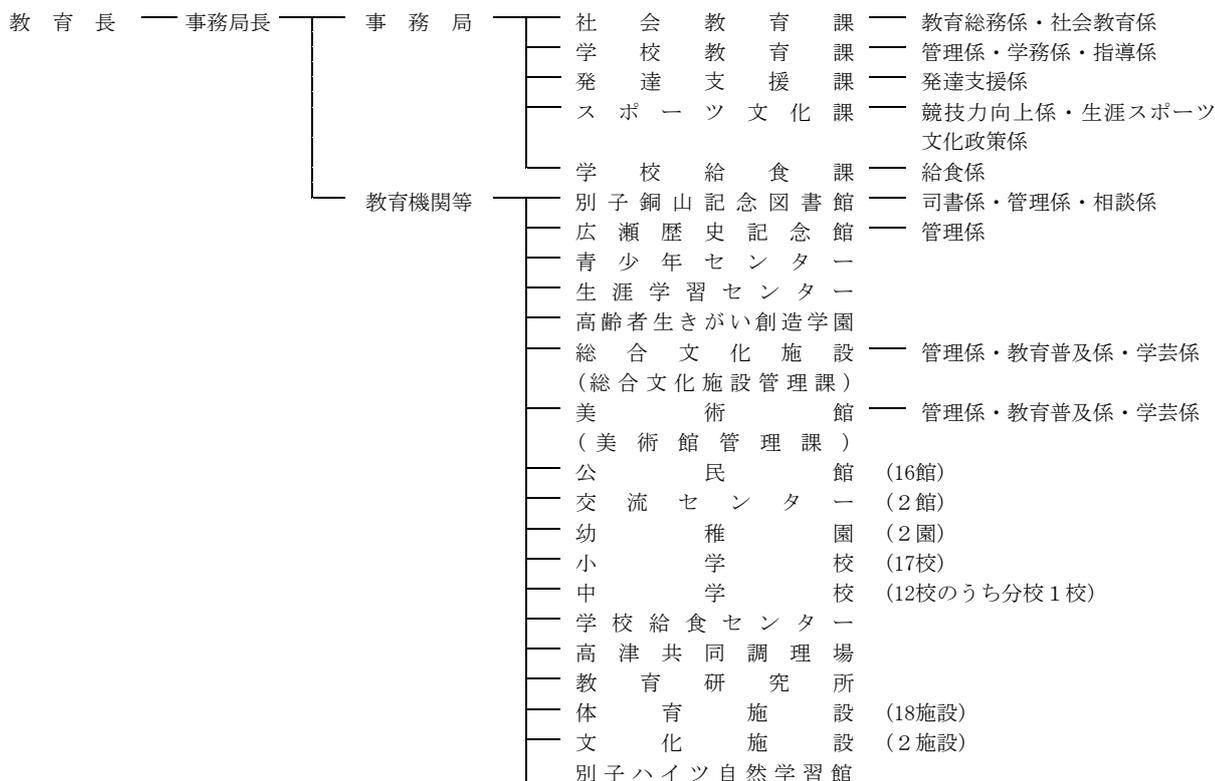
任命された教育委員

氏 名	就 任 年 月 日	離 任 年 月 日	備 考
大 場 英 雄	昭和 31年10月 1日	昭和 32年 9月 30日	五代教育委員長
久 門 英 雄	" 31年10月 1日	" 33年 9月 30日	六代教育委員長
黒 川 晋	" 31年10月 1日	" 34年 9月 30日	七代教育委員長
三 浦 義 一	" 31年10月 1日	" 35年 9月 30日	八代教育委員長
加 藤 実	" 31年10月 1日	" 35年 9月 30日	教育長を兼ねる
三 野 担	" 32年10月 1日	" 34年 4月 3日	
高 橋 玉 置	" 33年10月 1日	" 37年 9月 30日	九代教育委員長
永 井 伊三郎	" 34年 5月 30日	" 36年 9月 30日	
山 下 桂太郎	" 34年10月 8日	" 38年10月 7日	十代教育委員長
久 米 申	" 35年10月 1日	" 38年12月 13日	十一代教育委員長
加 藤 実	" 35年10月 1日	" 39年 9月 30日	教育長を兼ねる
亀 井 清太郎	" 36年10月 30日	" 40年10月 29日	十二代教育委員長
神 野 一 郎	" 37年10月 12日	" 41年10月 11日	十三、四代教育委員
山 下 桂太郎	" 38年10月 8日	" 42年10月 7日	十六代教育委員長
岡 本 悦 良	" 39年 3月 25日	" 39年 9月 30日	
岡 本 悦 良	" 39年10月 1日	" 43年 9月 30日	十五、七代教育委員
岡 本 虎 義	" 40年12月 4日	" 44年12月 3日	
神 野 一 郎	" 41年10月 12日	" 45年 6月 13日	十八代教育委員長
栗 原 利得喜	" 42年 4月 1日	" 46年 3月 31日	教育長を兼ねる
藤 田 秀 朋	" 42年12月 22日	" 46年12月 21日	十九代教育委員長
近 藤 続 行	" 43年12月 22日	" 47年 2月 21日	
斉 藤 一	" 45年 7月 4日	" 49年 7月 3日	二十代教育委員長
岡 虎 義	" 45年 7月 4日	" 45年10月 11日	
岡 虎 義	" 45年12月 21日	" 49年12月 20日	二十一代教育委員長
村 上 哲 亮	" 46年 8月 1日	" 50年 7月 31日	教育長を兼ねる
藤 田 秀 朋	" 46年12月 24日	" 50年12月 23日	二十二代教育委員長
神 野 忠 利	" 48年 4月 2日	" 52年 4月 1日	二十三代教育委員長
藤 田 囃南夫	" 49年12月 24日	" 53年12月 23日	二十四代教育委員長
藤 田 秀 朋	" 50年12月 24日	" 54年12月 23日	二十五代教育委員長
村 上 哲 亮	" 51年 3月 18日	" 55年 3月 17日	教育長を兼ねる
神 野 忠 利	" 52年 4月 2日	" 56年 4月 1日	二十七代教育委員長

氏名	就任年月日	離任年月日	備考
堀越和衛	昭和 53年12月24日	昭和 53年12月24日	二十八代教育委員長
印南忠一	" 54年12月24日	" 58年12月23日	二十九代教育委員長
坂口勲孝	" 54年12月24日	" 58年12月23日	三十代教育委員長
伊達博臣	" 55年 3月26日	" 59年 3月25日	教育長を兼ねる
大堀越和衛	" 56年 6月 6日	" 60年 6月 5日	三十一代教育委員長
印南忠一	" 57年12月24日	" 61年12月23日	三十二代教育委員長
坂口勲孝	" 58年12月24日	" 62年12月23日	三十三代教育委員長
伊達博臣	" 58年12月24日	" 62年12月23日	三十四代教育委員長
伊達博臣	" 59年 3月26日	" 63年 3月25日	教育長を兼ねる
篠原利光	" 60年 6月 6日	平成 元年 6月 5日	三十五代教育委員長
守谷照男	" 61年12月24日	" 2年12月23日	三十六代教育委員長
千葉文政	" 62年12月24日	" 3年12月23日	三十七代教育委員長
田坂富美子	" 62年12月24日	" 3年12月23日	三十八代教育委員長
伊達博臣	" 63年 3月26日	" 4年 3月25日	教育長を兼ねる
篠原利光	平成 元年 6月27日	" 5年 6月26日	三十九代教育委員長
真鍋栄	" 2年12月24日	" 6年12月23日	四十代教育委員長
天野征郎	" 3年12月24日	" 7年12月23日	四十一代教育委員長
田坂富美子	" 3年12月24日	" 7年12月23日	四十二代教育委員長
渡邊健	" 4年 4月 1日	" 8年 3月31日	教育長を兼ねる
近藤求	" 5年 6月27日	" 9年 6月26日	四十三代教育委員長
千葉昭夫	" 6年12月24日	" 10年12月23日	四十四代教育委員長
千葉陽三	" 7年12月24日	" 11年12月23日	四十五代教育委員長
小野トヨミ	" 7年12月24日	" 11年12月23日	四十六代教育委員長
西原洋昂	" 8年 4月 1日	" 12年 3月31日	教育長を兼ねる
一色康範	" 9年 6月27日	" 13年 6月26日	四十七代教育委員長
加藤信一	" 10年12月24日	" 14年12月23日	四十八代教育委員長
千葉陽三	" 11年12月24日	" 15年12月23日	四十九代教育委員長
小野トヨミ	" 11年12月24日	" 15年12月23日	五十代教育委員長
西原洋昂	" 12年 4月 1日	" 14年 3月31日	教育長を兼ねる
栗田敬子	" 13年 6月27日	" 17年 6月26日	五十一代教育委員長
阿部義澄	" 14年 4月 1日	" 16年 3月31日	教育長を兼ねる
小野正師	" 14年12月24日	" 18年12月23日	五十二代教育委員長
宇野征一	" 15年12月24日	" 19年12月23日	五十三代教育委員長
太田恵理子	" 15年12月24日	" 19年12月23日	五十四代教育委員長
阿部義澄	" 16年 4月 1日	" 20年 3月31日	教育長を兼ねる
栗田敬子	" 17年 6月27日	" 21年 6月26日	五十五代教育委員長
小野正師	" 18年12月24日	" 22年12月23日	五十六代教育委員長
宇野征一	" 19年12月24日	" 23年12月23日	五十七代教育委員長
太田恵理子	" 19年12月24日	" 23年12月23日	五十八代教育委員長
阿部義澄	" 20年 4月 1日	" 24年 3月31日	教育長を兼ねる
三木由紀子	" 21年 6月27日	" 25年 6月26日	五十九代教育委員長
伊藤嘉秀	" 22年12月24日	" 26年12月23日	六十代教育委員長
宮内文久	" 23年12月24日	" 27年12月23日	六十一代教育委員長
長野美和子	" 23年12月24日	" 27年12月23日	六十二代教育委員長
阿部義澄	" 24年 4月 1日	" 28年 3月31日	教育長を兼ねる
三木由紀子	" 25年 6月27日		六十三代教育委員長
伊藤嘉秀	" 26年12月24日		(~平成28年3月31日)
宮内文久	" 27年12月24日		
長野美和子	" 27年12月24日		

# 組 織 図

(平成28年5月1日 現在)



# 職 員 数

(平成28年5月1日 現在)

	定 数	現 員
事 務 局	45	44
教 育 機 関	64	47

	課 所 別	職 員	臨時職員	非常勤職員	委託職員	短時間任用職員	計
事務局	社会教育課	11	1	65	2		79
	学校教育課	15		19		1	35
	発達支援課	7		20			27
	スポーツ文化課	8	2				10
教育機関	学校給食課	3	1				4
	別子銅山記念図書館	7	9	3			19
	広瀬歴史記念館	1		4			5
	青少年センター		2				2
	生涯学習センター・高齢者生きがい創造学園		2	10			12
	総合文化施設管理課(美術館管理課)	5	1	2			8
	公民館	1		62			63
	交流センター			8			8
	幼稚園	7	2	4			13
	小学校(県費教職員を除く。)	22	4	168	3		197
	中学校(県費教職員を除く。)			57			57
	学校給食センター			18	17		35
	高津共同調理場	4		11			15
教育研究所				1		1	
計	91	42	451	5	1	590	

# 事務局事務分掌

課	事 務
社会教育課	教育委員会の会議及び庶務に関すること。 教育長及び教育委員会委員の報酬、費用弁償、請求、支払、儀式及び交際に関すること。 職員(県費負担教職員を除く。)の任免、給与、分限、褒賞、懲戒、服務、福利及び厚生並びに定数配置に関すること。 公印の管守に関すること。 教育委員会の規則及び規程の制定及び改廃並びに規則の公布に関すること。 情報公開の調整に関すること。 個人情報保護の調整に関すること。 事務局の庶務に関すること。 予算経理の指導助言に関すること。 社会教育施設の設置及び廃止に関すること。 社会教育施設の管理、営繕及び保全に関すること。 社会教育委員会の庶務に関すること。 成人教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。 社会教育指導者の育成及び社会教育関係団体の育成指導に関すること。 公民館、交流センター、生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園、図書館、別子ハイツ自然学習館及び青少年センターに関すること。 青少年健全育成の推進に関すること。 青少年団体指導者の育成に関すること。 放課後児童健全育成事業の実施に関すること。 家庭教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。 学校体育施設開放の事務及び運営指導に関すること。 学校体育施設開放に伴う使用許可及び使用料収納に関すること。
学校教育課	学校及び幼稚園の設置及び廃止に関すること。 学校敷地及び建物の設置及び変更に関すること。 学校施設及び幼稚園施設の管理、営繕及び保安に関すること。 学校及び幼稚園の管理運営の指導に関すること。 学校休業日の決定に関すること。 学校行事等の調整、指導及び承認に関すること。 教育団体関係事務に関すること。 児童・生徒の就学事務に関すること。 通学区の設定変更事務に関すること。 学級編成関係事務に関すること。 教科書関係事務に関すること。 県費負担教職員の人事、給与、福利及び厚生事務に関すること。 就学援助事務に関すること。 奨学資金事務に関すること。 教育課程及び教育内容の編成に関すること。 教科用図書の採択に関すること。 学校及び幼稚園の教育指導に関すること。 教員の現職教育研修に関すること。 児童・生徒活動の指導に関すること。 教育研究所事務に関すること。 就園奨励関係事務に関すること。 中学生等の国際交流に関すること。 児童・生徒の生活指導に関すること。 学校体育に関すること。 就学時の健康診断事務に関すること。 児童・生徒及び学校職員の健康診断事務に関すること。 学校保健に関すること。 学校安全に関すること。
スポーツ文化課	体育文化施設の設置及び廃止に関すること。 体育文化施設の管理、営繕及び保安に関すること。 市民体育の振興に関すること。 スポーツ推進審議会の庶務に関すること。 スポーツ推進委員に関すること。 スポーツの指導者等の養成及び資質の向上並びにその活用に関すること。 体育及びスポーツの行事の企画、運営及び指導に関すること。 市民体育関係団体の育成に関すること。 文化財保護委員会の庶務に関すること。 芸術文化の振興に関すること。 文化財の保存活用に関すること。 総合文化施設及び広瀬歴史記念館に関すること。 体育文化施設の使用許可及び使用料収納に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。 公益財団法人新居浜市文化体育振興事業団に関すること。
学校給食課	学校給食に関すること。 共同調理場に関すること。
発達支援課	特別支援教育に関すること。 発達支援に関すること。

# 教育費歳出予算（目別、平成27・28年度当初予算）

※企画部分含む（単位：千円）

区 分	平成27年度		平成28年度		前年度比較
	当 初 予 算		当 初 予 算		
費 目	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
教 育 総 務 費	814,781	16.2%	947,174	21.6%	116.2%
教 育 委 員 会 費	6,732	0.1%	6,445	0.1%	95.7%
事 務 局 費	414,649	8.3%	441,194	10.1%	106.4%
諸 費	393,400	7.8%	499,535	11.4%	127.0%
小 学 校 費	1,638,128	32.5%	696,832	15.9%	42.5%
学 校 管 理 費	459,114	9.1%	463,853	10.6%	101.0%
教 育 振 興 費	239,273	4.7%	232,979	5.3%	97.4%
学 校 建 設 費	939,741	18.7%	-	-	-
中 学 校 費	505,474	8.1%	414,023	9.5%	81.9%
学 校 管 理 費	239,280	4.8%	244,429	5.6%	102.2%
教 育 振 興 費	111,982	2.2%	129,271	3.0%	115.4%
学 校 建 設 費	57,846	1.1%	40,323	0.9%	69.7%
幼 稚 園 費	175,181	3.5%	175,322	4.0%	100.1%
幼 稚 園 費	175,181	3.5%	175,322	4.0%	100.1%
社 会 教 育 費	747,994	14.9%	837,865	19.2%	112.0%
社 会 教 育 総 務 費	162,197	3.2%	209,856	4.8%	129.4%
公 民 館 費	197,040	3.9%	241,755	5.5%	122.7%
図 書 館 費	95,918	1.9%	91,818	2.1%	95.7%
郷 土 美 術 館 費	11,693	0.3%	-	-	-
青 少 年 教 育 費	364	0.0%	382	0.0%	104.9%
青 少 年 セ ン タ ー 費	3,865	0.1%	3,707	0.1%	95.9%
広 瀬 歴 史 記 念 館 費	40,025	0.8%	60,717	1.4%	151.7%
総 合 文 化 施 設 費	236,892	4.7%	229,630	5.3%	96.9%
美 術 品 購 入 基 金 費	-	-	28	0.0%	-
保 健 体 育 費	1,249,901	24.8%	1,300,157	29.8%	104.0%
保 健 体 育 総 務 費	73,338	1.5%	270,818	6.2%	369.3%
保 健 体 育 施 設 管 理 費	105,140	2.1%	50,535	1.2%	48.1%
体 育 施 設 費	525,342	10.4%	423,872	9.7%	80.7%
学 校 給 食 費	546,081	10.8%	554,932	12.7%	101.6%
合 計	5,035,093	100%	4,371,373	100%	86.8%
一 般 会 計 総 額	48,654,782		47,304,736		97.2%
教 育 費 の 割 合	10.3%		9.2%		1.1P 減

放課後児童対策費（民生費 児童福祉費 児童福祉総務費）114,605 千円

高齢者生きがい創造学園講座事業費（介護保険事業特別会計 地域支援事業費 選択型地域支援事業費）

8,779 千円

## 年度別教育費歳出決算（目別、平成22～27年度）

（単位：千円）

年度 費目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
教育総務費	693,796	721,288	637,705	727,921	925,950	820,190
教育委員会費	6,622	6,655	6,551	6,535	6,355	6,614
事務局費	422,127	407,280	372,420	373,111	401,945	451,324
諸費	265,047	307,353	258,734	348,275	517,650	362,252
小学校費	2,167,815	645,316	1,042,661	797,032	641,832	632,369
学校管理費	572,912	409,111	388,962	442,470	406,769	378,597
教育振興費	405,448	136,467	136,421	155,305	173,584	210,302
学校建設費	1,189,455	99,738	517,278	199,257	61,479	43,470
中学校費	1,776,537	492,875	410,134	348,481	349,654	448,644
学校管理費	340,423	214,519	253,306	266,679	217,698	220,626
教育振興費	300,704	73,892	90,640	81,802	81,800	97,655
学校建設費	1,135,410	204,464	66,188	0	50,156	130,363
幼稚園費	104,980	92,760	106,067	105,056	109,034	154,444
幼稚園費	104,980	92,760	106,067	105,056	109,034	154,444
社会教育費	466,189	502,498	501,533	630,153	918,834	918,910
社会教育総務費	144,840	162,626	170,010	175,329	276,175	203,150
公民館費	156,851	160,949	184,339	199,360	278,573	344,634
図書館費	92,622	83,913	87,732	203,809	97,687	83,516
郷土美術館費	9,015	18,567	21,304	14,139	12,036	11,274
青少年教育費	2,316	1,933	1,037	298	350	344
青少年センター費	3,052	3,145	3,163	3,084	3,194	3,186
広瀬歴史記念館費	57,493	71,365	33,948	34,134	54,567	53,834
総合文化施設費	0	0	0	0	83,752 <small>(企画部)</small>	218,955
美術品購入基金費	0	0	0	0	112,500 <small>(企画部)</small>	17
保健体育費	799,367	783,977	866,887	1,133,849	1,086,096	1,044,303
保健体育総務費	25,219	23,785	33,170	35,133	39,679 <small>(うち5,110は企画部)</small>	62,505 <small>(うち26,186は企画部)</small>
保健体育施設管理費	0	0	42,140	233,388	64,117	57,434
体育施設費	274,572	262,510	299,494	383,841	470,785	421,629
学校給食費	497,682	497,682	492,083	481,487	511,515 <small>(うち179,246は企画部)</small>	502,735 <small>(うち52,855は企画部)</small>
合計	6,008,684	3,238,714	3,564,987	3,742,492	4,031,400	4,018,860

ただし、繰越分含む。

平成27年度放課後児童対策費決算額（民生費 児童福祉費 児童福祉総務費）97,351千円

平成27年度高齢者生きがい創造学園講座事業費決算額（介護保険事業特別会計 地域支援事業費

選択型地域支援事業費）8,187千円

# 社会教育課

## 重点目標

- 1 市民の自ら学ぶ意欲を喚起し、市民生活に即したさまざまな活動の拠点としての公民館整備に努める。
- 2 子どもたちの居場所づくりに取り組み、安全・安心の確保に努める。
- 3 公民館や学校開放施設が安全で快適に利用できるよう環境整備に努める。

## 最重要課題

### 地域住民が主役になった公民館活動の推進

## 重点事項

### I 地域づくりの推進及び家庭、地域の教育力の向上

#### 1 地域課題を解決する住民活動の推進

公民館・交流センターにおいて、今後も地域住民の主体性を尊重した活動を推進するとともに、各校区の地域課題の実態を踏まえ、解決に向けて、地域教育力向上プロジェクト推進事業を実施し、社会・地域の要請に応える、役に立つ社会教育事業を推進する。

#### 2 郷土愛を育むための活動の推進

多喜浜塩田等の地域資源を学ぶ学習機会を提供するほか、子どもたちに様々な体験活動を提供する「子ども夢未来事業」を推進する。

#### 3 学社融合の推進

学校支援地域本部事業の定着を図り、地域で子どもたちを育てるとともに、子ども見守り隊の一層の活動充実を図る。

#### 4 青少年健全育成の推進

子どもの安全な居場所づくり及び様々な体験活動の推進により、地域ぐるみで子どもたちの健全な育成に取り組む体制づくりに努める。

#### 5 公民館施設及び学校開放施設の環境整備

市民が安全で快適に利用できるよう公民館施設や学校開放施設の環境整備を実施する。

### II 主な事業

#### 1 地域教育力向上プロジェクト推進事業

①個人の学習のための事業 … “学ぶ” ②地域での実践のための事業 … “活かす” ③今後の公民館・地域の方向性を決定するための事業 … “創る” を三つの大きな柱として各地域がその実情、必要性に応じて①～③のメニューを選択し実施する委託事業。地域の特色を活かした事業、住民全体の手によって地域課題を検討・解決していく事業を推進する。

#### 2 学校支援地域本部事業

地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の強化を図り、登下校支援・読み聞かせなど各種の学校支援活動を行う学校支援地域本部を設置する。

### 3 放課後子ども教室

放課後や週末等において、学校の余裕教室等を活用して全ての子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する放課後支援活動を推進する。

### 4 放課後児童クラブ

就労等により昼間家庭に保護者がいない児童（小学1年～3年生）を対象に、その児童の健全育成を図るため放課後児童クラブを開設する。長期休業中に限り小学4年生の受け入れを行う。

### 5 公民館環境整備事業及び学校開放施設整備事業

公民館の耐震補強工事を引き続き実施し、老朽化したトイレの改修、屋上防水工事及びエアコンの更新など行う。また、学校開放施設の照明設備を更新する。

## III 別子ハイツ自然学習館

市民に豊かな自然環境の中での学習や研修の場を有料で提供し、青少年の健全な育成と社会教育活動の推進を図るため、設置している。

### 施設状況

所在地	設立年月日	構造	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	電話
立川町1番地1	平成20.4.1	鉄筋コンクリート造2階建	3,207.00	566.50	41-0443

# 社会教育委員名簿

(平成28年7月1日 現在)

氏名	性別	備考
安藤進一	男	体育協会代表
久保弥生	女	公民館連絡協議会代表
篠原雅士	男	文化協会代表
三浦康司	男	市議会福祉教育委員長
寺岡武志	男	青年会議所代表
寺田峯子	女	女性連合協議会代表
中山恵二	男	医師会代表
西岡圭	男	P T A連合会代表
野村大介	男	愛媛新聞社新居浜支社長
秦榮子	女	ボランティア連絡協議会代表
原田英比古	男	企業代表
宮部隆彦	男	高等学校校長会代表
日野幸彦	男	連合自治会代表
星川孝徳	男	小学校校長会代表
横井敏行	男	中学校校長会代表

任期 平成27年7月1日 ～ 平成29年6月30日

## 放課後児童クラブ一覧表

クラブ名称	設置場所	クラブ名称	設置場所
たねっこクラブ1	高津小学校	あひるクラブ2	神郷小学校
たねっこクラブ2	同上	すみれクラブ	宮西小学校
ひかりクラブ1	中萩小学校	ひまわりクラブ	垣生小学校
ひかりクラブ2	同上	のぞみクラブ	惣開小学校
なかよしクラブ	新居浜小学校	あじさいクラブ	多喜浜小学校
たんぼぼクラブ1	金栄小学校	さくらクラブ1	泉川小学校
たんぼぼクラブ2	同上	さくらクラブ2	同上
こぼとクラブ1	角野小学校	こねこクラブ	若宮小学校
こぼとクラブ2	同上	かがやきクラブ1	金子小学校
こぼとクラブ3	同上	かがやきクラブ2	同上
うずいクラブ	大生院小学校	きりんクラブ	上部児童センター
かぶとクラブ	船木小学校	ぴかっこクラブ	川東児童センター
あひるクラブ1	神郷小学校	ともだちパーク	コミュニティハウス三恵

# 公 民 館 等 一 覧 表

(平成 28 年 5 月 1 日 現在)

施設名	所在地	設 立 年月日	新改築 年度	人口 28. 3. 31	世帯数 28. 3. 31	構 造	建物面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	施設長氏名
新 居 浜 32-8312	新居浜市新須賀町 三丁目2番17号	昭和 58. 4. 1	昭57年度 新築	4, 491	2, 267	鉄 筋 2階建	535. 50	1, 586. 00	高田 実
口屋跡記念 32-8430	新居浜市西町 6番2号	昭和 45. 10. 3	平27年度 改築	4, 879	2, 486	鉄 筋 3階建	970. 65	2, 214. 87	高田 憲二
地域交流センター 34-6320	新居浜市庄内町 一丁目14番7号	平成 22. 4. 1	平21年度 新築	11, 691	5, 448	鉄 筋 2階建	945. 02	2, 021. 40	越智 保二
金 栄 33-3212	新居浜市高木町 6番25号	昭和 56. 4. 1	昭55年度 新築	5, 784	2, 670	鉄 筋 2階建	456. 00	1, 758. 00	塩見 進
高 津 32-3320	新居浜市沢津町 二丁目3番30号	昭和 33. 4. 1	平7年度 改築	11, 861	5, 645	鉄 筋 2階建	987. 25	2, 220. 77	柴田晋八郎
浮 島 34-7617	新居浜市八幡 二丁目6番52号	昭和 57. 4. 1	昭56年度 新築	3, 669	1, 664	鉄 筋 2階建	456. 00	1, 480. 48	佐々木清隆
惣 開 33-1031	新居浜市王子町 1番3号	昭和 31. 2. 24	昭54年度 新築	4, 196	2, 007	鉄 筋 2階建	456. 00	1, 130. 81	久石 保
若 宮 34-7612	新居浜市新田町 一丁目8番37号	昭和 57. 4. 1	昭56年度 新築	1, 813	1, 017	鉄 筋 2階建	456. 00	1, 124. 96	久保 弥生
垣 生 45-0024	新居浜市垣生 二丁目12番26号	昭和 24. 12. 1	平元年度 新築	4, 397	1, 918	鉄 筋 平屋建	483. 00	1, 985. 80	加藤 久勝
神 郷 46-1181	新居浜市郷 三丁目7番20号	昭和 33. 4. 1	昭60年度 新築	10, 050	4, 494	鉄 筋 2階建	624. 00	1, 803. 58	柴田 誠治
多 喜 浜 45-0014	新居浜市多喜浜 五丁目7番27号	昭和 31. 12. 27	平27年度 改築	3, 900	1, 877	鉄 筋 2階建	545. 63	1, 245. 00	真鍋 淳江
大島交流センター 45-1006	新居浜市大島 甲589番地	平成 27. 4. 1	平27年度 移転	209	138	鉄 筋 3階建	公民館 942. 02 体育館 634. 05 プール 80. 05	公民館 4, 671. 32 プール 610. 00	矢野 秀綱
泉 川 41-6463	新居浜市瀬戸町 12番34号	昭和 30. 3. 31	平15年度 新築	11, 824	5, 759	木 造 平屋建	公民館 693. 00 体育館 286. 00	2, 966. 00	原田 脩三
中 萩 41-6735	新居浜市萩生 740番地の1	昭和 22. 11. 1	平2年度 改築	19, 800	9, 028	鉄 筋 2階建	984. 00	2, 024. 02	衣川 裕二
船 木 41-6003	新居浜市船木 2579番地の1	昭和 24. 9. 14	昭54年度 新築	7, 352	3, 364	鉄 筋 2階建	456. 00	1, 917. 99	篠原 元久
大 生 院 41-6604	新居浜市大生院 1063番地の1	昭和 25. 9. 28	平4年度 改築	4, 055	1, 878	鉄 筋 2階建	公民館 562. 70 体育館 233. 20	4, 324. 28	松本 彰
角 野 41-6224	新居浜市中筋町 二丁目4番24号	昭和 23. 11. 3	昭54年度 新築	11, 824	5, 471	鉄 筋 2階建	864. 00	2, 963. 24	横山 泰茂
別 子 山 64-2211	新居浜市別子山 甲347番地の1	昭和 59. 4. 1	昭59年度 新築	171	96	鉄 筋 2階建	631. 00	821. 54	和田 仲吉
合計				121, 966	57, 237				

※ 改築は、増築・大規模改修等とする。

# 公 民 館 事 業 計 画

新 居 浜 公 民 館

公民館重点目標		<p>～夢・ロマン・感動を求めて～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ボランティア活動の推進</li> <li>2 学校・家庭・地域を結ぶ青少年育成と見守り隊の推進</li> <li>3 生涯学習の活性化と推進</li> <li>4 三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成</li> <li>5 小学生・中学生の居場所づくりと交流</li> </ol>
事業名		事業内容
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ エ ク ト 推 進 事 業	女性講座	地域の女性を対象とし、多種多様な講座を開催し、文化教養を高める。 (年8回) 健康教室・手芸教室・料理教室 等
	シニアネットワーク	団塊世代の方が中心となり、豊かな技能や技術を発揮し、健康で生きがいのある人生を送ることが出来る学習の機会や多世代との交流を促進する。
	小学生夏休み講座	未来を担う子どもたちを、健やかに育むため、活力ある、絵画教室・宿題デー・パソコン教室を行う。
	小・中学生料理教室	地域の方が講師となり新たな交流関係を生み出し、料理を学ぶ事により家庭での仕事を体験し、理解できるよう取り組む。(各年3回)
	浜っこ教室	あいさつが出来る子を目標に、新居浜小学校へ通う児童を対象とし、昔遊び・科学実験・自然体験活動等の事業を地域協力で行い、協調性を養う。
	地域づくり推進事業	「活き生きセミナー」と題して、地域の声や意見を把握し地域発信の地域づくりを推進し、地域住民が楽しく、元気になる場所づくりや、伝統的な食文化や装飾などを活かして、地域が一体となって「熟議」し取り組める事業を行う。
	三世代交流健康ウォークラリー	三世代交流活動の一環として、尻無川沿いを散策し、健康づくりと三世代の地域交流を目的とする。
	新小夜市	夏祭りを開催し、幼児・小・中学生や高齢者との交流を図り、地域の活性化を推進する。
	三世代交流事業	餅つき・しめ縄づくり・凧づくり・七草粥行事を各種団体が共同で実施し、伝統文化・技術の伝承を行い、各世代間交流と親睦を深める。
	地域自主防災組織の強化	新居浜校区自主防災会を再構築し、単位自治会相互の連携で、熟議に取り組み、災害時においての高齢者対策、地域課題解決を行う。また地域防災知識を高めるため、先進地に研修に行く。
地域活性化事業	新居浜小学校のビオトープの環境整備とスポーツ教室で地域全体の健康、体力推進を図り、魅力ある地域づくりを行う。	
公民館部活動	広報部・文化部	
校区内行事	校区運動会・校区文化祭	

# 公 民 館 事 業 計 画

口屋跡記念公民館

公民館重点目標		～心触れ合う、住みよい地域づくりをめざして～ 1 豊かな心を育てる生涯学習の充実 2 青少年の健全育成 3 社会教育関係団体相互の連携・交流 4 人権・同和教育の推進 5 生涯スポーツの振興、生活文化活動の育成
事業名		事業内容
地域教育 力 向 上 プ ロ ジ ェ ク ト 推 進 事 業	家庭教育 (家庭教育講座)	フットセラピー、手作り防災頭巾教室、竹細工教室、クリスマス親子食育教室
	女性教育 (女性講座)	郷土芸能伝承講座(口屋音頭)、うどん打ち教室、消防講話、雛まつり講座 他
	高齢者教育 (高齢者講座)	奉仕活動、史跡探訪、防災教室、保育園児との交流、軽スポーツ、人権・同和教育教室 他
	高齢者・女性合同講座	県内外から講師の先生を呼んで人権・同和教育を学ぶ
	生活文化講座	一日親子研修
	スポーツ健康教室	ダーツ、スマイルボウリング 他
	三世代交流講座	地域支え合いで購入した備品を活用して、口屋の歴史等を小学生や地域住民に学んでもらう講座を開催する。また、4年生を対象とした七草粥講座を開催し七草の由来や歴史を学び、校区女性部、民生女性委員と一緒に粥をつくり食べる事で異世代交流と文化の伝承に繋げる。また小学生を対象とした「読み聞かせ」や昔の遊びの指導を通して知的好奇心を育む。
	三世代交流福祉もちつき大会	小学6年生、PTA、老人会、自治会等でもちつき、女性部による赤飯作りを実施する。また6年生は、たまごとダエンの積木を使用した講座を行い、創造力の育成を図る。最後に地域の75歳以上の独居老人宅に児童の手紙を添えて民生委員と児童が赤飯を配布する。
	先進地研修	地域の問題点が似ている先進地に出向き、どのようにして地域の活性化を図ることに成功したか等のノウハウを学び活かすための研修を実施する。
	北中校区子ども絵画展	地域の元美術の先生を中心として、子どもたち(小・中学生対象)から絵を募集して審査・展示・表彰し、その後指導の教室を開く。この事業を通して、PTA、学校、地域が協力し合い、子どもたちの文化的な活動を後押しし心を癒し、育てるための事業
三世代で考える防災訓練	毎年開催することで、防災意識を常に持ち、災害時に連携を深めるための訓練を実施する。また先進地へ出向き、学んだことを活かすための研修を実施。	
口屋あかがねプロジェクト事業	口屋あかがねの会・くちやあゆみの会と2つの会が次世代に残していく活動を実施した。今年度は「立川仲宿」のジオラマの完成と地域住民自身が地域の歴史・文化を学び、後世に語り続けるための勉強会を実施。	
地域コミュニティ再生支援事業(地域振興)	新居浜南校ユネスコ部による出前講座で、新居浜の歴史・地域の歴史を学ぶ。	
校区内行事	文化祭、運動会	
その他特記事項	人権・同和教育お茶の間懇談会	

# 公 民 館 事 業 計 画

## 地 域 交 流 セ ン タ ー

<b>公民館重点目標</b>		～笑顔あふれる地域交流センター～ 1 地域ふるさとづくりの推進 2 生涯学習・スポーツの推進 3 各種団体との連携・協力体制の強化 4 地域が一体となった青少年の健全育成 5 自主防災組織の充実と意識の向上
事 業 名		事 業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高 齢 者 講 座	高齢者の健康と活力を高めるとともに学習を通じて親睦交流、仲間づくりと教養を高める講座を行う。 ・グランドゴルフ大会 ・料理教室 ・ノルディックウォーキング ・手芸教室 ・昔の遊び ・人権研修 等
	家 庭 教 育 講 座	金子小学校PTAを中心とした活動で、学習や親子で楽しむ講座を行う。 ・親子陶芸教室 ・救急法 ・親子工作教室 ・親子科学実験教室 ・人権同和教育研修 等
	ス ポ ー ツ 健 康 教 室	校区住民を対象に、スポーツを通じて各世代間交流を図り健康づくりを行う。 ・カローリング ・ウォーキング 等
	宿 泊 合 宿	「おやじの会」を中心に、保護者の連携と子供たちとの関わりを大切にし、みんなで協力して色々なことを体験することで、リーダーを養成する機会にする。 また、地域の歴史についても勉強する。
	文 化 教 養 講 座	金子校区に伝わる踊りや歴史文化を学習する。 ・たぬき踊りの練習 ・ふるさと探訪
	三 世 代 交 流	三世代交流を目的とし、地域の人たちがふれあいながら、四季を感じられる講座を行う。 ・七夕 ・しめ縄作り ・凧作り ・七草を知る会
	乳 幼 児 講 座	未就学児を持つ親同士の交流を図り、親子で楽しめる講座を行う。 ・親子3B体操 ・英語で遊ぼう ・クラフト教室 ・親子リトミック教室 ・読み聞かせ ・プール遊びや遠足 等
	ま ち づ くり 事 業	自治会および各種団体の連携を図りながら熟議に取り組み、自主防災阻止の強化と災害時における対策と訓練を行う。 ・防災運動会、防災訓練 ・運審研修旅行
放 課 後 子 ども 教 室 推 進 事 業	金子校区に伝わる「小女郎たぬき」の民話を継承していくために、地域の大人から子供へ、踊り・篠笛・太鼓の技術指導をする。 また、そろばん教室や習字教室も実施する。	
交 流 セ ン タ ー 部 活 動	総務文化部、青少年部、保健体育部、広報部	
校 区 内 行 事	ラブ金子ふるさと夏まつり、芸能発表会、文化祭、高齢者軽スポーツ大会	

# 公 民 館 事 業 計 画

金 栄 公 民 館

<b>公民館重点目標</b>		～地域と共に歩む公民館を目指して～ 1 安全・安心のまちづくりの推進 2 青少年健全育成の推進 3 公民館活動への住民の参画促進及び各種団体との連携強化 4 自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上
事 業 名		事 業 内 容
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ エ ク ト 推 進 事 業	婦 人 講 座	人権学習、料理教室、踊り教室、干支作り、手芸教室など
	高 齢 者 講 座	人権学習、軽スポーツ、料理教室など
	家 庭 教 育 講 座	人権学習、小物作り、チョークアートなど
	ふ れ あ い 文 化 講 座	趣味を広げ、教養を高めながら豊かな人づくりを目指す
	三 世 代 交 流 事 業	親子のつどい、芸能発表会、金栄ふれあいの集い
	金 栄 盆 踊 り	地域住民の夏の交流の場として盆踊り・模擬店等を開催
	ド リ ー ム ツ リ ー 「金栄ふれあい広場」	金栄校区の冬の風物詩であるドリームツリーの点灯式を開催
	金 栄 ま ち づ くり 事 業	防犯防災部会（地域パトロール）、防災熟議、先進地研修
	子 育 て 支 援	ママとベビーの3B体操、親子deふれあい遊び、料理教室など
放 課 後 子 ども 教 室 推 進 事 業	かるがもクラブ (そうめん流し、お弁当作り、奉仕作業、みかん狩りなど)	
公 民 館 部 活 動	広報部、防犯防災部等	
校 区 内 行 事	運動会（5月15日）、文化祭（11月13日）	
そ の 他 特 記 事 項	金栄ふれあいの家（月1回） 金栄ふれあいランド～わくわくキッズ王国・ふるさと青空マルシェ～ （11月12日）	

# 公 民 館 事 業 計 画

高 津 公 民 館

<b>公民館重点目標</b>		<p>～安心と安全のまち「たかつ」～</p> <p>1【住民交流】隣近所が支え合い、助け合って「みんなが明るく住みやすい」町等</p> <p>2【育児】親、子どもが自由に集まって、ふれ合い、遊び、子どもたちが元気に「健やかに育つ」町等</p> <p>3【高齢者】高齢者同士が交流し、地域の子もたちと触れ合って「明るく生き生きと生活する」町等</p> <p>4【障がい者】障がい者や障がい者を正しく理解し、障がい者から真に求められる「手助けをする」町等</p> <p>5【青少年健全育成】子どもたちが友達や仲間たちとふれ合い、助け合い、理解し合って「共に成長する」町等</p> <p>6【環境】一人一人が気を配り、みんなの力で実現する「清潔で美しい」町等</p> <p>7【防災】想定される災害を正しく理解し、災害に備える「災害に強い」町等</p>
<b>事 業 名</b>		<b>事 業 内 容</b>
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高 齢 者 講 座	健康、人権・同和学習、環境、交通安全教室、防災、住友と地域社会、郷土史等
	女 性 講 座 ( 女 性 セ ミ ナ ー )	人権・同和学習、コーラス、環境、健康、観劇、ポーセラーツ等
	健 康 講 座	歩け歩け大会
	ス ポ ー ツ 健 康 講 座	各種体操、軽スポーツを実施して、校区住民の親睦交流・健康づくりを推進する。
	健 康 ウ ォ ー キ ン グ	ウォーキングを通して自然に親しみ、親子、子どもからお年寄りまで異世代間の交流を図る。
	れ ん げ 祭 り	自然体験の少ない子どもたちのために農地を借り上げネイチャーゲーム、昔遊び、防災交通安全の啓もう等を行うとともに三世代の交流を図る。
	た かつ 納 涼 夏 祭 り	校区の夏のイベントとして、子どもからお年寄りまで皆が楽しめる夏祭りを実施する。盆踊り・模擬店・迷路・ゲーム大会・交通防災勉強会等
	た かつ 花 あ ふ れ る ま ち づ くり	ボランティアによる花苗の栽培と花壇の植え込み、管理等のまちの環境美化を行うとともに、花づくりを通して心豊かな人間形成を行う。
	た かつ 史 跡 め ぐ り	地域についての史跡を学び、地域への関心を育むと同時に、地域の人々の親睦・交流を深める。
	文 化 部 発 表 会	公民館利用サークルの発表の場を設け、サークル間の情報交換や技術向上を目的とする。
	青 少 年 育 成 事 業	児童に様々な体験学習を行うと共に成年・青少年に対し長期的視点でリーダー養成を行う。今年度は、きつず防災キャンプを実施する。
た かつ 防 災 事 業	国領川・沢津垣生海岸の隣接自治会から順次、地震・津波・豪雨の災害時への対応の啓蒙・周知を図る。	
家 庭 教 育 講 座	親子関係が希薄になり児童虐待の家庭問題が頻発している昨今、親への教育も重要であることから親への講演会を実施する。	
放 課 後 子 ども 教 室 推 進 事 業	地域社会の中で子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進する（やんちゃクラブ）。毎週土曜日開催。	
(旧) 公民館を中心とした社会教育活性化支援プログラム事業	高津まちづくり構想（8分野193の実施目標）と実行計画にもとづき、4実行委員会（【挨拶、声かけ】【自治会加入】【公民館三世代交流】【防災意識の高揚】）で各団体と連携し実行する。	
公 民 館 部 活 動	総務広報部（公民館報の編集、各種団体役員名簿の作成等） 文化部（文化サークル発表会の開催等）青少年部（青少年健全育成の講演等）	
校 区 内 行 事	校区運動会、校区文化祭	
学 校 支 援 地 域 本 部 事 業	高津よみきかせクラブの活動により低学年の道徳、創造力等を養う。	

# 公 民 館 事 業 計 画

浮 島 公 民 館

<b>公民館重点目標</b>		<p>～明るく元気な浮島校区の構築～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 青少年の健全育成を地域の課題として取り組む。</li> <li>2 高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進。</li> <li>3 「安全・安心」の地域の拠点としてのレベルアップ。</li> </ol>
事 業 名		事 業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	総合講座	校区内住民を対象に、人権同和教育・防災・健康などに関する講座を開催する。
	男性料理教室	男性料理教室は校区内男性を対象に、季節の食材を使った料理や一人で手軽にできる料理などを作る。(年間12回)
	家庭教育講座	校区内小学校の児童とPTAを対象に、家庭教育力を高めるための講座を開催する。(年間9～10回程度)
	婦人講座	校区内女性を対象に、日常的で、興味のある教室講座を開催し交流を深める。(年間6回程度)
	高齢者講座	校区内高齢者を対象に、学ぶ・体験する講座を開催する。(年間8回程度)
	子ども教室	校区内児童を対象に学ぶ・体験する講座を開催する。(年間3回)
	軽スポーツ教室	校区内住民を対象に手軽で、健康に良い軽スポーツを開催し、交流を深める。(年間3回)
	伝統を伝える講座	材料から採取する「門松」作りと七草がゆや児童としめ縄作りや昔遊びを行う。
	明るく元気の出る標語看板作り	児童の「明るく元気の出る標語」を看板に作成し、校区内に設置する。
	幼児&児童の健全育成講座	幼児と児童の健全育成を目的に「まもるくん活動」などを推進する。
双子クラブ	双子及び保護者を対象とした育成指導・情報交換等	
(旧)公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム事業	先進地での研修を行い、人材の育成を目指す。学校と地域合同で防災訓練を行ったり、今後の災害対策について学ぶ。	
校区内行事	校区歩け歩け大会、浮島校区文化祭、七草がゆを食べる会、春季大運動会(小学校、地域と共同開催)	
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まもるくんパトロール隊による地域に根ざした防犯活動</li> <li>○学校・地域が一体となった運動会</li> </ul>	

# 公 民 館 事 業 計 画

惣 開 公 民 館

<b>公民館重点目標</b>		<p>～地域と共に歩む活気ある公民館づくりを目指して～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業の企画・運営への住民の参画促進と人材の育成・発掘を図る。</li> <li>2 地域資源を活かしたまちづくり</li> <li>3 地域住民に親しまれる公民館づくり</li> </ol>
事 業 名		事 業 内 容
地域 教 育 力 向 上 プ ロ ジ ェ ク ト 推 進 事 業	シ ニ ア 教 室	<p>三世代交流を深めながら、高齢者の交流、健康づくり、生きがいを感じる場をつくる。</p> <p>カラオケ教室、健康教室、陶芸教室</p>
	遊 y o u 講 座	<p>地域の男性・女性を対象に多種多様な講座を開催し文化教養を高める。</p> <p>料理教室、人権・同和教育、男女共同参画、健康教室、手作り教室、マナー教室、防災研修、社会見学</p>
	乳 幼 児 学 級	<p>親同士のふれあいを深めるとともに家庭教育の向上と教養を図る。</p>
	生 活 文 化 講 座	<p>未就学児をもつ子育て世代の親を対象に同世代交流と教養を高め家庭教育の向上を目指す。</p>
	三 世 代 交 流 事 業	<p>校区住民の交流と伝統文化の継承を行い、各世代間の交流を深める。</p> <p>昔のあそび、卒業記念もちつき大会、地域と園児のもちつき大会</p>
	ま ち づ くり 事 業	<p>地域の歴史や文化を掘り起こし、事業計画を熟議し、魅力あるまちづくりに繋げていく。</p> <p>夕涼み会、七草がゆ、観月会、ふれあいウォーク</p>
	プ リ ン ス & プ リ ン セ ス 事 業	<p>小学校に通う児童を対象とし、公民館へ来る機会をつくり、楽しみながら学べる場所づくりと地域交流を図る。</p> <p>コーラス教室、ダンス教室、地域探検、料理教室 他</p>
校 区 内 行 事	<p>校区文化祭</p>	

# 公 民 館 事 業 計 画

若 宮 公 民 館

<p><b>公民館重点目標</b></p>		<p>～「地域とともに歩み育つ公民館」をスローガンとして家庭・学校・地域の連携をはかり、安全・安心で住みよい若宮校区づくりを目指す～</p>
<p>事 業 名</p>		<p>事 業 内 容</p>
<p>地 域 教 育 力 向 上 プ ロ ジ ェ ク ト 推 進 事 業</p>	<p>環 境 に や さ し い ま ち づ くり</p>	<p>美しい地球を未来に残すため、環境意識の高揚と実践。 美しい地域づくり。(花いっぱい運動)</p>
	<p>安 全 ・ 安 心 な ま ち づ くり</p>	<p>校区防災活動への支援、防災組織力の向上。防災意識の高揚。 災害時要援護者支援体制づくり支援。</p>
	<p>子 ども が 主 役 の ま ち づ くり</p>	<p>学びの場・癒しの場を提供し、校外生活の充実を図る。 子どもの居場所づくりの推進。</p>
	<p>高 齢 者 が 安 心 し て 暮 ら せ る ま ち づ くり</p>	<p>高齢者が自立した生活を送るための活動の機会や場を提供する。 高齢者の軽スポーツと健康維持。</p>
	<p>ス ポ ー ツ と 健 康</p>	<p>三世代交流軽スポーツの実践。 健康ウォーキング。</p>
	<p>地 域 の 伝 承 ・ 歴 史 の 伝 承</p>	<p>年中行事の伝承。三世代交流。 昔の遊びを子どもたちと手づくり。(竹とんぼづくり、紙飛行機づくり、凧づくり、七夕飾り、七草がゆ、もちつき)</p>
	<p>趣 味 と 教 養</p>	<p>歴史や文学に親しむなど家庭教養を学び、生活の知恵や趣味活動を通して生活の潤いを図る。</p>
	<p>地 域 づ くり</p>	<p>地域の方向性を決定するための事業として、他市町村の進んだ社会教育施設・活動を研修し、今後の活動に活かす。</p>
<p>放 課 後 子 ども 教 室 推 進 事 業</p>	<p>地域の教育力を結集し、様々な体験活動を子どもたちに提供することにより、地域全体で健全な子どもを育む。</p>	
<p>校 区 内 行 事</p>	<p>校区文化祭</p>	

# 公 民 館 事 業 計 画

垣 生 公 民 館

<b>公民館重点目標</b>		～地域と共に歩む公民館～ 1 地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり 2 自ら学ぶ生涯学習の推進 3 各種団体・機関との連携強化 4 生活文化活動の振興 5 安全で住みたい垣生づくり
事 業 名		事 業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育講座 (家庭教育コース)	親の役割、健康づくり、料理、環境問題、世代間交流等の講座を実施し、家庭教育の責任者としての自覚を促し、開かれた家庭、明るい家庭づくりを図る。
	婦 人 講 座 ( 婦 人 コ ー ス )	教養講座及び奉仕活動、健康づくり、郷土理解、料理、世代間交流等の講座を実施し、婦人の家庭や地域における役割を考える。
	高 齢 者 講 座 ( 高 齢 者 コ ー ス )	輝く老人(生きがいつくり)、体の健康、心の健康づくり、奉仕活動、レクリエーション、世代間交流等の講座を実施し、社会の一員としての自覚を促すと共に、高齢社会への対応を考える。
	ふるさと文化講座 (文化コース)	郷土芸能「じょうさ節」の保存、伝承を中心に、郷土理解を図り、明るく住み良い郷土づくりを考える。
	成 人 講 座	家庭や地域の大黒柱である成人(中高年男子)を対象に成人大学を開設し、料理教室、史跡探訪、参禅等の学習を通して、家庭・地域の活性化を図る。
	ス ポ ー ツ 健 康 教 室	軽スポーツ、ニュースポーツの実施を通してスポーツの浸透を図り、主体的な健康管理を促進する。
	イルミネーション ファンタジー	毎年、年末年始の数日間、垣生公民館の駐車場の木々を装飾する。12月23日にイルミネーション点灯式が行われ、来館者に豚汁を振舞う。
	校 区 納 涼 祭	花火大会、盆踊り、出店等を開き、校区住民の親睦を図る。
	垣 生 探 検 隊	校区文化財ウォーキングマップを利用して、子どもからお年寄りまでがウォーキングを楽しみながら交流を図る。
	垣 生 山 遊 歩 道 整 備	地域をあげて校区のシンボルである垣生山の環境保持作業に努めることにより、愛着を深めてもらう。また、市民の方々に健康づくりや憩いの場として利用してもらうために遊歩道整備を行う。
子 育 て 支 援	子育て中の母親たちの交流の場を提供する。	
垣 生 キ ュ ー ツ 共 和 国	子供対象にした垣生校区の新しい交流の場を作り、幅広い年齢層で楽しみ、地域の交流を深めるため開催。	
垣 生 環 境 美 化 事 業	えひめA I-2・ボカンを作り、地域住民に利用していただき、より良い環境づくりを図る。	
緑 の カ ー テ ン 運 動	ゴーヤを育て、より多くの地域の方へ緑のカーテンの普及を図る。	
(旧) 公民館等を中心とした 社会教育活性化支援 プログラム事業	災害時に必要なノウハウを学び、今後活かすための先進地研修や公民館、学校、地域が連携した防災訓練を実施する。	
校 区 内 行 事	校区文化祭・芸能祭、大運動会、納涼祭、敬老会、少年式、一日敬老の家、生き生きサロンなど。	

# 公 民 館 事 業 計 画

神 郷 公 民 館

<b>公民館重点目標</b>		家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安心・安全で 住みよいまちづくりを目指す。 1 青少年の健全育成 2 地域の安全と安心の推進 3 地域福祉の拡充 4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援 5 スポーツの推進と健康づくりの推進 6 お茶の間懇談会の拡充・強化 7 自主防災組織作りの拡充・強化 8 地域の環境美化の推進
事 業 名		事 業 内 容
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ ェ ク ト 推 進 事 業	婦 人 講 座	手芸教室・環境教室・健康教室・料理教室など、健康づくり、趣味や教養を高め、地域への関わりを深められるよう講座を実施。
	高 齢 者 講 座	歴史教室・安全教室・健康教室・男性の料理教室・文化教室など、体と心共に健康であり、地域での生きがいづくりを図る。
	乳 幼 児 期 家 庭 づ くり 教 室	防災教室・人権教室・三世代交流サマーレクリエーションなど、乳幼児を持つ父母の為の情報交換の場を作り明るい家庭づくりを図る。
	三 世 代 交 流 事 業	三世代交流おはよう体操・大凧づくり教室、軽スポーツ体験教室など、三世代交流を図り、古くからの伝統文化を継承する。
	神 郷 夏 祭 り 開 催 事 業	青少年の健全育成とふれあいのまちづくりを目標に、高齢者が幼児まで広く参加できる三世代交流の場として、地域の活性化に資するため、神郷夏まつりを実施する。
	観 月 会	地域の方々との交流を目的とし実施する。郷土食ともいわれるいも炊きで季節感を味わう。
	神郷まちづくり事業	熟議を重ね、住みよいまちづくりを目指し、問題を発掘し、解決に向けて地域全体で取り組む。
	わくわく小学生	小学生が様々な体験活動を通じて地域の人と触れ合いながら交流を深め郷土を愛する心を育むことを目的とする。
校 区 内 行 事	大運動会・文化祭・芸能発表会・夏まつり・自治会対抗ソフトボール大会・自治会対抗レクバレーボール大会	
そ の 他 特 記 事 項	文化活動の推進・神郷史情保存会による神郷史情の普及を図る。	

# 公 民 館 事 業 計 画

多 喜 浜 公 民 館

<b>公民館重点目標</b>		～笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～ 1 潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進 2 世代間の交流、人材の発掘 3 学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成 4 郷土の伝統文化の継承と郷土意識の向上 5 人権・同和教育の推進
事 業 名		事 業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	ス ク ー ル 多 喜 浜	講演会、スポーツ健康教室、婦人講座、子育て講座
	高 齢 者 大 学	健康問題、交通安全教室、人権・同和教育、軽スポーツ、演芸大会
	三 世 代 交 流 事 業	多喜浜焼教室、しめ縄作り、少年の日を祝う会
	だ い す き 多 喜 浜 夏 祭 り	夏まつり
	塩 田 文 化 バ ン ク	塩田ウォーク、塩レシピ、郷土芸能発表会
	環 境 講 座	ゴミパトロール、環境活動、えひめAI-2作成
	ま ち づ くり 講 座	塩田カルタ大会、防災・減災を考える、先進地研修
放課後子ども教室推進事業	ボンデン広場（軽スポーツ、工作教室、料理教室、宿泊体験教室）	
校 区 内 行 事	校区大運動会、夏祭り、校区文化祭、演芸大会	
そ の 他 特 記 事 項	自治会対抗各種スポーツ大会、多喜浜塩田遺産を活かした諸活動	

# 公 民 館 事 業 計 画

大島交流センター

公民館重点目標		<p>～地域住民に親しまれるセンターづくり～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 高齢者にやさしい福祉の推進事業</li> <li>2 豊かな心で育てようふれあい交流</li> <li>3 歴史と自然を守り伝統文化の伝承</li> </ol>
事業名		事業内容
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ エ ク ト 推 進 事 業	教 養 講 座	個々の教養を高めながら、地域の人達との親睦を深める。 木版画・絵手紙・手芸教室・男の（女の人も）料理教室 等
	高 齢 者 講 座	高齢者の健康と活力を高めるとともに、学習を通じて親睦と教養を高める。 塩作り体験と買物ツアー・人権学習・健康体操 等
	と う ど 祭 り	無形民俗文化財となっている「とうど祭り」や古来より伝わっている「念仏踊り」を次世代に継承すると共に講座を通して「島おこし」を図る。 とうど祭りと写真コンテスト・念仏踊り
	ふ れ あ い 交 流	自然の中で、異年齢・他集団との交流を図りながら、保護者の連携と子どもとの関わりを大切にし、少年の健全育成に役立てる。 異年齢交流キャンプ
	防 災 教 室	自治会との連携で熟議に取り組み、災害時における対策と訓練を防災運動会を通し、地域住民みんなで学ぶ。 防災訓練・防災運動会・研修
校 区 内 行 事		町内一斉清掃・とうど祭り・敬老会・校区文化祭・大島夏祭り・秋祭り
そ の 他 特 記 事 項		市の無形民俗文化財となっている『とうど祭り』や、古来より伝わっている『念仏踊り』の保存と継承

# 公 民 館 事 業 計 画

泉 川 公 民 館

公民館重点目標		<p>～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 再発見事業</li> <li>2 住民が総参加の事業展開</li> <li>3 まちづくりの醸成</li> </ol>
事業名		事業内容
地域教育 力向上 プロ ジェ ク ト 推 進 事 業	ふるさと塾	不特定多数の人を対象にした講座の開設。地域住民が主体的に取り組むことができる地域づくりや課題解決に取り組んだり、関心の持てるような内容を提供していく。
	なんでも学習会	公民館までは少し遠いし、用事もあって…夜出かけるのはちょっと…近くの自治会館だったら気軽に参加できるのに…等々、公民館で開催される講座に参加できなかった皆さんも対象として、自治会館での学習の機会の充実を図る。
	星原市 2016	校区の夏まつりとして、古くから続く星原市と3年前から「子どもまつり」を一緒に行い、大人から子どもまで一緒に協力し楽しめる行事を開催。模擬店や餅なげ等にぎわう。
	環境講座	廃棄していた生ゴミから堆肥を作り、学校とも連携しながら花壇の肥料として再利用する。そして、子どもが関わることで住民に環境問題に関心を持ってもらえるよう実施する。
	「防災」その時、どうする？	地域を対象とした防災意識を養うために避難訓練、防災訓練を実施する。また子どもを対象にした通学合宿の際に1日を利用して、食事など生活一般の中で防災意識を養う防災宿泊研修を実施する。
	泉川年輪のつどい	地域住民の子どもたちからお年寄りまで参加し、金婚式該当者や喜寿のお祝い、その年にまちづくりで活躍された方、団体などを招へいし、たたえる日を設け、式典やアトラクションで祝い、地域活動を次年度につなげていく。
	伝統行事を伝える	核家族化が深刻となっており、残しておきたい伝統行事も体験する機会が不足している現状を踏まえ、高齢者に指導してもらい、三世代交流も行う。
放課後子ども教室推進事業	大好き泉川っ子体験教室、生け花体験教室	
校区内行事	町民大運動会、公民館まつり、とうどさん	
その他特記事項	花いっぱい運動、防災訓練、毎月第2日曜日「大好き泉川の日」の清掃ボランティアの実施。	

# 公 民 館 事 業 計 画

## 中 萩 公 民 館

公民館重点目標		～地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す～ 「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町 日本一の中萩」 1 生涯学習・生涯スポーツ活動の推進 2 青少年健全育成の推進 3 社会福祉活動の推進 4 人権・同和教育の推進 5 安心・安全な地域づくりの推進
事業名		事業内容
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ エ ク ト 推 進 事 業	中萩セミナー	教養や趣味を高め、地域へのボランティア活動などを視野に入れた講座内容を企画運営し、充実を図る。
	高齢者セミナー	軽スポーツ競技、小学生とのふれあい活動、伝統文化継承、健康講座、交通安全教室等を通じて、高齢者の生きがいづくりを進める。
	健康セミナー	軽スポーツ教室の実施や健康についての講座などを開講し、地域住民の健康づくりを推進する。
	子どもスポレク祭	地区単位で分かれてスポーツで汗を流し、郷土愛と地域での絆を深める。
	十河信二を知り学ぶ活動	十河信二翁についての講演、十河信二翁の通学路を歩く会、偲ぶ会、十河信二翁展（写真、遺作展、図書等）等
	中萩三世代交流事業	地域の子どもたちに伝統文化を継承していくための事業を実施し、三世代の交流と絆を深める。
	環境改善事業	自然保護のために、家庭排水などの浄化を図る活動を推進する。
	まちづくり推進事業	地域に活力をもたらす様々な事や地域の問題を話し合い、集うことで、解決策を探り、地域力を養い、今後の地域・公民館の方向性を探る場となることを目指す。
放課後子ども教室推進事業	はぎっ子テン（第2，4土曜日）	
校区内行事	校区運動会、ほたる祭り、校区防災訓練、校区文化祭、冬まつり	

# 公 民 館 事 業 計 画

船 木 公 民 館

公民館重点目標		～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～
		1 学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成 2 心豊かな福祉のまちづくりの推進 3 一人ひとりの学ぶ心を大切にする生涯学習の推進 4 人権・同和学習の推進 5 地域に根ざした親しまれる公民館づくり
事業名		事業内容
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ エ ク ト 推 進 事 業	人 権 講 座	・人権について
	健 康 講 座	・健康ウォーキング ・認知症講座 ・空手を体験しよう！
	環 境 講 座	・グリーンカーテンをつくろう！ ・ダンボールコンポストによる生ごみ堆肥化講習会 ・花いっぱい運動（2回）
	伝 統 文 化 講 座	・七夕教室 ・盆踊り教室 ・昔の遊び教室 ・芸能祭 ・もちつき教室 ・七草教室 ・とうどまつり ・仏教に学ぶ ・しめ縄づくり教室
	こ ど も 講 座	・けん玉教室 ・理科教室 ・絵手紙教室 ・サバメシに挑戦しよう！ ・子どもスポーツ教室 ・ちぎり絵教室
	趣 味 講 座	・マフラーづくり教室 ・エコクラフト教室（2回） ・陶芸教室 ・プリザーブドフラワー教室
	H A P P Y ク ッ キ ン グ 講 座	・男性健康料理教室 ・韓国料理教室 ・ケーキサレ教室 ・親子クッキング教室
	池田池ラジオ体操と お池をかこむ会	船木のシンボルである池田池に住民が集まり、池田池太鼓寄せ広場で、日本中に元気な声が届くようにと力いっぱいラジオ体操する。その後、みんなで池田池一周ウォーキングをすることで、地域に大きな輪をつくるように、繋がりを深める。 みんなで池田池の周囲をウォーキングする。 地域の大きな輪をつくる。
	池田池をわたる風と マ ン ド リ ン	池田池公園中之島広場野外ステージで《池田池をわたる風とマンドリン》を開催し、地域文化の向上と地域交流を図る。
	地 域 づ く り 講 座	校区の子どもたちが将来戻ってきたいまちづくり・地域づくりのために、先進地研修等開催し、地域づくりをみんなで考える。 ・先進地研修・防災講演会・防災訓練
ふ る さ と 探 訪 講 座	船木校区の貴重な郷土遺産、史跡を探訪し学び、また後世に継承していくことを考える。実際に歩いて史跡を巡り、学ぶ。 ・別子銅山を学ぶ (日本の近代化産業を支えた郷土の産業遺跡をもっと学び、知ろう！)	
校 区 内 行 事	・住民大運動会・池田池菖蒲まつり・夏まつり・長寿大運動会・芸能祭 ・文化祭・校区成人式・校区マラソン大会・校区徒歩探訪会	

# 公 民 館 事 業 計 画

大 生 院 公 民 館

<b>公民館重点目標</b>		～地域住民が集まり、共に進む公民館～ 1 事業の企画・運営への住民の参画促進 2 地域資源(自然)を生かした特色ある事業の推進 3 自主防災組織の更なる充実と意識の向上 4 子どもの居場所づくりと交流
事 業 名		事 業 内 容
地域教育 力向上 プロジェクト 推進事業	高 齢 者 いきいきセミナー	落語・映画上映会・輪投げ大会等
	くらしのセミナー	ペーパーアート・陶芸教室・料理教室等
	子育て支援セミナー	食育・リトミック・フラワー・バルーンアート教室等
	スポーツ健康教室	スマイルボウリング・シャッフルボード・ペタンク等
	三世代交流事業	たのも団子作り・しめ縄作り・七草粥・昔のあそび・ふれあいの集い
	う ず い 教 室	児童を対象とした、茶道教室・書道教室・紙バンド教室等
	大野山プロジェクト	ます釣り大会・ほたる祭り・ウォークラリー
	郷土の歴史と文化	大生院校区についての史跡や歴史を学び、地域への関心を育むと共に地域住民の親睦・交流を図り郷土愛を深める。また、次世代への伝承していくための後継者の育成を行いまちづくりに繋げていく。
	大生院まちづくり事業	安心安全なまちづくり、魅力あるまちづくりに取り組むべく事業として先進地研修や防災教育講座等を行う。
放課後子ども教室推進事業	茶道教室・絵手紙・竹細工作り・お手玉・パン作り・ヨガ	
校 区 内 行 事	校区文化祭	

# 公 民 館 事 業 計 画

角 野 公 民 館

<p>～共に学び・話し・喜び会える地域づくりを目指して～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 思いやる心を育てる生涯学習を推進し将来を見据えた地域づくり</li> <li>2 伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり</li> <li>3 学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり</li> <li>4 自分達で命を守る防災組織の確立を図る地域づくり</li> <li>5 三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり</li> </ol>	
事 業 名	事 業 内 容
地 域 教 育 力 向 上 プ ロ ジ ェ ク ト 推 進 事 業	合 同 セ ミ ナ ー ( 三 世 代 交 流 ) <p>異世代交流を目的とし、伝統行事の継承を図り、よりよい人間関係を築く。                  ・開講式記念講演・角野ウォークラリー・おはようラジオ体操（3回）                  ・三世代交流もちつき大会・しめ縄づくり・七草がゆ・閉講式記念講演</p>
	手 作 り セ ミ ナ ー <p>教養を高め趣味を幅広く生かした講座を企画する。                  ・エコクラフトバック2回・味噌づくり・お正月飾り                  ・干支づくり、気軽に抹茶を楽しもう</p>
	いき生き生活セミナー <p>高齢者を中心に情報交換の場を提供し、健康で生き生きとした生活を送る事を目的とする。                  ・生き生きコーラス・メンズクッキング・四国カルストを体感                  ・ロコモ予防体操・季節の料理教室</p>
	家 庭 教 育 セ ミ ナ ー <p>子ども達の健全育成、未来を担う子どもを地域で育てる。                  （夏休み子ども教室）世界の料理を楽しむ・科学に挑戦・ハバハル火おこし                  ・銅山峰を訪ねて・昔遊び、お手玉、けん玉</p>
	ス ポ ー ツ 健 康 教 室 <p>各種スポーツを通じ地域の親睦を深め、生涯スポーツの普及をはかる。                  ・軽スポーツを楽しむ（カローリング、他）</p>
	伝 統 文 化 プ ラ ン <p>地域と学校が連携し、身近な歴史を深く知り学ぶ事を目的とする。                  ・ちびっこ相撲・とうどおくり                  ・口屋跡記念公民館との共催事業</p>
	未 来 ま ち づ くり プ ラ ン <p>将来のまちづくりを視野に入れ、環境に配慮したまち、高齢化社会に対応した住みやすいまち、災害時に対応できるまちづくりを目指す。                  ・環境緑化推進・園芸教室5講座・認知症予防講座・防災訓練</p>
学 校 支 援 事 業 <p>学校と連携し、昔を知り将来を見つめ郷土を愛する心を育てる。安心して通学できる環境を整え、先進地研修により新たな問題点を洗い出し、安全でより住みやすい地域とする。                  ・角野校区に残る近代化産業遺産めぐり・見守り活動・すみの郷土館</p>	
校 区 内 行 事 <p>・町民大運動会・すみの夏まつり・文化祭・芸能祭・地域清掃</p>	
そ の 他 特 記 事 項 <p>自主防災組織を立ち上げ、危険箇所の再確認し、各種団体と校区住民が相互に連携をはかり防災意識を高める。</p>	

# 公 民 館 事 業 計 画

## 別子山公民館

<b>公民館重点目標</b>		～地域づくりの拠点として、暖かくぬくもりのある公民館を目指して～ 1 学校・地域との連携を図り、地域活性化に繋げる 2 伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る 3 人権・同和教育の推進 4 青少年の健全育成を図る 5 世代間交流の充実強化
事 業 名		事 業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	健康づくり教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ教室</li> <li>・地域を歩く散策ツアー</li> </ul>
	地域環境講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物学習会</li> <li>・木工体験教室</li> <li>・炭焼炭アート体験</li> </ul>
	まちづくり支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市指定天然記念物周辺整備</li> <li>・雪合戦四国大会研修</li> </ul>
	ふれあい体験学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山体験</li> <li>・写真教室</li> <li>・独居高齢者配付用餅つき</li> </ul>
	いきいきまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区秋季大運動会</li> </ul>
校 区 内 行 事		校区大運動会・別子校区産業文化祭・別子山雪合戦大会

# 青少年センター

## 重点目標

- 1 「見せる補導」を徹底し、非行の未然防止に努める。
- 2 学校周辺を巡回し、児童生徒の安全確保に努める。
- 3 安全情報ネットワークの整備に努める。

## 重点事項

### 1 健全育成活動の推進

- (1) 青少年の非行・被害防止全国強調月間（7月）、子ども・若者育成支援強調月間（11月）の推進
- (2) 青少年善行表彰

### 2 相談活動の推進

- (1) 相談業務の周知徹底、積極的な相談活動
- (2) 適切な資料提供並びに専門機関への紹介

### 3 少年補導委員による補導活動の充実

- (1) 地域に密着した昼夜の街頭補導
- (2) 夏祭り、花火大会、年末等における特別街頭補導
- (3) 支部長による広域補導

### 4 環境浄化活動の推進

- (1) 危険箇所、非行集団等のたまり場の早期発見と指導
- (2) 未成年者喫煙、飲酒防止の推進

### 5 情報収集と啓発活動の充実

- (1) 青少年健全育成入選標語の広報による周知、啓発
- (2) ホームページによる情報発信
- (3) センターだよりの発行

### 6 研修活動

- (1) 少年補導委員研修大会の実施
- (2) 各種研修会への派遣

### 7 関係機関・団体・学校等との連携強化

- (1) 学校・警察・児童相談所等との相互情報交換並びに連携の推進
- (2) 少年補導委員会等（支部長会）の開催
- (3) 青少年健全育成、非行防止に関する各種会合等への積極的な参加

## 施設状況

所在地	建設年月日	構造	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	電話	所長氏名
繁本町8番65号	昭和 37.11	鉄筋コンクリート造 2階建	403.68	403.68	33-4152	工藤 順

## 地区別少年補導委員の状況

(平成28年4月1日 現在)

地区別	補導委員数		
	男(人)	女(人)	計(人)
川西地区	37	22	59
川東地区	35	21	56
上部地区	47	29	76
計	119	72	191

# 生涯学習センター

## 重点目標

生涯学習を広く市民に啓発し、自らの意思で学習に取り組むことができるための条件を整備するとともに、人材の発掘育成をすすめ、市民一人ひとりが主役となる生涯学習ネットワークづくりを目指す。

## 重点事項

### 1 生涯学習大学事業の推進

- (1) 大学、工業高等専門学校等の高等教育機関等との連携を図り、日本文学講座、松山大学公開講座、新居浜高専市民講座等、各種講座を開設する。
- (2) 市民のニーズ、時代の変化に対応した講座や必要課題に関する講座を開設する。
- (3) 市民への幅広いPRにより新たな層の参加を図るとともに、生涯学習大学の自主的運営を促進する。
- (4) 生涯学習推進員制度を設け、市民のニーズを反映した各種講座の企画・運営に努める。

### 2 生涯学習情報の収集・提供及び学習体制の充実

- (1) 県生涯学習情報システムの有効活用を図る。
- (2) 生涯学習に関する情報を収集するとともに、「悠游たより」等により情報の提供及び交換を行う。
- (3) 生涯学習の情報網を整備し、学習体制を充実させる。

### 3 生涯学習を推進するネットワークの促進

- (1) 公民館との連携を密にするとともに、市社会教育課をはじめ市内の生涯学習関連機関、施設、事業所等との協力のもと、生涯学習センターを核とした生涯学習ネットワークの構築に努める。
- (2) 社会教育団体をはじめとする生涯学習に関連する団体との連携の強化に努め、各種事業を展開する。
- (3) 市内の人材の掘り起こしを進め、リーダーバンクの有効活用を図る。

### 4 生涯学習に関連する指導者の育成と生涯学習のまちづくりの推進

- (1) 対象別の指導者養成講座の開設を図る。
- (2) 生涯学習スタッフを設置し、学習の企画立案・運営手法に習熟した人材の育成に努める。
- (3) 生涯学習ボランティアの実践活動をとおしてリーダー育成を目指す。

### 5 視聴覚ライブラリー機能の整備と有効活用

- (1) 自主教材の製作をすすめ、教材としての活用を図る。
- (2) 視聴覚指導者の育成を図る。

## 施設状況

所在地	建設年月日	構造	敷地面積(m <sup>2</sup> )	建物延面積(m <sup>2</sup> )	電話	所長氏名
繁本町8番65号	平成3.4.1	鉄筋コンクリート造 (市民文化センター本館2階)	—	—	33-2991	本田 郁代

# 高 齢 者 生 き が い 創 造 学 園

## 重点目標

高齢化が急速に進展する社会の中で、ボランティア活動を行い、共に学ぶ喜びを共有することによって、生きがいを見つける学習機会を提供する。

## 重点事項

### 1 講座の開設

概ね60歳以上の方を対象に、講座を開設して高齢者の要望に応え、高齢者の基本的要求である健康維持と、生活上の諸問題をテーマとする講座と講義や実技を通して学習を楽しみ、生きがいの創造をテーマとする講座を設ける。

### 2 サークル活動

- (1) 講座終了者が、自主的で幅広い活動ができるようにする。
- (2) 週1回程度活動し、学習の深化・発展を図り、自由に積極的に学習する機会を提供する。
- (3) 各サークルごとに会員登録を行い、代表者を中心に年間計画を立てて自主的な運営を図るとともに、学園の全体活動への積極的な参加を促進する。

### 3 代表者会活動

学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図る。代表者会は、学園の各講座受講者とサークル会員の互選により選出された代表者で構成され、総務・広報・体育・図書いずれかの委員会に属する。

### 4 ボランティア活動の推進

高齢者の豊かな経験と知識・技能を広く社会に還元できるよう学習をうながし、それによって自らの生きがい発見の場とさせる。

- (1) 受講者のボランティア活動について啓発を図る。
- (2) その活動を通して仲間作りに発展するように努める。
- (3) 関係諸団体との連絡を密にして、現地研修、講師を招いての学習をすすめることによってボランティア活動の推進を図る。

### 5 生き方の啓発や学習情報の提供

高齢者にとっての必要な情報を把握し、その提供に努める。

- (1) 学園月刊紙「生きがい」を発行し、学園の全体的な学習活動を中心とした情報の提供や生き方の啓発に努める。
- (2) アンケート調査やその他の方法によって受講者の要望を把握するとともに、掲示や学習資料・チラシ等を通してその期待に応えるようにする。

### 6 関係機関との連携

庁内関係各課はもちろん、各公民館・老人センターその他の関係機関との連携を密にし、協力する。講座編成については、他機関のものとの重複を避け、講座の設置目的を明確にする。

## 施設状況

所在地	建設年月日	構造	敷地面積(m <sup>2</sup> )	建物延面積(m <sup>2</sup> )	電話	所長氏名
上原二丁目8番1号	平成5.4.1	鉄筋コンクリート造 2階建	18,684.23	3,759.85	44-4826	小野 健治

# 学 校 教 育 課

## 重点目標

基礎的・基本的な事項の確実な定着を図り、「生きる力」の基となる、確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成をめざし、家庭や地域社会との連携を深めながら、個性を生かす特色ある学校教育の充実に努める。また、安全管理の徹底を図り、健やかな学習環境の整備に努める。

めざす子ども像 ふるさとを愛し 未来を拓く子

スローガン 愛情と信頼・深めよう 絆

最重要課題 **持続可能な開発のための教育（ESD）の推進による楽しい学校づくり**

## 重点事項

※ 〈 〉 は各種推進事業の実施事項

### I 基本方針

#### 1 ユネスコスクールによる持続可能な開発のための教育（ESD）の推進

- (1) 学校・地域の特色を生かし、自主的・自立的に創意工夫を凝らした教育活動を展開する。
- (2) 未来を担う児童生徒が、自立して社会で生きていく力を身に付けるため、学校の全教育活動を通して豊かな心と創造する力を育み、郷土に誇りをもつ児童生徒の育成に努める。

#### 2 開かれた学校づくりの推進

- (1) 学校と地域の双方向性コミュニケーションの形成を図り、保護者・地域住民等に学校の情報を公開し、学校・家庭・地域社会の連携を推進する。
- (2) 学校評価システムの改善を図るとともに、自己評価・学校関係者評価を実施し、家庭や地域の人々に説明責任を果たすとともに理解や協力を求めるなど、開かれた学校づくりに努める。

※ 〈えひめ教育の日11/1、学校へ行こうデー（日）、学校評価等の活用、ランドデザインの活用〉

#### 3 教職員の資質と指導力の向上

- (1) 分かる楽しい授業の充実に努めるなど、実践的指導力と人間的魅力を備えた教職員となるよう、専門的・実践的な研修に努める。
- (2) 学校の教育目標の具現化を図るため、組織的・計画的な研修に努める。
- (3) 学習指導要領の理念に基づいた指導内容の充実に努める。

### II 具体目標

#### 1 確かな学力の定着と向上

※ 〈標準学力検査実施事業〉

- (1) 標準学力調査等の結果をもとに学力向上に係る検証改善を行い、確かな学力の定着と向上を図るための学習指導の改善に努める。
- (2) 主体的に学ぶ力を身に付けるとともに、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力や判断力、表現力などの資質や能力を育てるため、体験的な学習や問題解決的な学習の充実に努める。
- (3) 指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じたきめ細かな指導の充実に努める。
- (4) 基本的な学習習慣や学習規律を確立するとともに、家庭学習の充実に努める。

※ 〈新居浜市学力向上推進委員会及び新居浜市学力向上推進委員会実践活動部会（授業力向上委員会・学習環境委員会・個別支援委員会の充実と各小中との連携）〉

#### 2 生徒指導の徹底と健全育成

- (1) いじめ・不登校・非行について、全教職員が一致協力して早期発見、早期解決、また未然防止に全力を尽くす。

※ 〈学校いじめ防止基本方針の実践、校内生徒指導委員会・不登校対策検討委員会の充実、いじめ・不登校チェックシートの活用、教職員の不登校対応のための行動指針の活用、心理検査Q-Uの活用、小・中学校連携の実践〉

- (2) 小・中学校の連携を深め、各中学校区において義務教育9か年を見通したランドデザインを構築し、実践する。
- (3) 教育相談を充実させ、児童生徒を多面的、総合的に理解する。

# 学 校 教 育 課

## 重点目標

基礎的・基本的な事項の確実な定着を図り、「生きる力」の基となる、確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成をめざし、家庭や地域社会との連携を深めながら、個性を生かす特色ある学校教育の充実に努める。また、安全管理の徹底を図り、健やかな学習環境の整備に努める。

めざす子ども像 ふるさとを愛し 未来を拓く子

スローガン 愛情と信頼・深めよう 絆

最重要課題 **持続可能な開発のための教育（ESD）の推進による楽しい学校づくり**

## 重点事項

※ 〈 〉 は各種推進事業の実施事項

### I 基本方針

#### 1 ユネスコスクールによる持続可能な開発のための教育（ESD）の推進

- (1) 学校・地域の特色を生かし、自主的・自立的に創意工夫を凝らした教育活動を展開する。
- (2) 未来を担う児童生徒が、自立して社会で生きていく力を身に付けるため、学校の全教育活動を通して豊かな心と創造する力を育み、郷土に誇りをもつ児童生徒の育成に努める。

#### 2 開かれた学校づくりの推進

- (1) 学校と地域の双方向性コミュニケーションの形成を図り、保護者・地域住民等に学校の情報を公開し、学校・家庭・地域社会の連携を推進する。
- (2) 学校評価システムの改善を図るとともに、自己評価・学校関係者評価を実施し、家庭や地域の人々に説明責任を果たすとともに理解や協力を求めるなど、開かれた学校づくりに努める。

※〈えひめ教育の日11/1、学校へ行こうデー（日）、学校評価等の活用、ランドデザインの活用〉

#### 3 教職員の資質と指導力の向上

- (1) 分かる楽しい授業の充実に努めるなど、実践的指導力と人間的魅力を備えた教職員となるよう、専門的・実践的な研修に努める。
- (2) 学校の教育目標の具現化を図るため、組織的・計画的な研修に努める。
- (3) 学習指導要領の理念に基づいた指導内容の充実に努める。

### II 具体目標

#### 1 確かな学力の定着と向上

※〈標準学力検査実施事業〉

- (1) 標準学力調査等の結果をもとに学力向上に係る検証改善を行い、確かな学力の定着と向上を図るための学習指導の改善に努める。
- (2) 主体的に学ぶ力を身に付けるとともに、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力や判断力、表現力などの資質や能力を育てるため、体験的な学習や問題解決的な学習の充実に努める。
- (3) 指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じたきめ細かな指導の充実に努める。
- (4) 基本的な学習習慣や学習規律を確立するとともに、家庭学習の充実に努める。

※〈新居浜市学力向上推進委員会及び新居浜市学力向上推進委員会実践活動部会（授業力向上委員会・学習環境委員会・個別支援委員会の充実と各小中との連携）〉

#### 2 生徒指導の徹底と健全育成

- (1) いじめ・不登校・非行について、全教職員が一致協力して早期発見、早期解決、また未然防止に全力を尽くす。

※〈学校いじめ防止基本方針の実践、校内生徒指導委員会・不登校対策検討委員会の充実、いじめ・不登校チェックシートの活用、教職員の不登校対応のための行動指針の活用、心理検査Q-Uの活用、小・中学校連携の実践〉

- (2) 小・中学校の連携を深め、各中学校区において義務教育9か年を見通したランドデザインを構築し、実践する。
- (3) 教育相談を充実させ、児童生徒を多面的、総合的に理解する。

- (4) 家庭や地域社会及び関係機関（適応指導教室、スクールソーシャルワーカー、ハートなんでも相談員、スクールカウンセラー、中1ギャップ対応非常勤講師等も含む。）との連携を密にし、開かれた生徒指導の推進に努める。
- (5) 基本的な生活習慣の徹底を図り、規範意識を育てることによって、積極的な生徒指導を推進する。
- (6) 「子ども会議」等の実施により、保護者・地域・市民への啓発を図る。
- (7) 地域・学校が一体となり、あいさつ運動、花いっぱい運動を推進する。

### 3 人権・同和教育の推進

- (1) 一人一人の教職員が、同和問題をはじめとする様々な人権問題解決の力を確立するための研修に努め、差別解消に取り組む児童生徒を育成する。 ※〈人権教育研究指定校事業〉
- (2) 学力・進路を保障する教育を実践する。
- (3) 小・中学校の連携を図りながら、計画的な人権・同和教育の推進を図る。
- (4) 仲間意識を育て、いじめ等を生まない集団づくりに努める。
- (5) 家庭や地域等と連携し、「身元調査お断り運動」の推進を図る。

### 4 健康教育・安全教育の推進 ※〈学校支援地域本部事業〉〈子ども健康サポート推進事業〉

- (1) 生涯を通じて、健康・安全で活力のある生活を送るための基礎を培う。 ※〈AED講習の実施：中学2年生全員〉
- (2) 学校安全に関する校内の体制を整備し、教職員一人一人の危機管理意識を高める。
- (3) 防犯に関する実践的な研修や訓練の充実に努める。 ※〈希望校に対するCAP講習の実施：小学4年生〉

生)

- (4) 交通安全に関する校内の指導体制を整備し、組織的・計画的な指導に努める。
- (5) 家庭や地域社会及び警察等との連携を深め、児童生徒の安全を守る「地域ぐるみの取組」に努める。
- (6) 防災教育を推進し、児童生徒の生きる力を育てる。 ※〈年間10時間以上の実施〉
- (7) 性教育、薬物乱用防止教育（禁煙教育を含む。）等の指導を充実し、児童生徒の健全育成に努める。 ※〈がん教育推進事業〉
- (8) 食育と体力との関係等を研修し、望ましい食習慣の形成に努める。
- (9) 体育的活動の推進と運動の生活化を図ることにより、健康な心身を育てる。 ※〈トップアスリート育成事業〉
- (10) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を活用し、児童生徒の運動能力、体力等の向上に努める。

### 5 国際理解教育の推進

国際社会に主体的に対応できる能力や態度を育てる。 ※〈中学生国際交流事業〉〈英語キャンプの実施〉

施)

### 6 環境教育の推進

環境と人間との関わりについて理解を深め、環境を大切に作る意識や、自ら行動する実践的な態度及び資質・能力を育てる。 ※〈森はともだち推進事業〉〈海や浜辺を美しくする運動〉

### 7 キャリア教育の充実

望ましい職業観・勤労観を育むとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、小・中学校の連携を図ったキャリア教育の充実に努める。 ※〈職場体験活動〉

### 8 福祉教育の充実

高齢者や障がいのある人、地域の人々との触れ合いを深め、互いに認め合い、共に生きていこうとする実践的な態度を育てる。 ※〈いのちの授業開催事業〉〈誕生学プログラム〉

### 9 学校図書館の活用

※〈学校図書館支援センターの拡充〉

- (1) 児童生徒の望ましい読書習慣を形成するため、創意工夫を生かした読書活動の充実に努める。
- (2) 学校図書館機能の充実に図り、児童生徒のよりよい学習活動の糧となるよう努める。

### 10 情報教育の推進

※〈ICT化の促進・整備〉

- (1) 全教員のICT活用能力を向上させ、授業への効果的な活用に努める。 ※〈ICT機器活用推進モデル校〉
- (2) 学校の情報公開を一層推進するため、学校のホームページを適時更新する。
- (3) 情報モラル教育の充実に努める。
- (4) 個人情報等の情報管理を的確に行う。

### 11 幼児教育の充実

- (1) 教育内容の充実と教員の資質の向上を図る。
- (2) 幼・保・小の連携を密にし、教育活動の充実に努める。

### 12 教育研究所の充実

- (1) 現職教育の充実に努め、確かな研究を推進する。
- (2) 教科・中学校区別研修会等の充実に図り、実践的研究を推進する。
- (3) 所員を中心として、時宜に応じた教育的課題について調査・研究を行う。 ※〈確かな学力・ふるさと学習〉
- (4) 学力向上推進委員会を設置し、学力向上に係る検証改善を行うため、学校への支援を行う。

# 新居浜市教育研究所の概要

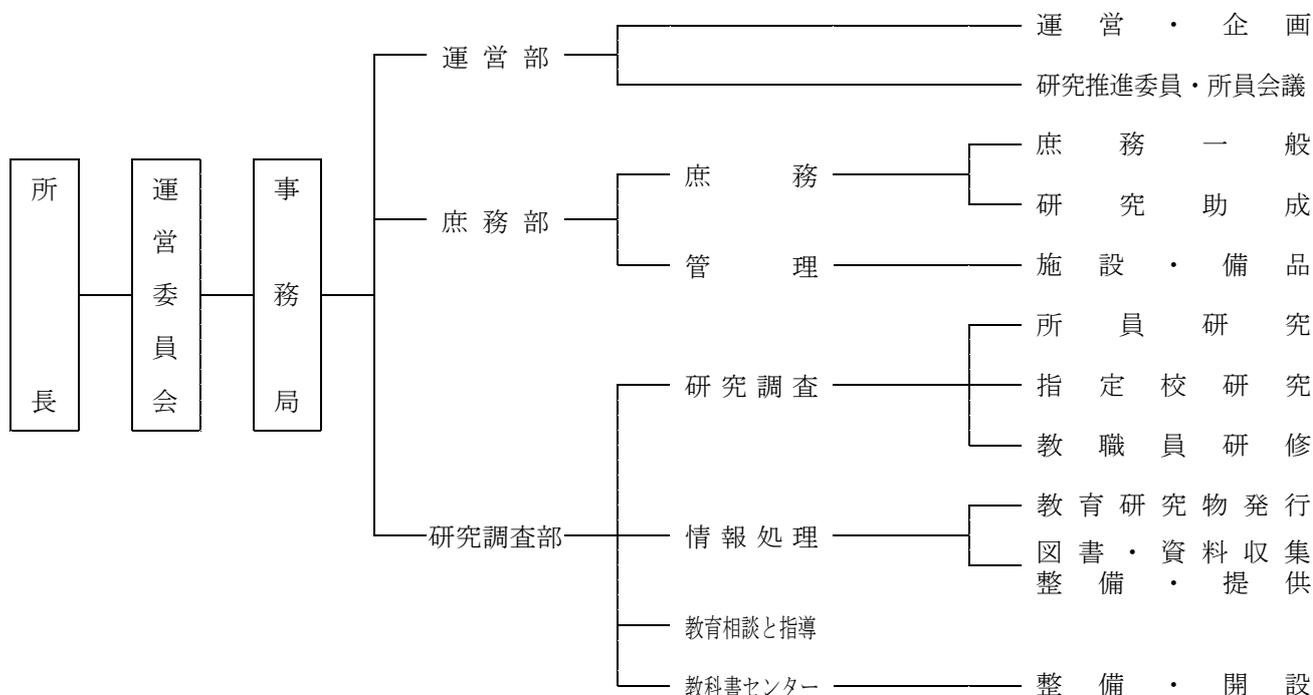
## 1 沿革の概要

昭和33年3月31日 新居浜市教育研究所設置条例に基づき、新居浜市教育研究所を置く。

昭和46年6月 教育会館の2階に教育研究室を設ける。

平成25年度 第20期新居浜市教育研究所の発足

## 2 機構・組織



## 3 事業内容

- (1) 教育に関する専門的、技術的事項の研究
  - ア 研究所員による「テーマ研究」
  - イ 研究指定校との連携による「共同研究」
  - ウ 第20期新居浜市教育研究所
  - エ 新居浜市学力向上推進委員会
- (2) 教育に関する調査及び各種教育資料の作成及び共有（データ）
  - ア 教育研究物の発行
    - 3・4年生用社会科副読本
    - 特別支援教育ハンドブック
    - 研究紀要
    - 所報
  - イ 教育に関する調査と資料の作成
- (3) 教育関係職員の研修
  - 教科研修等
- (4) 教育図書・資料及び教科書センターの経営
  - ア 図書の整備、閲覧、貸出し
  - イ 各種資料の収集、整理、提供
  - ウ 教科書センターの整備と開設

#### 4 研究のあゆみと歴代研究所長

氏名	就任年月日	離任年月日	研究期・研究主題等
藤田弥一郎	昭和33年4月1日	昭和37年3月31日	第1期 科学技術教育研究会 第2期
河野 貫	昭和37年4月1日	昭和40年3月31日	第3期 授業の分析
岡田 信秋	昭和40年4月1日	昭和43年3月31日	第4期 授業の分析
尾崎健次郎	昭和43年4月1日	昭和46年3月31日	第5期 個性能力に応ずる教育の研究
神野 忠利	昭和46年4月1日	昭和48年3月31日	第6期 学習指導の近代化
印南 忠一	昭和48年4月1日	昭和52年3月31日	第7期 学習指導の近代化
大西 博臣	昭和52年4月1日	昭和56年3月31日	第8期 自ら学ぶ力を育てる指導
村上 好央	昭和56年4月1日	昭和58年3月31日	第9期 自ら学ぶ力を育てる指導
永井 弘	昭和58年4月1日	昭和59年3月31日	第9期 自ら学ぶ力を育てる指導
久米 浩	昭和59年4月1日	昭和60年3月31日	第10期 授業の質的改善の研究
加藤 勝見	昭和60年4月1日	昭和61年3月31日	第10期 授業の質的改善の研究
廣川 地彦	昭和61年4月1日	昭和62年3月31日	第10期 授業の質的改善の研究
宮崎 弘	昭和62年4月1日	昭和63年3月31日	第11期 個人差に応じる学習指導
廣川 地彦	昭和63年4月1日	平成元年3月31日	第11期 個人差に応じる学習指導
渡邊 健	平成元年4月1日	平成3年3月31日	第12期 自己教育力の育成を図る学習指導
宮崎 弘	平成3年4月1日	平成5年3月31日	第12期 自己教育力の育成を図る学習指導
一色 康範	平成5年4月1日	平成7年3月31日	第13期 子どもの可能性を招く学習指導と評価の研究
鴻上 政士	平成7年4月1日	平成9年3月31日	第14期 主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田 正	平成9年4月1日	平成10年3月31日	第14期 主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田 正	平成10年4月1日	平成11年3月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
山本 光博	平成11年4月1日	平成12年3月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
河野 義隆	平成12年4月1日	平成14年3月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究 第16期
藤本 博文	平成14年4月1日	平成16年3月31日	第16期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
三浦 孝信	平成16年4月1日	平成18年3月31日	第17期 「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
佐藤弘美子	平成18年4月1日	平成19年3月31日	第17期 「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
真鍋 智明	平成19年4月1日	平成21年3月31日	第18期 基礎基本の定着と確かな学力の向上
秋本 司	平成21年4月1日	平成23年3月31日	第18期 基礎基本の定着と確かな学力の向上 第19期
坪本 道夫	平成23年4月1日	平成25年3月31日	第19期 学力の向上を図る実践研究 ふるさと学習の研究
横井 敏行	平成25年4月1日	平成27年3月31日	第20期 確かな学力を育むための実践研究 ふるさと学習の研究
高橋 良光	平成27年4月1日		第20期 確かな学力を育むための実践研究 ふるさと学習の研究

# 学 校 教 育 計 画 資 料

## 1 研究指定校（発表校）・訪問指導校・研修会開場等予定校

	学校名	内 容		指定年度	
小 学 校	新居浜小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		28
		県	ハートなんでも相談員設置事業	27	28
		市	学校保健研究大会		28
	宮西小学校	国	発達障害に関する教職員等の理解啓発・専門性向上事		28
		国	スクールカウンセラー活用事業対象校		28
		県	ハートなんでも相談員設置事業	27	28
		訪問	2年目フォローアップ研修（教科）		28
	金子小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		28
		県	ハートなんでも相談員設置事業	27	28
		訪問	5年教職経験者研修事務所研修③		28
		市	市人権・同和教育研究会		28
	金栄小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		28
		県	ハートなんでも相談員設置事業	27	28
	高津小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		28
		県	ハートなんでも相談員設置事業	27	28
		市	誕生学プログラム		28
	浮島小学校	県	ハートなんでも相談員設置事業	27	28
		協会	海や浜辺を美しくする運動		28
		市	誕生学プログラム		28
	惣開小学校	国	人権教育研究指定校事業		28・
		県	ハートなんでも相談員設置事業	27	28
		市	I C T機器活用推進モデル校		28
	若宮小学校	訪問	初任者研修事務所研修⑦（幼小中関連）		28
	垣生小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	27	28
		訪問	5年教職経験者研修事務所研修③		28
		市	ハートなんでも相談員設置事業		28
		市	市人権・同和教育研究会		28
	神郷小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		28
		県	ハートなんでも相談員設置事業	27	28
		市	誕生学プログラム		28
	多喜浜小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		28
		県	ハートなんでも相談員設置事業	27	28
	泉川小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		28
県		ハートなんでも相談員設置事業	27	28	
市		笑いとコミュニケーション講座		28	
船木小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		28	
	県	ハートなんでも相談員設置事業	27	28	
中萩小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		28	
	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	27	28	
	訪問	2年目フォローアップ研修（教科）		28	
	市	市人権・同和教育研究会		28	
	市	誕生学プログラム		28	
大生院小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		28	
	市	市人権・同和教育研究会		28	
	市	誕生学プログラム		28	
角野小学校	県	「歌いつごう日本の歌」開催事業		28	
	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	27	28	
別子小学校	国	スクールヘルスリーダー派遣事業	27	28	

	学校名	内 容		指定年度	
中 学 校	東中学校	国	地域スポーツ人材の活用実践支援事業	27	28
		国	コミュニティ・スクール導入等促進事業		28
		県・市	ハートなんでも相談員設置事業	27	28
		訪問	免許外教科担任教員研修会		28
	西中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	27	28
		訪問	初任者研修事務所研修⑦（幼小中関連）		28
	南中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校		28
		訪問	2年目フォローアップ研修（学級活動）		28
		市	いのちの授業開催事業		28
	北中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校		28
		市	笑いコミュニケーション講座		28
	泉川中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	27	28
		国	コミュニティ・スクール導入等促進事業		28
		市	新聞制作体験学習事業		28
		市	笑いコミュニケーション講座		28
	船木中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	27	28
		市	笑いコミュニケーション講座		28
	船木中（ひびき校）				
	中萩中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	27	28
		市	市人権・同和教育研究会		28
		市	ものづくり体験講座		28
		市	いのちの授業開催事業		28
	大生院中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	27	28
県		「森はともだち」推進事業	27・28	27・	
市		笑いコミュニケーション講座		28	
角野中学校	国	がん教育推進事業		28	
	県・市	ハートなんでも相談員設置事業		28	
川東中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	27	28	
	訪問	2年目フォローアップ研修（学級活動）		28	
	市	市人権・同和教育研究会		28	
	市	いのちの授業開催事業		28	
別子中学校	市	別子中学校学び創生事業		28	
新居浜市	市・県	フッ化物洗口事業（全小学校）		28	
	国	えひめ子ども健康サポート推進事業		28	

※全小中学校において、持続可能な開発のための教育（ESD）をめざす学校づくりを推進する。

## 2 学校教育における人権・同和教育研究会

行 事	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備 考
校区別人権・同和教育懇談会運営委員会											14(火)		
新居浜市人権・同和教育研究大会								小中合同 22(火)					小学校4校 中学校2校
愛媛県人権・同和教育研究大会								10(木)					松山市
四国地区人権教育研究大会				7(木) ～ 8(金)									高知市
全国人権・同和教育研究大会								26(土) 27(日)					大阪府

# 平成28年度 児童・生徒・園児・教職員数

## 小学校

学年・性別 学校名		1 学年			2 学年			3 学年			4 学年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
新居浜小学校	児童数	23	12	35	13	27	40	18	20	38	18	20	38
	学級数	1			2			2			1		
宮西小学校	児童数	15	22	37	22	28	50	12	19	31	22	17	39
	学級数	2			2			1			2		
金子小学校	児童数	49	53	102	62	45	107	63	48	111	43	48	91
	学級数	3			3			4			3		
金栄小学校	児童数	46	35	81	30	37	67	29	28	57	23	28	51
	学級数	3			2			2			2		
高津小学校	児童数	55	61	116	58	52	110	68	62	130	61	62	123
	学級数	4			4			4			4		
浮島小学校	児童数	13	9	22	8	14	22	12	9	21	14	5	19
	学級数	1			1			1			1		
惣開小学校	児童数	29	29	58	28	20	48	26	23	49	26	25	51
	学級数	2			2			2			2		
若宮小学校	児童数	3	1	4	4	6	10	3	3	6	8	2	10
	学級数	1			1			1			1		
垣生小学校	児童数	16	25	41	31	13	44	20	22	42	21	27	48
	学級数	2			2			2			2		
神郷小学校	児童数	46	49	95	52	44	96	67	43	110	54	36	90
	学級数	3			3			4			3		
多喜浜小学校	児童数	11	9	20	18	10	28	11	7	18	16	9	25
	学級数	1			1			1			1		
泉川小学校	児童数	38	43	81	44	46	90	55	48	103	43	48	91
	学級数	3			3			3			3		
船木小学校	児童数	34	34	68	25	33	58	34	30	64	18	30	48
	学級数	2			2			2			2		
中萩小学校	児童数	67	85	152	82	81	163	95	70	165	82	62	144
	学級数	5			5			5			4		
大生院小学校	児童数	22	23	45	18	26	44	26	17	43	21	18	39
	学級数	2			2			2			2		
角野小学校	児童数	57	45	102	54	59	113	61	56	117	55	45	100
	学級数	3			4			4			3		
別子小学校	児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	学級数	0			0			0			0		
計	児童数	524	535	1,059	549	541	1,090	600	505	1,105	526	482	1,008
	学級数	38			39			40			36		

※大島小学校…H25.3.31 廃校

船木小学校…児童数にわかば分教室を含む

(平成 28 年 5 月 1 日現在)

5 学年			6 学年			計			学 級 数			教員数	職員数
男	女	計	男	女	計	男	女	計	通常	特別支援	計		
18	15	33	13	7	20	103	101	204	8	3	11	16	9
1			1			8							
18	20	38	19	21	40	108	127	235	9	2	11	21	8
1			1			9							
62	53	115	53	45	98	332	292	624	20	3	23	30	12
4			3			20							
39	23	62	26	38	64	193	189	382	13	2	15	20	9
2			2			13							
45	60	105	54	68	122	341	365	706	23	4	27	37	3
3			4			23							
10	5	15	8	10	18	65	52	117	6	2	8	12	6
1			1			6							
27	33	60	26	27	53	162	157	319	12	2	14	20	9
2			2			12							
5	4	9	6	6	12	29	22	51	6	0	6	10	5
1			1			6							
28	23	51	23	17	40	139	127	266	11	2	13	21	9
2			1			11							
47	48	95	48	45	93	314	265	579	19	4	23	30	12
3			3			19							
13	10	23	13	15	28	82	60	142	6	1	7	12	8
1			1			6							
40	25	65	41	44	85	261	254	515	17	2	19	25	6
2			3			17							
30	36	66	32	27	59	173	190	363	12	3	15	23	10
2			2			12							
83	74	157	78	84	162	487	456	943	29	5	34	48	13
5			5			29							
18	24	42	16	24	40	121	132	253	11	2	13	19	11
2			1			11							
47	53	100	62	52	114	336	310	646	21	4	25	36	11
3			4			21							
0	1	1	1	0	1	2	1	3	1	1	2	2	0
1			0			1							
530	507	1,037	519	530	1,049	3,248	3,100	6,348	224	42	266	382	141
36			35			224							

## 中学校

学年・性別 学校名		1 学年			2 学年			3 学年	
		男	女	計	男	女	計	男	女
東中学校	生徒数	73	61	134	69	74	143	60	73
	学級数	4			4			4	
西中学校	生徒数	35	40	75	46	38	84	55	44
	学級数	2			3			3	
南中学校	生徒数	86	67	153	85	68	153	61	77
	学級数	4			4			4	
北中学校	生徒数	46	35	81	42	34	76	44	45
	学級数	3			2			3	
泉川中学校	生徒数	39	34	73	47	43	90	35	45
	学級数	2			3			2	
船木中学校	生徒数	29	30	59	32	27	59	45	35
	学級数	2			2			2	
船木中学校 ひびき分校	生徒数	1	0	1	1	0	1	6	2
	学級数	1			1			1	
中萩中学校	生徒数	90	89	179	83	69	152	103	83
	学級数	5			4			5	
大生院中学校	生徒数	21	16	37	12	26	38	29	23
	学級数	1			1			2	
角野中学校	生徒数	52	57	109	50	48	98	57	45
	学級数	3			3			3	
川東中学校	生徒数	106	84	190	85	75	160	100	95
	学級数	5			4			5	
別子中学校	生徒数	4	2	6	0	0	0	1	1
	学級数	1			0			1	
計	生徒数	582	515	1,097	552	502	1,054	596	568
	学級数	33			31			35	

## 幼稚園

年齢・性別 幼稚園名		4 歳 児			5 歳 児				
		男	女	計	男	女	計		
王子幼稚園	園児数	18	13	31	31	24	55		
	学級数	1			2				
神郷幼稚園	園児数	17	14	31	14	19	33		
	学級数	1			1				
計	園児数	35	27	62	45	43	88		
	学級数	2			3				

(平成 28 年 5 月 1 日現在)

計	計			学 級 数			教員数	職員数
	男	女	計	通常	特別支	計		
133	202	208	410	12	2	14	30	3
	12							
99	136	122	258	8	2	10	21	3
	8							
138	232	212	444	12	2	14	28	3
	12							
89	132	114	246	8	1	9	20	3
	8							
80	121	122	243	7	2	9	22	3
	7							
80	106	92	198	6	2	8	19	3
	6							
8	8	2	10	3	0	3	7	1
	3							
186	276	241	517	14	2	16	32	3
	14							
52	62	65	127	4	2	6	15	3
	4							
102	159	150	309	9	2	11	23	3
	9							
195	291	254	545	14	2	16	33	3
	14							
2	5	3	8	2	1	3	9	4
	2							
1,164	1,730	1,585	3,315	99	20	119	259	35
	99							

(平成 28 年 5 月 1 日現在)

	計				教 員 数
	男	女	計		
	49	37	86		5
	3				
	31	33	64		4
	2				
	80	70	150		9
	5				

# 学 校 等 一 覧

## 幼稚園

園 名	所 在 地	電 話 (FAX)	園 長 氏 名
王 子	王子町2番2号	32-4815 (32-4815)	高 橋 ひ と み
神 郷	郷三丁目8番16号	45-0170 (45-0170)	木 下 直 子
合 計			

## 小 学 校

学 校 名	所 在 地	電 話 (FAX)	校 長 氏 名	教 頭 氏 名
新 居 浜	新須賀町三丁目1番58号	37-3061 (37-3062)	加 藤 三 香 子	二 宮 茂 樹
宮 西	宮西町5番56号	33-8940 (33-8941)	星 川 孝 徳	曾 我 亨
金 子	久保田町一丁目3番57号	37-2221 (37-2302)	岡 野 弥 生	今 村 信
金 栄	西の土居町一丁目5番1号	37-2313 (37-2120)	越 智 秀 雄	澤 井 哲 男
高 津	宇高町二丁目13番7号	37-3754 (37-3854)	一 色 明 繁	加 藤 茂 樹
浮 島	八幡二丁目2番65号	33-1020 (33-1021)	森 田 まゆみ	山 崎 雄 史
惣 開	王子町1番3号	37-3401 (37-3402)	日 野 優 子	近 藤 美 智 男
若 宮	新田町一丁目8番56号	32-3987 (32-4887)	中 野 久	畑 野 一 恵
垣 生	垣生一丁目5番38号	45-0186 (45-0195)	小笠原 忠彦	山 内 好 明
神 郷	神郷一丁目1番1号	45-0082 (45-0493)	荒 井 正 隆	篠 原 直 樹
多 喜 浜	多喜浜五丁目7番34号	45-0142 (45-0035)	高 橋 利 和	青 野 浩 之
泉 川	岸の上町一丁目13番68号	43-4145 (43-4146)	濱 田 英 稔	鴨 田 洋 吾
船 木	船木4299番地の1	41-6260 (41-6362)	長 瀬 陽 子	渡 辺 務
わかば分教室	船木甲2971番地の1	31-7645 (31-7646)		
中 萩	中萩町6番61号	41-6225 (41-6265)	西 原 勝 則	渡 邊 健 児
大 生 院	大生院1070番地の1	41-6627 (41-6694)	矢 野 淳 一	秦 竜 吾
角 野	中筋町二丁目7番10号	43-7141 (43-7142)	秦 博 文	岸 泰 典
別 子	別子山甲358番地	64-2167 (64-2321)	別子中と兼務	別子中と兼務
合 計				

※ 大島小学校……H25.3.31 廃校

(平成 28 年 5 月 1 日現在)

教室数		園舎面積	校地面積			遊戯場 面積	プール 水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
5	—	1,237	1,008	1,130	2,138	185	37
3	—	965	1,037	1,705	2,742	144	29
8	—	2,202	2,045	2,835	4,880	329	66

(平成 28 年 5 月 1 日現在)

教室数		校舎面積	校地面積			屋内 運動場 面積	プール 水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
11	9	3,757	10,990	7,154	18,144	831	375
11	8	3,795	11,274	10,274	21,548	807	425
23	11	5,640	10,358	10,852	21,210	1,033	425
15	10	3,616	14,565	7,001	21,566	919	425
27	20	6,706	9,664	13,325	22,989	1,196	475
8	12	3,434	8,591	9,449	18,040	807	400
14	12	4,088	8,010	12,235	20,245	807	425
6	6	2,336	7,259	10,387	17,646	807	423
13	9	2,778	7,646	4,884	12,530	807	425
23	14	5,560	9,400	8,283	17,683	894	400
7	12	2,944	6,664	7,138	13,802	919	400
19	23	6,181	12,800	10,197	22,997	1,023	475
15	14	3,975	9,811	9,034	18,845	807	400
0	—	—	—	—	—	—	—
34	16	7,669	10,383	16,268	26,651	1,239	525
13	9	3,087	9,537	7,095	16,632	807	525
25	15	6,137	15,797	13,079	28,876	1,033	425
2	7	820	2,899	500	3,399	551	—
266	207	72,523	165,648	157,155	322,803	15,287	6,948

## 中学校

学校名	所在地	電話 (FAX)	校長氏名	教頭氏名
東	東雲町一丁目4番23号	37-1294 (37-1038)	佐々木 篤 志	永 井 和 弘
西	江口町7番1号	37-2021 (37-2023)	河 合 秀 和	今 泉 知 範
南	庄内町二丁目4番47号	37-0310 (37-5392)	筒 井 宗 彦	安 永 元 生
北	宮西町5番81号	33-9135 (33-9136)	稲 見 武 仁	篠 原 康 展
泉 川	星原町7番8号	43-5800 (43-5821)	小 西 裕 久	矢 野 雅 士
船 木	船木甲 3754 番地の 1	41-6347 (41-6364)	神 野 康 一	河 村 公 寿
船 木 ひびき分校	船木甲 2971 番地の 1	31-7645 (31-7646)		阪 本 博 和
中 萩	中萩町 13 番 31 号	43-5131 (43-5132)	藤 田 裕 彦	大 久 保 浩
大 生 院	大生院 1070 番地の 2	41-6927 (41-6229)	神 野 剛	柴 田 喜 清
角 野	宮原町 11 番 51 号	43-6108 (43-6109)	森 正 男	神 尾 宏 之
川 東	神郷二丁目4番1号	45-0180 (45-0144)	横 井 敏 行	近 藤 栄 一
別 子	別子山甲 358 番地	64-2115 (64-2321)	山 田 浩 司	上 林 正 佳
合 計				

(平成 28 年 5 月 1 日現在)

教室数		校舎面積	校地面積			屋 内 運動場 面 積	プール 水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
14	15	4,533	10,200	6,596	16,796	1,388	400
10	14	4,830	13,504	11,456	24,960	816	400
14	14	4,731	12,699	7,811	20,510	981	375
9	15	4,005	15,880	9,628	25,508	1,138	425
9	19	4,256	14,451	6,942	21,393	981	425
8	11	3,401	10,679	11,108	21,787	1,014	400
4	9	1,036	6,171	1,681	7,852	428	150
16	18	4,865	16,838	11,641	28,479	1,031	425
6	14	3,210	8,987	6,299	15,286	830	—
11	15	4,814	10,934	11,018	21,952	1,031	375
16	19	5,768	13,997	20,673	34,670	1,055	400
3	0	94	1,118	500	1,618	145	—
120	163	45,543	135,458	105,353	240,811	10,838	3,775

# 通 学 区 域

小学校名	通 学 区 域
新 居 浜	大江町、港町、若水町一丁目、若水町二丁目、菊本町一丁目、菊本町二丁目、新須賀町一丁目、新須賀町二丁目、新須賀町三丁目、新須賀町四丁目
宮 西	西町、中須賀町一丁目、中須賀町二丁目、西原町一丁目、西原町二丁目、西原町三丁目、泉池町、泉宮町、宮西町、徳常町、繁本町
金 子	一宮町一丁目、一宮町二丁目、久保田町一丁目、久保田町二丁目、久保田町三丁目（1番から9番まで）、八雲町、平形町、田所町、庄内町一丁目、庄内町二丁目、庄内町三丁目、庄内町四丁目（1番から3番まで、5番30号から39号まで）、庄内町五丁目、庄内町六丁目、江口町（1番から3番まで、5番、6番、8番から17番まで）、北新町（1番、2番、4番、5番）、城下町（1番から6番まで）
金 栄	滝の宮町、西の土居町一丁目、西の土居町二丁目（1番から7番まで、9番から17番まで）、高木町、政枝町一丁目、政枝町二丁目、政枝町三丁目、久保田町三丁目（10番、11番）、庄内町四丁目（4番、5番（金子小学校の区域を除く。）、6番、7番）、坂井町一丁目、坂井町二丁目、金子丙（1番地から30番地まで）
高 津	宇高町一丁目、宇高町二丁目、宇高町三丁目、宇高町五丁目（1番から9番まで、12番、13番）、沢津町一丁目、沢津町二丁目、沢津町三丁目、東雲町一丁目、東雲町二丁目、東雲町三丁目（1番から8番まで）、松の木町（1番）、高津町、清水町、南小松原町、桜木町、郷一丁目（1番、7番）、郷五丁目（2番）、高田二丁目（1番、6番）、田の上四丁目（6番から9番まで）
浮 島	松の木町（2番から13番まで）、宇高町四丁目、宇高町五丁目（10番、11番、14番、15番）、垣生六丁目（1番、15番）、八幡一丁目（9番から21番まで）、八幡二丁目、八幡三丁目（1番、4番4号から18号まで・36号・40号・43号、5番から8番まで、9番3号・39号から54号まで、10番38号から48号まで）
惣 開	星越町、前田町、王子町、河内町、北新町（3番、6番から13番まで）、西の土居町二丁目（8番）、磯浦町（1番）、江口町（4番、7番、18番）、金子丙（金栄小学校の区域を除く。）
若 宮	惣開町、新田町一丁目、新田町二丁目、新田町三丁目、磯浦町（2番から19番まで）、新居浜乙
垣 生	垣生一丁目、垣生二丁目、垣生三丁目、垣生四丁目、垣生五丁目、垣生六丁目（2番から14番まで）、八幡一丁目（1番から8番まで）、八幡三丁目（2番、3番、4番（浮島小学校の区域を除く。）、9番（浮島小学校の区域を除く。）、10番（浮島小学校の区域を除く。）、長岩町、垣生
神 郷	郷一丁目（2番から6番まで、8番から16番まで）、郷二丁目、郷三丁目、郷四丁目、郷五丁目（1番、3番から9番まで）、東雲町三丁目（9番）、清住町、落神町、又野一丁目、又野二丁目、又野三丁目、高田一丁目、高田二丁目（2番から5番まで）、田の上一丁目、田の上二丁目、田の上三丁目、田の上四丁目（1番から5番まで、10番から12番まで）、松神子一丁目、松神子二丁目、松神子三丁目、松神子四丁目、神郷一丁目、神郷二丁目、楠崎一丁目（1番、3番、4番33号から46号まで・60号から62号まで・65号・66号、5番から8番まで）、楠崎二丁目、多喜浜一丁目（8番1号から16号まで・56号から89号まで）、多喜浜四丁目（8番1号から11号まで・28号から53号まで、9番、10番）、多喜浜五丁目（10番1号から8号まで）、郷、郷乙
多 喜 浜	楠崎一丁目（2番、4番（神郷小学校の区域を除く。）、多喜浜一丁目（1番から7番まで、8番（神郷小学校の区域を除く。）、9番、10番）、多喜浜二丁目、多喜浜三丁目、多喜浜四丁目（1番から7番まで、8番（神郷小学校の区域を除く。）、11番、12番）、多喜浜五丁目（1番から9番まで、10番（神郷小学校の区域を除く。）、11番、12番）、多喜浜六丁目、阿島一丁目、阿島二丁目、阿島三丁目、阿島四丁目、阿島、荷内町、黒島一丁目、黒島二丁目、黒島、大島

小学校名	通 学 区 域
泉 川	松木町、西喜光地町、喜光地町一丁目、松原町、坂井町三丁目、瀬戸町、寿町、星原町、上泉町、外山町、岸の上町一丁目、岸の上町二丁目、城下町（7番）、下泉町一丁目、下泉町二丁目、観音原町、東田一丁目、東田二丁目、東田三丁目、国領一丁目、光明寺一丁目、光明寺二丁目
船 木	船木、七宝台町
中 萩	萩生、横水町、本郷一丁目、本郷二丁目、本郷三丁目、中萩町、上原一丁目、上原二丁目、上原三丁目、上原四丁目、中村一丁目、中村二丁目（1番から15番まで）、中村三丁目（3番から11番まで）、中村四丁目（3番から9番まで、11番、15番から18番まで）、御蔵町（2番、3番）、中村松木一丁目、中村松木二丁目、土橋一丁目、土橋二丁目（1番から10番まで、13番、14番）、大永山（出口、小味池）
大 生 院	大生院
角 野	土橋二丁目（11番、12番、15番から17番まで）、中村二丁目（16番）、中村三丁目（1番、2番）、中村四丁目（1番、2番、10番、12番から14番まで）、御蔵町（1番、4番から13番まで）、喜光地町二丁目、西泉町、西連寺町一丁目、西連寺町二丁目、篠場町、山田町、山根町、中西町、宮原町、中筋町一丁目、中筋町二丁目、北内町一丁目、北内町二丁目、北内町三丁目、北内町四丁目、吉岡町、角野新田町一丁目、角野新田町二丁目、角野新田町三丁目、種子川町、角野、大永山（出口・小味池を除く。）、立川町、種子川山
別 子	別子山

中学校名	通 学 区 域
東	高津小学校区、松の木町、宇高町四丁目
西	惣開小学校区、若宮小学校区、江口町、北新町
南	金子小学校区（北中学校区、西中学校区を除く。）、金栄小学校区
北	新居浜小学校区、宮西小学校区、一宮町二丁目（2番18号から42号まで・100号から末号まで、3番から5番まで、6番32号から67号まで・100号から末号まで）
泉 川	泉川小学校区
船 木	船木小学校区
中 萩	中萩小学校区
大 生 院	大生院小学校区
角 野	角野小学校区
川 東	垣生小学校区、神郷小学校区、多喜浜小学校区、浮島小学校区（東中学校区を除く。）
別 子	別子小学校区

# 園児・児童・生徒数の推移（平成23～32年度）

（毎年度5月1日現在）

学校 \ 年度	23	24	25	26	27	28	29 (見 込)	30 (見 込)	31 (見 込)	32 (見 込)
新居浜小学校	250	228	234	215	218	204	222	219	210	205
宮西小学校	297	280	260	248	243	235	229	236	240	244
金子小学校	721	706	681	673	649	624	659	657	687	689
金栄小学校	345	353	351	334	346	382	390	379	395	396
高津小学校	757	745	722	725	706	706	675	667	642	609
浮島小学校	111	105	110	107	112	117	136	144	153	159
惣開小学校	320	301	300	301	302	319	300	285	284	295
若宮小学校	95	89	83	78	66	51	46	48	48	54
垣生小学校	267	263	272	284	285	266	269	266	260	256
神郷小学校	561	577	548	565	582	579	582	567	568	544
多喜浜小学校	221	202	196	164	158	142	140	150	147	150
大島小学校	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
泉川小学校	494	478	485	505	505	515	543	573	588	603
船木小学校	431	423	384	366	362	363	365	364	367	364
中萩小学校	1,061	1,030	1,000	973	977	943	943	937	922	899
大生院小学校	255	256	242	241	249	253	261	252	239	236
角野小学校	672	659	649	653	653	646	627	626	623	591
別子小学校	2	1	2	3	4	3	3	5	5	5
<b>小学校計</b>	<b>6,860</b>	<b>6,696</b>	<b>6,519</b>	<b>6,435</b>	<b>6,417</b>	<b>6,348</b>	<b>6,390</b>	<b>6,375</b>	<b>6,378</b>	<b>6,299</b>
東中学校	379	387	397	400	415	410	395	352	339	351
西中学校	314	306	302	294	271	258	227	211	200	189
南中学校	462	481	467	459	458	444	460	483	469	480
北中学校	272	283	244	255	233	246	220	216	211	219
泉川中学校	265	269	265	254	255	243	252	232	249	262
船木中学校	209	215	211	218	208	198	178	184	172	176
船木中学校ひびき分校	18	16	6	9	5	10	0	0	0	0
中萩中学校	589	560	551	543	514	517	487	502	478	500
大生院中学校	151	145	146	141	142	127	121	119	119	113
角野中学校	334	315	329	330	313	309	322	325	314	313
川東中学校	562	559	543	569	550	545	535	566	566	573
別子中学校	5	3	0	1	1	8	12	23	28	32
<b>中学校計</b>	<b>3,560</b>	<b>3,539</b>	<b>3,461</b>	<b>3,473</b>	<b>3,365</b>	<b>3,315</b>	<b>3,209</b>	<b>3,213</b>	<b>3,145</b>	<b>3,208</b>
王子幼稚園	109	103	120	120	104	86	—	—	—	—
神郷幼稚園	52	60	79	71	61	64	—	—	—	—
<b>幼稚園計</b>	<b>161</b>	<b>163</b>	<b>199</b>	<b>191</b>	<b>165</b>	<b>150</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>

※大島小学校……H25. 3. 31 廃校

## 中学校卒業者の進路状況

( ) 卒業者に対する百分

率

	卒業者数	進学者数	就 職 者 数			公共職業能力 開発施設等 入 学 者	そ の 他 自 己 就 職 家 事 手 伝 等
			県 内	県 外	総 数		
27	1,147	1,128 ( 98.3)	7 ( 0.6)	0 ( 0.0)	7 ( 0.6)	0 ( 0.0)	12 ( 1.0)
26	1,177	1,152 ( 97.9)	13 ( 1.1)	0 ( 0.0)	13 ( 1.1)	0 ( 0.0)	12 ( 1.0)
25	1,153	1,129 ( 97.9)	7 ( 0.6)	2 ( 0.2)	9 ( 0.8)	0 ( 0.0)	15 ( 1.3)
24	1,200	1,179 ( 98.3)	9 ( 0.8)	0 ( 0.0)	9 ( 0.8)	0 ( 0.0)	12 ( 1.0)
23	1,194	1,166 ( 97.7)	15 ( 1.3)	0 ( 0.0)	15 ( 1.3)	0 ( 0.0)	13 ( 1.1)
22	1,123	1,096 ( 97.6)	12 ( 1.1)	0 ( 0.0)	12 ( 1.1)	3 ( 0.3)	12 ( 1.1)
21	1,163	1,121 ( 96.4)	24 ( 2.1)	0 ( 0.0)	24 ( 2.1)	2 ( 0.2)	16 ( 1.4)
20	1,093	1,067 ( 97.6)	11 ( 1.0)	0 ( 0.0)	11 ( 1.0)	1 ( 0.1)	14 ( 1.3)
19	1,131	1,101 ( 97.3)	15 ( 1.3)	0 ( 0.0)	15 ( 1.3)	1 ( 0.1)	14 ( 1.2)
18	1,138	1,101 ( 96.7)	16 ( 1.4)	0 ( 0.0)	16 ( 1.4)	3 ( 0.3)	18 ( 1.6)
17	1,139	1,106 ( 97.1)	13 ( 1.1)	0 ( 0.0)	13 ( 1.1)	2 ( 0.2)	18 ( 1.6)
16	1,231	1,194 ( 97.0)	5 ( 0.4)	0 ( 0.0)	5 ( 0.4)	2 ( 0.2)	30 ( 2.4)
15	1,274	1,235 ( 96.9)	1 ( 0.1)	0 ( 0.0)	1 ( 0.1)	1 ( 0.1)	37 ( 2.9)
14	1,319	1,274 ( 96.6)	3 ( 0.2)	0 ( 0.0)	3 ( 0.2)	0 ( 0.0)	42 ( 3.2)
13	1,376	1,321 ( 96.0)	2 ( 0.1)	0 ( 0.0)	2 ( 0.1)	1 ( 0.1)	52 ( 3.8)
12	1,410	1,362 ( 96.6)	4 ( 0.3)	1 ( 0.1)	5 ( 0.4)	1 ( 0.1)	42 ( 3.0)
11	1,469	1,429 ( 97.3)	9 ( 0.6)	0 ( 0.0)	9 ( 0.6)	1 ( 0.1)	30 ( 2.0)
10	1,473	1,428 ( 96.9)	5 ( 0.3)	0 ( 0.0)	5 ( 0.3)	0 ( 0.0)	40 ( 2.7)
9	1,511	1,452 ( 96.1)	21 ( 1.4)	1 ( 0.1)	22 ( 1.5)	4 ( 0.1)	33 ( 2.2)
8	1,516	1,455 ( 96.0)	5 ( 0.3)	1 ( 0.1)	6 ( 0.4)	2 ( 0.1)	53 ( 3.5)

(学校基本調査による)

# 発 達 支 援 課

## 重点目標

「障害者差別解消法」(平成 28 年 4 月 1 日施行)に伴い、障がいや発達課題のある子どもが、地域でともに育ち、学び、働き、暮らす支援の体制づくりに取り組み、障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう共生社会の形成を目指し、インクルーシブ教育システムの構築を推進する。

新居浜市の特別支援教育の中核的機関として設置した「こども発達支援センター」を中心に、乳幼児期から就労時期まで各ライフステージに対応する関係機関と連携し、子ども一人一人の教育的ニーズを踏まえ、その能力を十分に伸ばし、生活上や学習上の困り感を軽減するため、一貫した支援や指導を包括的かつ継続的に実施またはコーディネートする。

## 最重要課題

**障がいや発達課題のある子どもへの生涯にわたる一貫した支援の推進**

## 重点事項

### I 特別支援教育の充実

#### 1 特別支援教育を推進するための支援体制の充実と教育環境の整備

- (1) 適切な指導と必要な支援が行えるよう特別支援教育校内委員会の機能充実を図るとともに、特別支援教育コーディネーターの実践力の向上を図り、校内支援体制の充実に努める。
- (2) 巡回相談を年間計画に位置付け、定期的に支援会議を開く等、教育的ニーズに応じた支援を効果的に行う。また、特別支援学校のセンター的機能等を積極的に活用する。
- (3) 多様な教育的ニーズに対応するために、各種研修会や講演会等に積極的に参加する。また、校内研修を充実させて教職員の資質・能力の向上を図る。

#### 2 学校・家庭・地域・関係機関の連携による特別支援教育の充実

- (1) 学校経営計画に各学校の特別支援教育の取り組み方針を具体的に明記する等、あらゆる機会を通して、特別支援教育に対する理解と啓発に努める。
- (2) 発達支援課等関係機関と連携し、長期的な視点で適切な指導と必要な支援を行うために、「個別の教育支援計画」(新居浜市サポートファイル「にっこ・にこ」)を作成するとともに積極的に活用する。
- (3) 家庭や地域社会との連携を深めるとともに、小・中連携や小・小連携等、中学校区内の学校相互の連携や交流を図ることに努める。また、特別支援学級と通常の学級双方の児童生徒の教育的ニーズを十分把握し、特別支援学級の弾力的運用等の校内協力体制を構築し、交流及び共同学習を積極的に推進する。

#### 3 一人一人の障がいの状態や発達の段階等、教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

- (1) 児童生徒の障がいの状態等に応じた必要な合理的配慮の合意形成を図った上で、きめ細やかな指導・支援を行うために、創意工夫を生かした教育課程の編成・実施に努める。
- (2) ユニバーサルデザインを生かした指導、授業形態や集団の構成の工夫、それぞれの教師の専門性を生かした協力的な指導などにより、効果的な学習活動の展開に努める。
- (3) 特別支援教育ハンドブックのより一層の活用を図る。

- (4) 一人一人の実態を的確に把握した「個別の指導計画」を作成し、積極的に活用することで、個に応じた指導・支援の充実に努める。
- (5) 児童生徒が自己の在り方や生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう、キャリア教育の視点に立った特別支援教育の充実に図る。

## II 発達支援の推進

### 1 関係機関の連携による継続した支援

発達支援に関わる医療、保健、福祉、教育、労働、地域の各関係機関の委員で構成された地域発達支援協議会において、関係機関相互の効果的なネットワーク方策と総合的な支援システムの構築を図る。

### 2 早期発見、早期支援体制の充実

- (1) 乳幼児健康診査時における障がいや発達課題の早期発見のためのスクリーニング強化方策（M-C H A T）の導入とフォローアップの充実など就学前の早期発見体制の強化を図る。
- (2) 個別療育、小集団療育、構音訓練、個別S S T等を内容とする早期療育通園事業（親子通園事業）の運営を充実し、心身の発達に課題のある未就学児に日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の指導、療育を行い早期療育体制の強化を図る。
- (3) 実践セミナーや専門研修等を通じて保健師、保育士、指導員、教職員等関係職員の専門性の向上を図り、早期発見、支援体制の充実と人材育成を図る。

### 3 相談支援体制の充実

- (1) 心理専門家等による保育所、幼稚園、小・中学校、高等学校での巡回相談を実施し、障がいや発達課題のある子どもの早期発見、早期対応及び継続支援の充実に図る。
- (2) 障がいや発達課題のある子どもだけでなく、その兄弟姉妹や家族に対しても適切な情報の提供と相談や助言など必要な支援を行うため、実効性のある相談支援体制の整備を図る。

### 4 個別の支援計画（新居浜市サポートファイル「にっこ・にこ」）の作成、活用

多様な関係機関からの支援を総合的に調整していくためのツールとして、保護者と協働で個別の教育支援計画を作成し、効果的な運用と定期的な見直し、確実な引き継ぎを実施する。

### 5 ボランティア、地域との連携

住み慣れた身近な地域で療育やサービスが受けられるように、地域で様々な活動を行っている親の会や子育てサークル、NPOなどに対して必要な支援を行い地域資源の充実に図る。

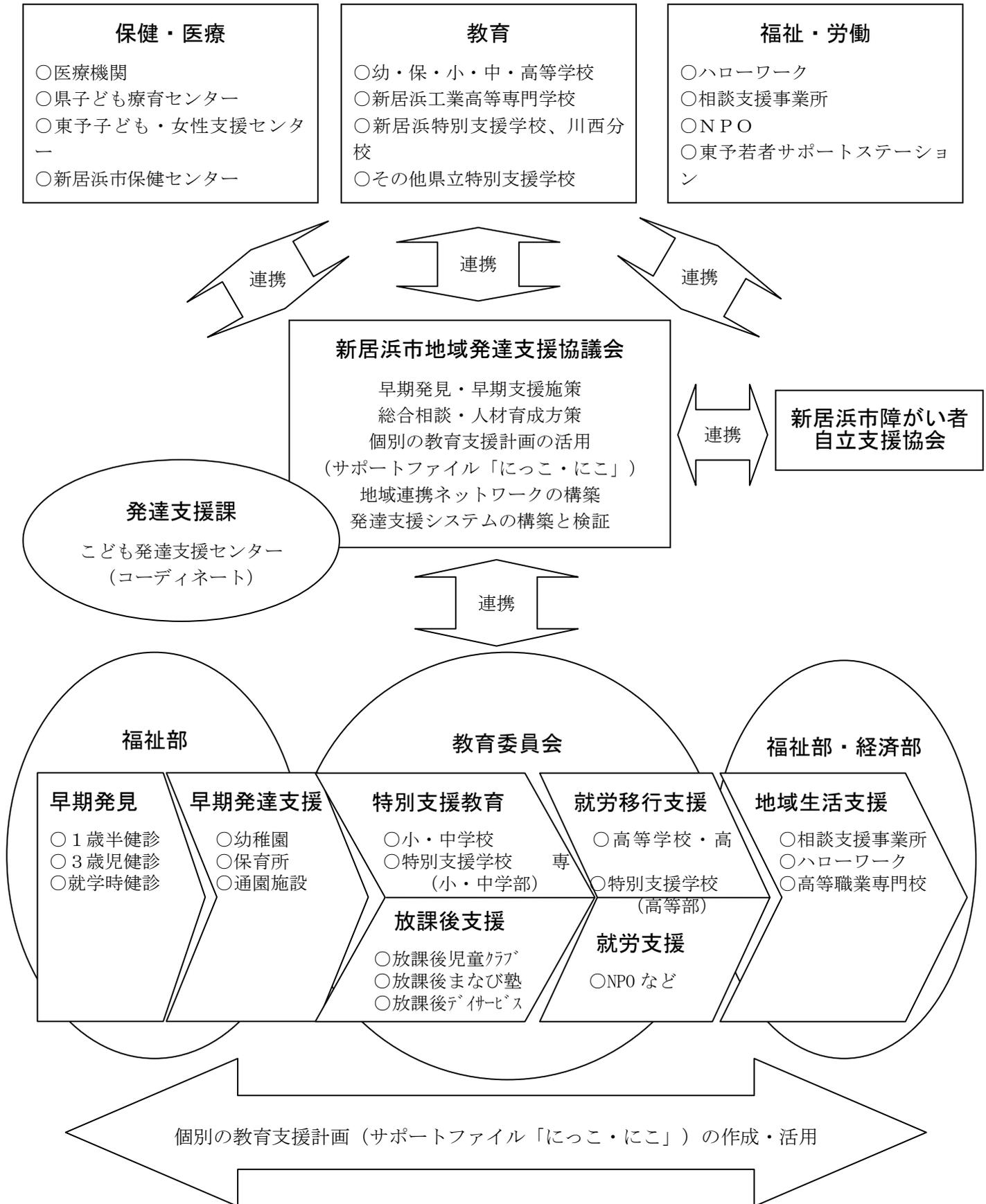
### 6 専門的知識を有する人材の確保

障がいや発達課題の子どもたちへの適切な支援を確保していくために、医療、保健、福祉、教育、労働等の分野において、専門的知識を有する人材の確保に向けた取り組みを進める。

### 7 障がいに対する啓発の推進

発達障がいなどに対する理解を深めるとともに、障がい者が生き生きと安心して生活できる地域づくりを目指して広報、講演会や研修会など普及、啓発活動を積極的に行う。

# 発達支援システムイメージ図



# 学 校 給 食 課

## 重点目標

子どもたちの健康を守るとともに、安全で喜ばれる給食づくり

## 重点事項

- 1 食中毒予防対策の徹底を図り、衛生管理の向上・安全保持に努める。
- 2 学校給食設備・備品の整備充実に努める。
- 3 適正な物資の調達に努める。
- 4 地域農産物の活用に努める。
- 5 学校・家庭・地域が連携し、食生活の改善を図るとともに食文化の継承等に努める。
- 6 心のふれ合う楽しい学校給食の展開に努める。
- 7 学校の教育活動全体を通して、実践的・総合的な食に関する指導に努める。
  - (1) 発達段階に即した指導
  - (2) 個人に応じた指導（アレルギーに対応した給食等）
  - (3) 献立を通じた指導
  - (4) 多様な経験ができる指導
- 8 学校給食施設の老朽化への具体的対応を検討する。
- 9 市内の小中学校に3人以上の児童生徒が在籍する所得の低い世帯に対し、第3子以降の学校給食費の無償化に取り組む。

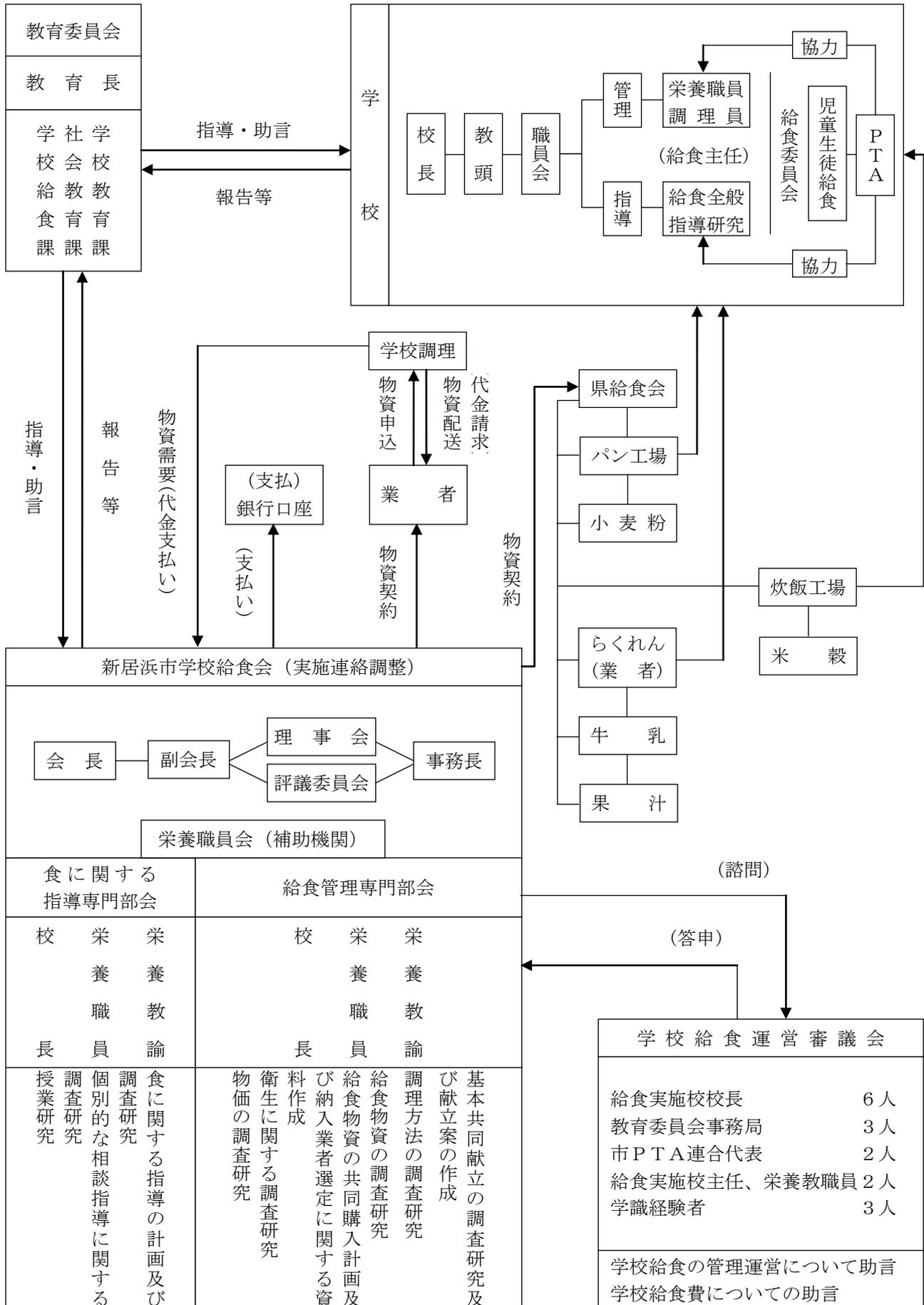
## 施設状況

施設名	所在地	建設年月日	構造	敷地面積	建物面積	電話	所(場)長氏名
学校給食センター	瀬戸町12番38号	平成13.3	鉄骨造2階建 外	4,597 m <sup>2</sup>	(本体) 2,232 m <sup>2</sup> (その他) 84 m <sup>2</sup>	31-7470	桑原 一郎
高津共同調理場	宇高町二丁目13番7号	昭和57.2	鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建 外 (平成10.8増築)	—	(本体) 260 m <sup>2</sup> (その他) 12 m <sup>2</sup>	37-3797	伊藤 孝嗣

※ 小学校給食室省略

[対象校] 学校給食センター 西中・南中・北中・泉川中・船木中・中萩中・角野中・川東中  
愛媛県立新居浜特別支援学校（本校・川西分校）・泉川小（米飯のみ）  
高津共同調理場 高津小学校・東中学校

# 学校給食運営組織図



# 新 居 浜 市 学 校 給 食 の 推 移

年度	給食の形態			1食当たり 給食費(円)	献立等	購入
	ミルク給食	還元牛乳	完全給食			
S22	市内全小学校					
23~			小1校			
25			小2校			
26~			小4校	15	各校単独献立	各校単独購入
31			小5校			
32			小6校		栄養職員1名で立案	
33			小7校		市教委栄養職員指導	
34			小8校		各校へ栄養職員配置	↓
35			小12校			準共同購入 (乾物・砂糖のみ)
36	↓		小13校	↓		↓
37~		市内全小中学校	小16校・中2校	25		
39				30		
40				↓		(卵追加)
41~				40	準共同献立	
43				46	完全共同献立	
44				↓		完全共同購入
45			小16校・中1校	55		
46		10月より牛乳	↓	65		
47			小17校・中1校	70		
48				85		
49~				130	11月栄養職員県費切替	
51				150	米飯週1回実施	
52		9月より紙容器				
53			金子、船木			
54			泉川、垣生	↓		
55			宮西、金栄、浮島、大生院 神郷、惣開、多喜浜	160	4月から10月ジュース実施	
56~			高津	↓	2学期から米飯週2回実施	
58			若宮	180	全校へ「おはし」導入	
59			角野、中萩		ジュース5、6、7、9月実	
60					2学期から米飯週2.5回実施	
61~			新居浜			
H1					学校給食地域農産物等活用 モデル指定校(神郷小)	
2				小200 中220	米飯週3回実施 学校給食情報ネットワーク化事業 モデル校(大生院小)	
3					給食用食器強化磁器導入 (惣開小)	
4					学校給食地域農産物等活用 モデル指定校(角野小)	
5					〃	
6~				小220 中260		
10			小17校・中2校		高津共同調理場設置	
11						
12						
13			小17校・中10校		地元産米の使用 学校給食センター設置	
14			↓			
15			小18校・中11校			
16						
17						
18						
19						
20						
21				21.9~ 小240 中280		
22					別子小中学校調理場改修	
23					地元産米を地元業者納入	
24						
25			小17校・中10校			
26			小17校・中11校			
27						

※平成25年度～大島小学校廃校

# ス ポ ー ツ 文 化 課

## 重点目標

### 1 体育・スポーツ活動の推進・充実

すべての市民が親しめる社会体育の推進と競技スポーツの振興を図り、新居浜市スポーツ推進計画の基本理念である「市民のライフステージに応じて親しむ・楽しむ・育てるスポーツまちづくり」を目指す。

### 2 芸術・文化活動の推進・充実

地域の芸能・文化活動をより一層発展させるため、市民の自主的な参画を促進し、裾野の拡大と質の向上を図る。

## 重点事項

### 1 市民体育・スポーツ振興

- (1) 市民体育スポーツの振興と社会教育団体等の組織の充実を図るため、市体育協会等の団体を支援する。
- (2) スポーツ関係指導者の資質の向上と育成を図るため、講習会、研修会を開催する。
- (3) 競技スポーツ振興の基盤となる中高生及び青少年のスポーツ活動の促進と競技力の向上を図るため、各種スポーツ教室・スポーツ大会を実施し、高校運動部活動を支援する。
- (4) 各種スポーツ大会への選手派遣の助成を行う。

#### 【主な年行事】

市民体育祭  
少年スポーツ大会  
スポーツ指導者講習会

### 2 芸術文化活動の奨励

- (1) 地域住民が積極的に各種の芸術文化活動に参加し、創作や表現の喜びを味わえる機会の拡大を図るための発表・展覧会を実施する。
- (2) 文化協会その他のグループ・サークルの活動の促進を図るため芸術文化事業を支援する。
- (3) 中央の優れた芸術鑑賞、機会の拡充を図るため、公演会を開催する。

#### 【主な年行事】

にいはま春の市民文化祭  
秋の芸術祭  
市美術展覧会

### 3 文化財の保存活用

- (1) 市民の文化財に対する理解と認識を深めるため、文化財・史跡めぐり等を開催する。
- (2) 文化財の調査研究記録・遺跡台帳の整備を図るため、現地調査等を実施する。
- (3) 公共事業に伴う埋蔵文化財が発掘された場合は、調査報告書を作成する。

#### 【主な年行事】

文化財めぐり

## 課 題

- 1 体育・文化施設の老朽化への対応
- 2 体育・文化施設の借地解消
- 3 総合型地域スポーツクラブの構築

## 体育施設一覽表

施設名	所在地	建設年月日	構造	敷地面積(m <sup>2</sup> )	建物面積(m <sup>2</sup> )	電話	管理者
市民体育館	東雲町一丁目 1番25号	昭和 52. 8	鉄筋コンクリート造 3階建	4,863	6,163	34-1888	文化体育 振興事業団
山根総合 体育館	角野新田町 三丁目14番1号	昭和 62. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	5,358	3,252	43-2905	〃
多喜浜 体育館	多喜浜四丁目 3番7号	昭和 59. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	1,953	1,179	46-2466	〃
東雲 市民プール	東雲町一丁目 1番13号	昭和 47. 6	鉄筋コンクリート造	10,744	524 水面積 2,840	32-3595	〃
山根公園 屋内プール	角野新田町 三丁目14番2号	昭和 63. 9	鉄筋コンクリート造2 階建プール棟は鉄骨造	7,400	1,527 水面積 2,840	43-1411	〃
別子山 市民プール	別子山甲 355番地の1	昭和 57. 3	樹脂一部コンクリート造	1,430	200		別子校区 連合自治会
市営 野球場	新須賀町 三丁目2番54号	昭和 60. 7	鉄筋コンクリート造 3階建	15,269	4,448	34-0518	文化体育 振興事業団
武徳殿	徳常町4番6号	昭和 13.11	木造瓦葺平家建	2,362	584		〃
弓道場	徳常町4番15号	平成 5. 3	木造平家建	546	103		〃
重量挙 練習場	徳常町4番6号	昭和 61. 2	鉄骨造平家建	297	228		〃
文化振興 会館	徳常町4番8号	平成 5. 3	鉄筋コンクリート造 3階建	456	993	36-0800	〃
山根市民 グラウンド	角野新田町三丁目 2822番地の9			13,403			〃
別子山市民 グラウンド	別子山乙 304番地の8	昭和 57. 3		1,470			別子校区 連合自治会
市民 テニスコート	庄内町二丁目地先 及び南小松原町地先	昭和 59.10	クレーコート6面	6,600	80 コート 4,314	36-2071	文化体育 振興事業団
		昭和 57. 3	全天候型ウレタンコー ト公式4面	4,000	コート 2,885	〃	〃
		平成 24.10	クレーコート 軟・硬両用3面	2,405	コート 1,855	〃	〃
		平成 24.10	全天候型人工芝6面	6,600	4,314	〃	〃
山根公園 テニスコート	角野新田町 三丁目12番	平成 4. 3	全天候型人工芝6面 練習コート3面(壁打)	5,117	317 コート 5,117	43-2151	〃
東雲 競技場	東雲町三丁目地先	平成 5. 3	全天候型300mトラック 及び投てき場	13,000	70		〃
市営 サッカー場	観音原町乙 109番地	平成 11. 7	天然芝グラウンド2面 管理棟(鉄骨造平家建) 観覧席 東側500 西側500席	22,220	168	66-2522	〃

## 教育施設一覽表

施設名	所在地	建設年月日	構造	敷地面積(m <sup>2</sup> )	建物面積(m <sup>2</sup> )	電話	管理者
銅山の里 自然の家	立川町654番地の 3	昭和 63. 7	木造コロニアル葺 2階建外	8,950	1,446	32-1300	文化体育 振興事業団

## 文化施設一覽表

	市民文化センター	管理者	文化体育振興事業団
所在地 敷地面積	繁本町8番65号 ☎33-2180 18,337 m <sup>2</sup>		
構造	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階	鉄筋コンクリート造地下1階地上4階	
建物面積	3,713 m <sup>2</sup>	2,166 m <sup>2</sup>	
延床面積	5,064 m <sup>2</sup>	4,620 m <sup>2</sup>	
ホール	大ホール (1,163席)	中ホール (固定486席 車いす席3)	
会議室		洋室10、和室2	
教室		料理・茶華各1、視聴覚1	
プラネタリウム		プラネタリウム室 (72席)	
展示		展示室1	
その他	老人社交室	相談室、保育室	
駐車場	駐車可能台数 170台		
工事費	3億5,000万円	5億4,400万円	
完成	昭和37年11月3日	昭和49年8月9日	
改修	<p>【工期】 昭和61年12月18日 ～ 昭和62年4月25日</p> <p>【工事費】 4億500万円</p> <p>【工事概要】 せり舞台を新設 (約100 m<sup>2</sup>) 舞台天井・側面に音響反射板の新設 客席の幅を拡大 前部客席に床暖房設備を設置 防音扉の設置</p>		
名称	別子山ふるさと館	管理者	別子校区連合自治会
所在地	別子山甲345番地 ☎64-2305	完成年月日	H2. 7. 31
施内容等	<p>資料館 1階 86.64m<sup>2</sup>      2階 146.87m<sup>2</sup></p> <p>管理棟                              2階 127.17m<sup>2</sup></p> <p>展示    銅山歴史、遺跡案内、登山案内等パネル          岩石標本          銅山、物産関係</p>		

## 国 指 定 文 化 財 ( 3 )

(H28. 4. 1 現在)

種 類	名 称	所 在 地	指 定 年 月 日
建 造 物	旧広瀬家住宅	上原二丁目 10 番 52 号	平成 15 年 5 月 30 日
工 芸	剣銘国永	(個人蔵)	昭和 31 年 6 月 28 日
天然記念物	一宮神社のクスノキ群	一宮町一丁目 3 番 1 号 一宮神社	昭和 26 年 6 月 9 日

## 県 指 定 文 化 財 ( 1 3 )

(H28. 4. 1 現在)

種 類	名 称	所 在 地	指 定 年 月 日
建 造 物	経堂「大転輪蔵」	山根町 8 番 1 号 瑞応寺	昭和 45 年 3 月 27 日
彫 刻	木造薬師如来坐像	高木町 3 番 21 号 河内寺	昭和 54 年 9 月 14 日
工 芸	太刀銘国継	(個人蔵)	昭和 30 年 11 月 4 日
工 芸	太刀無銘	(個人蔵)	昭和 39 年 3 月 27 日
工 芸	銅銭承和昌宝	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和 40 年 4 月 2 日
工 芸	金銅密教法具	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和 40 年 4 月 2 日
考 古 資 料	金子山古墳出土品	西の土居町二丁目 16 番 47 号 慈眼寺	昭和 63 年 4 月 19 日
史 跡	別子銅山口屋跡	西町 6 番 2 号	昭和 24 年 9 月 17 日
名 勝	別子ライン	立川山、大永山	昭和 30 年 11 月 4 日
名 勝	広瀬公園	上原二丁目 10 番 52 号	昭和 43 年 3 月 8 日
天然記念物	瑞応寺のイチョウ	山根町 8 番 瑞応寺	昭和 31 年 11 月 3 日
天然記念物	赤石山の高山植物	赤石山系 (新居浜市、四国中央市)	昭和 32 年 12 月 14 日
天然記念物	久貢山のソテツ	多喜浜六丁目 4 番 55 号	昭和 32 年 12 月 14 日

# 市 指 定 文 化 財 ( 7 5 )

(H28. 4. 1 現在)

種 類	名 称	所 在 地	指 定 年 月 日
建 造 物	大元神社本殿	大島字宮山 大島八幡神社	昭和52年 4 月 7 日
石 造 美 術	宝篋印塔	郷四丁目 22 番	昭和52年 4 月 7 日
石 造 美 術	狛犬	東田三丁目 1229 番地 東台神社	昭和52年 4 月 7 日
絵 画	金胎両界曼荼羅	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年 6 月 3 日
絵 画	弘法大師御影像	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年 6 月 3 日
絵 画	絵馬「渡辺綱鬼女退治図」	新須賀町三丁目 4 番 5 号 堀江神社	昭和60年10月 3 日
彫 刻	釈尊誕生仏	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年 6 月 3 日
彫 刻	十二神将像	高木町 3 番 21 号 河内寺	昭和52年 4 月 7 日
彫 刻	木造聖観世音菩薩立像	萩生 2635 番地 萩生寺	昭和52年 4 月 7 日
彫 刻	随神	八雲町 10 番 16 号 宗像神社	昭和52年 4 月 7 日
彫 刻	牛王宝印	八雲町 10 番 16 号 宗像神社	昭和52年 4 月 7 日
彫 刻	蛙股	八雲町 10 番 16 号 宗像神社	昭和52年 4 月 7 日
彫 刻	仏海上人作仏像	大島 143 番地 吉祥寺	昭和53年 4 月 6 日
彫 刻	木造阿弥陀如来立像	別子山乙 551 番地 5 圓通寺	平成15年11月 4 日
彫 刻	木造大日如来坐像	別子山乙 551 番地 5 圓通寺	平成15年11月 4 日
彫 刻	木造聖観音菩薩坐像	別子山乙 551 番地 5 圓通寺	平成15年11月 4 日
工 芸	太刀銘伝三条小鍛冶宗近作	一宮町一丁目 3 番 1 号 一宮神社	昭和40年 6 月 3 日
工 芸	仏舍利塔と舍利器	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年 6 月 3 日
工 芸	鉄鉢と二十五条麻袈裟	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年 6 月 3 日
工 芸	獅子王御太刀	八幡二丁目 4 番 69 号 八幡神社	昭和52年 4 月 7 日
工 芸	孔雀文金銅磬	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和52年 4 月 7 日
古 文 書	秘法三十二箇巻	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年 6 月 3 日
古 文 書	白石家文書	北新町 10 番 1 号 別子銅山記念図書館	平成16年 8 月 5 日
古 文 書	野田家文書	北新町 10 番 1 号 別子銅山記念図書館	平成16年 8 月 5 日
考 古 資 料	銭がめと古銭	中村三丁目 7 番 1 2 号	昭和52年 4 月 7 日
考 古 資 料	古宮経塚出土「経筒」	繁本町 8 番 6 5 号 市民文化センター	昭和60年10月 3 日
考 古 資 料	正光寺山古墳群出土遺物	繁本町 8 番 6 5 号 市民文化センター	平成25年 3 月 13 日
歴 史 資 料	西条藩領地鳥瞰図屏風	坂井町二丁目 8 番 1 号 総合文化施設	昭和60年10月 3 日
歴 史 資 料	瓜生野御堂棟札	別子山瓜生野	平成15年11月 4 日
歴 史 資 料	圓通寺棟札	別子山乙 551 番地 7 圓通寺	平成15年11月 4 日
歴 史 資 料	石造地藏菩薩立像	別子山乙 551 番地 7 圓通寺	平成15年11月 4 日
無形民俗文化財	とうどおくり	大島	昭和53年 4 月 6 日
無形民俗文化財	じょうさ節	垣生	昭和53年 4 月 6 日
無形民俗文化財	かぶと踊り	船木	平成16年 8 月 5 日
史 跡	五輪塔群	西の土居町二丁目	昭和40年 6 月 3 日
史 跡	大師泉縄文遺跡	萩生 801 番地	昭和52年 4 月 7 日
史 跡	唐津塚	上原二丁目	昭和52年 4 月 7 日
史 跡	小山古墳	垣生小山	昭和52年 4 月 7 日
史 跡	桧端住居跡	船木 4638 番地の 2	昭和52年 4 月 7 日
史 跡	河内寺の塔礎石	高木町 3 番 21 号 河内寺	昭和52年 4 月 7 日
史 跡	深尾権太輔の墓	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和52年 4 月 7 日
史 跡	星原市	星原町 4 番	昭和52年 4 月 7 日
史 跡	久貢屋敷	多喜浜六丁目 4 番 55 号	昭和53年 4 月 6 日
史 跡	天野喜四郎の墓	多喜浜宇大久貢山 152 番 1	昭和53年 4 月 6 日
史 跡	つづら淵	若水町二丁目 5 番	昭和53年 4 月 6 日
史 跡	金子城跡	金子山	昭和53年 4 月 6 日

種 類	名 称	所 在 地	指定年月日
史 跡	横山古墳群	中萩町 13 番	昭和53年 4 月 6 日
史 跡	金子山古墳	金子 15 番地	昭和58年 1 月 6 日
史 跡	三義民の碑	宇高町二丁目 6 番 観音堂	昭和60年 6 月 6 日
史 跡	村上平兵衛の墓	又野二丁目 5 番 阿弥陀堂	昭和60年 6 月 6 日
史 跡	高橋弥市左衛門の墓	宇高町二丁目 6 番 観音堂	昭和60年 6 月 6 日
史 跡	高橋孫兵衛の墓	宇高町二丁目 1 番 52 号 地藏堂	昭和60年 6 月 6 日
史 跡	高橋孫兵衛屋敷跡地	宇高町二丁目	昭和60年 6 月 6 日
史 跡	金子備後守供養塔を中心とする墓	西の土居町二丁目 16 番 47 号 慈眼	昭和60年12月 5 日
史 跡	岡崎城跡	上郷郷山	昭和53年 4 月 6 日
史 跡	広瀬家墓所	山田町 217 番地の 1	平成16年 8 月 5 日
史 跡	正光寺山古墳群	坂井町二丁目 1419 番	平成25年 3 月 13 日
名 勝	銚子の滝	大生院大野山	昭和53年 4 月 6 日
名 勝	樽の滝（窓の滝）	種子川山	昭和53年 4 月 6 日
天然記念物	バクチノキの群生	大島宇宮山 大島八幡神社	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	ミョウショウジザクラ	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	法泉寺のムクノキ	垣生四丁目 9 番 12 号 法泉寺	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	大師泉のオオバタネツケバナ	萩生 801 番地	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	ヤクシマツバキ	大生院大野山谷	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	漣痕	荷内町 2 番 5 号	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	アッケシソウ	阿島二丁目 14 番 1 号	昭和59年 7 月 5 日
天然記念物	中央構造線小河谷断層	萩生 1833～2960 番地の 1	昭和60年 1 月 10 日
天然記念物	宗像神社の参道と社叢	八雲町 10 番 13 号 宗像神社	昭和60年11月 5 日
天然記念物	黒嶋神社のツバキ群生林	黒島 779 番地の 1 黒島神社	昭和60年12月 5 日
天然記念物	三島神社の社叢	船木甲 5371 番地 三島神社	昭和60年12月 5 日
天然記念物	龍河神社の社叢	立川町 496、497 番地ほか	昭和63年 5 月 12 日
天然記念物	保土野溪谷甌穴群	別子山保土野乙 475 番地 8 地先ほか	平成15年11月 4 日
天然記念物	オオモミジ	別子山乙 551 番地 13	平成15年11月 4 日
天然記念物	山城八幡神社社叢	別子山甲 130 番地	平成15年11月 4 日
天然記念物	エドヒガンザクラ	別子山乙 83 番 1	平成25年 3 月 13 日

## 登 録 有 形 文 化 財 (9)

(H28. 4. 1 現在)

種 類	名 称	所 在 地	登録年月日
建 築 物	住友化学工業愛媛工場歴史資料館	惣開町 5 番 1 号	平成13年 4 月 24 日
建 築 物	武徳殿	徳常町 4 番 6 号	平成16年 3 月 2 日
土木構造物	遠登志橋	立川町 620 番 1 地先	平成17年12月 26 日
土木構造物	旧別子鉱山鉄道端出場鉄橋（足谷川鉄橋）	立川町	平成21年 8 月 7 日
土木構造物	旧別子鉱山鉄道端出場隧道	立川町	平成21年 8 月 7 日
建 築 物	旧泉寿亭特別室棟	立川町 598 番 1	平成21年 8 月 7 日
工 作 物	山根競技場観覧席	角野新田町三丁目 2822 番 9	平成21年 8 月 7 日
工 作 物	旧山根製錬所煙突	角野新田町三丁目 2822 番 1	平成21年 8 月 7 日
建 築 物	旧端出場水力発電所	立川町 594 番	平成23年 1 月 26 日

# 広瀬歴史記念館

## 重点目標

日本の近代化産業を育成した広瀬幸平翁の功績を正しく理解し、新居浜の生い立ちと近代化の歩みを後世に伝えるとともに、未来に向かって市民の活力を育み、文化遺産の継承と生涯学習の拠点施設として活動の振興を図る。

## 重点事項

### 1 広瀬幸平と近代化遺産の顕彰と伝承

資料の収集及び整理保存

資料の調査研究と作成・補修

関係機関との協調連携

図書の充実

学者、協力者の確保

### 2 企画展、行事の開催

展示内容の充実（常設展示）

特別企画展の実施（年1回）

主催事業（研修会、講演）

### 3 市民へのPR活動

文化協会等との連携

学校や公民館等諸団体への活動

各種のPR資料作成と配布

## 施設状況

所在地	建築年月日	構造	敷地面積	建物面積	電話	館長等氏名
			(㎡)	(㎡)		
新居浜市 上原二丁目10番42号	展示館 平成9年4月	鉄筋コンクリート造 地上1階 地下1階	4,688.03	1,072.00	40-6333	特別顧問 末岡 照啓
	旧広瀬邸 明治20年頃	木造瓦葺 2階建	31,827.19	1,361.00	43-4667	館長 久葉 裕可
計			36,515.22	2,433.00		

## 平成28年度事業計画

### 1 特別企画展の開催

当館所蔵資料と、住友史料館など関連施設から借用した資料により特別企画展を開催する。また、特別企画展のテーマに合わせた記念講演会を開催する。

### 2 幸平翁セミナー（出前講座）の開催

「広瀬幸平と別子銅山の近代化」 「重要文化財旧広瀬邸を訪ねる」

※ 対象は一般市民。新居浜市ホームページ、市政だより等でPRする。

### 3 その他

年報やパンフレットを作成し、PRする。

# 図 書 館

## 基本方針

生涯学習及び地域情報拠点として、図書館機能の充実に努める。

## 重点目標

市民の多様なニーズに応えるため、新鮮な資料・情報の提供、学習機会の提供、既存図書管理体制強化、さらなる子どもの読書推進事業の展開、計画的な図書館施設の改善を図り、「市民に役に立つ図書館」づくりを進める。

## 重点事項

### 1 市民のふるさと学習及び生涯学習活動の支援、推進と機会の提供

市民の自主的、自発的な学習活動を支援するため、資料・情報提供の推進及び学習機会・場所の提供に努める。

### 2 地域資料の保存と情報発信

郷土の歴史や文化を次世代に継承するため、郷土・行政資料を積極的に収集・保存し、郷土出身者や郷土の近代化産業遺産等についての情報発信を行う。

### 3 関係機関との連携による地域の情報拠点化の推進

市民の読書活動の推進及び地域課題の解決を支援するため、公共図書館相互の連携のみならず、他の関係機関との資料や情報の相互利用等の協力活動の積極的な実施に努める。

本市子育て支援施策との連携、健康支援、ビジネス支援、就業支援、行政支援の実施、地域等関連情報の提供と調査研究を行う。

### 4 学校図書館との連携

子どもの読書活動・学習活動を推進していくため、学校や学校図書館との連携を行う。

### 5 図書館PR活動の充実

図書館の活動を市民によく知ってもらい、図書館の利用促進につなげるため、PR活動を充実する。

### 6 移動図書館の利用促進

移動図書館図書の充実に努め、利用促進を図る。

### 7 市民ボランティアの活動支援の推進

市民ボランティアへの活動支援や地域ボランティアの育成を図る。

### 8 資料の収集、除籍の計画的な実施

図書館資料の収集、除籍を迅速・計画的に行い、資料の有効活用を図る。

### 9 雑誌スポンサー制度の促進

雑誌資料の充実に努めるために、雑誌スポンサー制度の促進を図る。

### 10 施設の維持管理

安全で快適に利用できるように、計画的な図書館施設の改善を図る。

## 施設状況

施設名	所在地	建設年月日	構造	敷地面積(m <sup>2</sup> )	建物面積(m <sup>2</sup> )	電話	館長氏名
市立別子銅山記念図書館(本館)	北新町10番1号	平成4.3	鉄筋コンクリート造 陸屋根・銅板葺 地下1階付2階建	16,534	3,072	32-1911	横井邦明
角野分館	中筋町二丁目4番24号	昭和54.7	鉄筋コンクリート造 2階建	200	162	41-6217	

# 蔵書冊数

(H28. 3. 31 現在・単位：冊)

区分 分類	本 館				移動図書館		角 野 分 館			合計
	一般	児童	郷土	参考資料	一般	児童	一般	児童	参考資料	
0 総記	( 267) 8,940	( 33) 978	( 50) 1,855	( 18) 2,505	( 6) 61	( 18) 133	( 43) 474	( 10) 137	( 2) 78	( 447) 15,161
1 哲学	( 249) 9,919	( 32) 612	( 0) 160	( 1) 424	( 13) 140	( 6) 147	( 41) 294	( 13) 109	( 0) 2	( 355) 11,807
2 歴史	( 523) 17,890	( 124) 3,040	( 48) 2,569	( 16) 980	( 32) 203	( 14) 394	( 92) 757	( 27) 475	( 0) 26	( 876) 26,334
3 社会	( 693) 22,794	( 150) 2,777	( 75) 2,979	( 31) 848	( 40) 247	( 31) 189	( 74) 695	( 38) 361	( 0) 4	( 1,132) 30,894
4 自然	( 540) 13,395	( 239) 6,131	( 8) 359	( 16) 582	( 66) 391	( 51) 570	( 56) 564	( 65) 1,118	( 3) 15	( 1,044) 23,125
5 工学	( 555) 14,939	( 81) 1,704	( 22) 607	( 90) 522	( 211) 1,191	( 21) 153	( 115) 1,176	( 27) 361	( 1) 3	( 1,123) 20,656
6 産業	( 202) 4,987	( 64) 1,153	( 16) 518	( 2) 216	( 18) 132	( 21) 102	( 11) 166	( 29) 192	( 3) 4	( 366) 7,470
7 芸術	( 355) 21,267	( 117) 4,161	( 23) 544	( 2) 241	( 163) 490	( 193) 923	( 59) 749	( 84) 711	( 0) 0	( 996) 29,086
8 語学	( 67) 2,815	( 33) 756	( 0) 32	( 8) 388	( 1) 26	( 3) 104	( 5) 116	( 13) 150	( 0) 21	( 130) 4,408
9 文学	( 1,923) 72,454	( 544) 27,104	( 34) 1,061	( 5) 439	( 266) 2,204	( 143) 3,116	( 487) 7,789	( 172) 3,612	( 0) 4	( 3,574) 117,783
C紙芝居		( 40) 1,754				( 23) 255		( 12) 215		( 75) 2,224
E絵本		( 935) 29,620				( 251) 4,610		( 244) 4,335		( 1,430) 38,565
その他										
計	( 5,374) 189,400	( 2,392) 79,790	( 276) 10,684	( 189) 7,145	( 816) 5,085	( 775) 10,696	( 983) 12,780	( 734) 11,776	( 9) 157	(11,548) 327,513

(H28. 3. 31 現在・単位：点)

A V 資 料	
C T (カセットテー)	( 0) 34
V T (ビデオテープ)	( 0) 1,270
C D	( 340) 2,415
D V D	( 185) 1,334
計	( 525) 5,053

( )内は本年度受入数

# 総合文化施設・美術館（あかがねミュージアム）

総合文化施設は、新居浜の歴史、文化及び芸術を通して、市民が集い、出会い、交流する場を提供することで、文化の継承、発展、創造と次世代のひとづくりを目指して、平成 25 年 3 月建設に着工し、平成 27 年 6 月末竣工、平成 27 年 7 月 18 日にオープンし、平成 28 年 4 月 14 日に来館者が 20 万人を超えました。

施設の管理運営は、指定管理者制度を導入し、新居浜市美術館及び新居浜市総合文化施設運営グループが行っています。

## 重点目標

創る・学ぶ・育む

## 重点事項

### I 総合文化施設

- 1 新居浜の歴史、文化及び芸術に関する調査研究、資料の収集、保管及び展示並びに教育普及に関する事業
- 2 新居浜の歴史、文化及び芸術に関する情報の収集並びに提供に関する事業
- 3 新居浜の歴史、文化及び芸術の普及啓発に関する事業
- 4 音楽、演劇その他の芸術の鑑賞及び創造に関する事業
- 5 次世代を担う児童及び青少年の創造性を育むための講座等の開催、学習支援活動並びに人材育成に関する事業
- 6 総合文化施設の設置目的を達成するために必要な事業

### II 美術館

- 1 美術品等の収集、保管、展示及び教育普及に関する事業
- 2 美術品等に関する専門的、技術的な調査研究に関する事業
- 3 美術に関する情報の収集及び提供に関する事業
- 4 美術館の設置目的を達成するために必要な事業

## 施設状況

所在地	開設年月日	構造	敷地面積(m <sup>2</sup> )	建物面積(m <sup>2</sup> )	電話	館長氏名
坂井町二丁目8番1号	平成27.7	鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階	11,571.86	8,894.14	31-0305 65-3580	総合文化施設館長 関 福 生
						美術館長 山 野 英 嗣

## 施設の概要

建物構造	B 1 F	ホール（250席、ロールバック式）楽屋、スタジオ1、地下駐車場
	G L	ロビー、カフェ
	1 F	メインエントランス、太鼓台ミュージアム、総合案内、にいはまギャラリー、アート工房、シアター、スタジオ2
	2 F	美術館（展示室1、展示室2、市民ギャラリー）
	3 F	機械室
開館時間	9：30～17：	太鼓台ミュージアム、シアター、にいはまギャラリー、美術館
	9：30～21：	アート工房、スタジオ2
	9：30～22：	ホール、楽屋、スタジオ1
	9：00～22：	駐車場
休館日	月曜日（月曜日が国民の祝日に当たるときは、翌日）	
	12月29日から翌年1月3日まで	

## 平成28年度事業計画

- 新居浜の美術 昨日・今日・明日Ⅲ～光風会を中心に～ 4月29日（金・祝）～6月12日（日）
- 片岡鶴太郎還暦紅展 7月9日（土）～8月21日（日）
- 開館1周年記念イベント 7月～8月
- 虚構の劇団公演 8月中旬
- 劇団ドトオ！公演 9月上旬
- 大ペルーアンデス文明展～東洋のマチュピチュの麓にて～ 9月上旬～10月中旬
- 新居浜の美術 昨日・今日・明日Ⅳ～新居浜美術の指導者たち～ 11月中旬～12月下旬
- 秋季県展新居浜移動展 1月上旬～1月中旬
- 東予地区高校美術展 1月中旬～2月上旬
- 篠原信二展 2月上旬～3月下旬
- 愛媛こども美術展 2月中旬
- 新居浜こども美術展 2月中旬～2月下旬
- ふるさと学習展 2月中旬～2月下旬
- 豊田直之展 3月上旬～3月下旬
- あかがね教室成果発表会 3月上旬～3月下旬

# 平成27年度のあゆみ

# 教育委員会の主な施策と実績

## 1 平成 27 年度決算額

### (1) 教育費

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
教育総務費	教育委員会費	委員報酬	6,349	6,614	820,190
		委員会費	265		
	事務局費	人件費	445,645	451,324	
		事務局運営費	5,534		
		教育政策研究費	145		
	諸費	指導費	2,554	362,252	
		研究所費	2,073		
		教育振興補助金等	318		
		奨学金	91		
		教育施設防火等管理費	2,051		
		特別支援教育運営費	907		
		文化施設管理運営費	132,153		
		文化施設環境整備事業	78,160		
		学校音楽教育振興費	10		
		パソコン管理費	5,755		
		中学生海外派遣費	6,663		
		交通災害遺児就学援助費	19		
		事務用パソコン整備費	3,516		
		公共施設ごみ収集費	9,118		
		いじめ・不登校問題等対策費	16,770		
		教職員住宅管理運営費	553		
		生きた英語教育推進費	20,667		
		別子ハイツ自然学習館管理費	7,556		
		スクールソーシャルワーカー活用事業費	367		
		発達支援教育運営費	3,805		
		発達支援教育充実費	19,665		
		標準学力検査実施費	9,307		
		学力向上学習支援事業費	10,624		
		学力向上学習支援事業費（繰越分）	6,122		
		二次検診公費負担実施事業費	962		
		学校図書館支援センター充実費	17,584		
		持続可能な開発のための教育推進費	3,882		
		あいさつ運動推進事業費	1,000		
小学校費	学校管理費	小学校管理運営費	285,142	378,597	
		小学校保健費	35,498		
		小学校体育費	1,457		
		小学校施設環境整備事業	49,912		
		小学校施設環境整備事業（繰越分）	5,772		
		小学校保健充実費	816		
	教育振興費	小学校就学援助費	35,908	210,302	
		小学校理科教材備品購入費	1,606		
		小学校教育研究県指定校費	1,450		
		小学校指導図書改訂費	14,798		
		小学校教育充実費	26,423		
		小学校教育用コンピュータ整備費	39,375		
		小学校特別支援教育充実費	82,707		
		小学校持続発展教育支援事業費	2,687		

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
		いじめ・暴力から身を守る学習事業費	70	43,470	
		小学校ハートなんでも相談員設置事業費	3,080		
		小学校特別支援教育就学援助費	2,148		
		誕生学プログラム実施事業費	50		
		学校建設費	小学校大規模改造事業		
		小学校非構造部材耐震対策事業	41,688		
中学校費	学校管理費	中学校管理運営費	159,235	220,626	448,644
		中学校保健費	23,696		
		中学校体育費	11,746		
		中学校施設環境整備事業	25,949		
	教育振興費	中学校就学援助費	26,182	97,655	
		中学校理科教材備品購入費	2,240		
		中学校教育研究県指定校費	300		
		中学校教育充実費	22,258		
		中学校ハートなんでも相談員設置事業費	1,960		
		中学校教育用コンピュータ整備費	28,499		
		中学校特別支援教育充実費	13,777		
		中学校持続発展教育支援事業費	132		
		運動部活動競技力向上事業費	1,625		
	中学校特別支援教育就学援助費	682			
	学校建設費	中学校非構造部材耐震対策事業	44,733	130,363	
中学校非構造部材耐震対策事業(繰越分)		85,630			
幼稚園費	幼稚園費	人件費	47,797	154,444	154,444
		王子幼稚園管理運営費	2,380		
		神郷幼稚園管理運営費	2,052		
		幼稚園保健費	746		
		就園奨励補助費	86,168		
		私立幼稚園私学助成費	4,668		
		幼稚園特別支援教育充実費	7,978		
		幼稚園施設	2,655		
社会教育費	社会教育総務費	人件費	128,292	203,150	918,910
		社会教育振興費	2,112		
		文化教育費	3,459		
		生涯学習まちづくり推進費	30		
		文化振興基金積立金	17,600		
		文化財保護費	231		
		高齢者生きがい創造学園環境整備事業	12,985		
		高齢者生きがい創造学園管理運営費	13,005		
		生涯学習センター管理運営費	2,954		
		生涯学習センター充実費	8,551		
		社会教育充実費	7,608		
		芸術文化振興費	3,015		
		生涯学習センター施設環境整備事業	806		
		こども夢未来基金積立金	2		
	地域コミュニティ再生支援事業費	2,500			
	公民館費	公民館管理運営費	140,460	344,634	
		公民館活動費	1,434		
		公民館推進費	611		
		公民館施設環境整備事業	33,819		
地域主導型公民館推進費		11,987			

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計		
	図書館費	公民館耐震補強対策事業（繰越分）	156,323	83,516			
		図書館管理運営費	57,518				
		図書館充実費	23,283				
		図書館図書整備基金積立金	14				
		図書館施設環境整備事業	842				
		ブックスタート事業費	1,859				
	郷土美術館費	郷土美術館管理運営費	11,274	11,274			
	青少年教育費	青少年育成強化費	344	344			
	青少年センター費	青少年センター管理運営費	2,985	3,186			
		補導活動充実費	201				
	広瀬歴史記念館費	広瀬歴史記念館充実費	2,849	53,834			
		広瀬歴史記念館管理運営費	34,378				
		旧広瀬邸庭園整備事業	16,607				
	総合文化施設費	総合文化施設管理運営費	139,058	218,955			
		総合文化施設開館記念事業費	79,897				
美術品購入基金	美術品購入基金繰出金	17	17				
保健体育費	保健体育総務費	市民体育振興費	11,388	62,505	1,044,303		
		市民体育祭費	5,366				
		学校開校費	6,071				
		市民体育充実強化費	8,641				
		体育施設建設基金積立金	254				
		青少年育成スポーツ活動費	482				
		国民体育大会振興費(企画部)	1,750				
		国民体育大会開催対策費(企画部)	24,436				
		スポーツ推進審議会費	117				
		学校スポーツ活性化事業	4,000				
	保健体育施設管理費	夜間照明施設整備事業	57,434	57,434			
	体育施設費	野外活動施設整備費	1,319	421,629			
		体育施設管理運営費	261,338				
		体育施設環境整備事業	29,199				
		国体施設整備事業(企画部)	52,855				
		市民体育館耐震補強対策事業	76,918				
	学校給食費	人件費	205,200	502,735			
		給食運営費	160,864				
		高津共同調理場管理運営費	2,846				
		学校給食センター管理運営費	108,785				
		給食運営改善事業	25,040				
	教育費合計					4,018,860	

## (2) 民生費

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
児童福祉費	児童福祉総務費	放課後児童対策費	97,351	97,351	97,351

## (3) 介護保険事業特別会計 地域支援事業費

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
選択型地域支援事業費	選択型地域支援事業費	高齢者生きがい創造学園講座事業費	8,187	8,187	8,187

## 2 主な施設の建設及び環境整備事業

平成 27 年度に実施した主な事業は、次のとおり。

### 【新居浜市総合文化施設建設工事】

内 容 建設工事

事業費 4,317,750 千円

完 成 平成 27 年 6 月



### 【口屋跡記念公民館耐震補強・大規模改修工事】

内 容 耐震補強・大規模改修工事

事業費 176,769 千円

完 成 平成 27 年 7 月



### 【多喜浜公民館耐震補強・大規模改修工事】

内 容 耐震補強・大規模改修工事

事業費 84,093 千円

完 成 平成 27 年 5 月



# 社会教育課の主な施策と実績

公民館は社会教育拠点、生涯学習拠点、地域づくり拠点と様々な特性を持っているが、それぞれの地域の特徴を活かした活動を一層充実させることが公民館の存在意義を高めることにつながる。この観点から、「地域教育力向上プロジェクト事業」及び「地域コミュニティ再生支援事業」として地域の課題解決に向けた取組を行った。

学校を地域で支える「学校支援地域本部事業」に取り組み、子どもの居場所づくりのため「放課後子ども教室」を実施した。また、就労支援及びその児童の健全な育成に資するため、「放課後児童クラブ」を開設している。

## 1 地域教育力向上プロジェクト事業

地域の特色を活かし住民全体の手によって地域課題を検討・解決していくため、①個人の学習のための事業…“学ぶ”②地域での実践のための事業…“活かす”③今後の公民館・地域の方向性を決定するための事業…“創る”を三つの大きな柱として、各地域がその実情や必要性に応じて①～③のメニューを選択し実施している。

平成 27 年度は、市内 18 公民館で実施され、事業参加者数は 60,719 人となっている。

## 2 地域コミュニティ再生支援事業

地域社会における現代的課題（災害対策・地域振興・介護予防）に対し、公民館が関係諸機関等と連携・協働して問題を解決する地域独自の取組を支援し、地域コミュニティの再生を図る事業。文部科学省事業として平成 25 年度から 9 公民館に委託していたが、平成 26 年度までで打ち切りとなったため、平成 27 年度は市単独事業として 8 公民館で実施し、事業参加者数は、5,676 人であった。

## 3 学校支援地域本部事業

地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の強化を図り、各種の活動を行う学校支援地域本部を設置している。主な活動内容は、登下校支援・校内環境美化・あいさつ運動・読み聞かせである。平成 27 年度は 14 校区で実施され、ボランティアなどの延べ活動人数は、55,607 人となっている。

## 4 放課後子ども教室

放課後や週末等において、公民館や学校の余裕教室等を活用して子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供することにより、放課後等の支援活動を行うもの。主な活動内容は、地域の有識者が講師となり、そうめん流し、生け花教室、子ども囲碁教室、親子海岸清掃&釣り大会などそれぞれの教室で特色ある事業を実施している。

平成 27 年度は 9 教室で実施され、子ども延べ参加者数は 6,466 人となっている。

## 5 放課後児童クラブ

就労又は疾病のため、昼間家庭において保護者の監護を受けられない小学 1 年生から 3 年生を対象（長期休暇のみ 4 年生も受け入れ）として、生活や遊びの場を提供し健全な育成に資するため、放課後児童クラブを開設している。平成 27 年度は、市内 16 校区 24 クラブで実施し、登録児童数は 1,118 人となっている。また、民間の放課後児童クラブ 1 箇所補助を行っている。

## 6 こころのことばコンクール

こころのことばコンクール開催 10 年目にあたり、新居浜市 P T A 連合会研究大会において、最優秀者 3 名の作品発表を行った。今回の市 P 連研究大会では「E S D のつどい」として、E S D 児童生徒発表、「百

年の計、我にあり」の感想文の発表などが実施されたが、多数のPTA関係者が集う中でこころのこぼしコンクールの作品発表を行えた。

応募総数 小学生 681 作品 中学生 454 作品 合計 1,135 作品  
受賞発表式 平成 28 年 2 月 14 日 (日) 9:30~11:45  
場所 文化センター大ホール 参加者 約 400 人

## 7 別子ハイツ自然学習館の利用状況

単位：人

会 議 室			宿 泊		
H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 5	H 2 6	H 2 7
665	466	711	865	823	626

## 8 学校体育施設開放の利用状況

●開放校 小学校 17 校 中学校 10 校

●照明設備使用料（運動場 710 円、体育館 200 円、武道場 100 円）

（単位：人）

年度 学校名	運 動 場			体 育 館 等		
	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
新居浜小	7,509	7,428	5,363	11,186	10,998	10,322
宮西小	5,286	7,353	6,524	6,936	6,226	5,522
金子小	4,395	3,642	3,541	9,982	11,516	11,255
金栄小	3,541	3,131	2,501	12,011	12,778	8,073
高津小	6,308	6,525	5,614	15,299	18,206	17,778
浮島小	3,518	3,106	2,762	5,422	5,144	5,689
惣開小	3,889	4,274	4,305	7,011	7,169	7,325
若宮小	1,959	1,667	2,367	10,673	10,366	8,096
垣生小	4,739	5,017	5,251	7,560	7,106	8,895
神郷小	11,682	9,708	11,354	18,693	18,336	15,758
多喜浜小	1,644	2,660	1,753	6,695	6,656	7,163
泉川小	7,002	7,218	7,007	6,850	6,603	8,775
中萩小	10,660	11,288	9,960	21,725	22,200	23,921
船木小	7,405	5,601	6,116	14,255	14,262	11,807
大生院小	5,392	5,408	6,203	7,280	7,341	7,721
角野小	8,466	7,956	7,720	13,248	9,834	9,666
別子小・中	0	0	0	449	413	483
東中	1,735	1,780	1,549	10,829	8,867	11,237
西中	1,316	891	1,165	4,459	4,119	4,079
南中	1,722	1,291	1,014	11,223	10,153	11,364
北中	648	1,101	1,117	9,760	9,472	8,462
泉川中	0	0	0	12,843	12,960	6,209
中萩中	3,462	3,294	3,978	11,109	10,091	11,914
船木中	1,330	1,324	951	5,507	5,871	7,095
大生院中	1,103	1,419	1,355	4,012	3,814	4,012
角野中	937	625	685	10,873	9,594	9,341
川東中	2,545	2,196	1,975	11,033	9,664	9,736
計	108,193	105,903	102,130	266,923	259,759	251,698

# 新居浜公民館

## (1) 平成27年度の公民館活動の概要（重点事業）

～夢・ロマン・感動を求めて～

- 1 ボランティア活動の推進
- 2 学校・家庭・地域を結ぶ青少年育成と見守り隊の推進
- 3 生涯学習の活性化と推進
- 4 三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成
- 5 小学生・中学生の居場所づくりと交流

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ エ ク ト 推 進 事 業	女性講座	校区内女性	H27.5.27～H28.1.13	18	1	182	183
	シニアネットワーク	校区内高齢者	H27.8.8～H28.3.17	8	37	14	51
	三世代交流事業	校区住民	H27.12.12	8	95	115	210
	小学生夏休み講座	小・中学生親子	H27.8.8～H27.8.21	14	85	76	161
	防災キャンプ	小学生	H27.8.22～H27.8.23	17	93	57	150
	地域づくり推進事業	校区住民	H27.4.15～H28.3.1	19	0	61	61
	小・中学生料理教室	小・中学生	H27.4.15～H28.2.13	18	36	49	85
	新小夜市	校区住民	H27.7.18	4	500	500	1,000
	三世代交流健康ウォークラリー	校区住民	H27.6.13	3	33	27	60
	浜っこ教室	小学生	H27.7.21～H28.3.28	27	227	259	486
	地域自主防災組織の強化	校区住民	H27.7.11～H27.9.27	13	129	80	209
	地域活性化事業	校区住民	H27.6.13～H28.2.14	16	148	86	234
校区 行 事	校区文化祭	校区住民	H27.11.8	-	-	-	1,600
	校区運動会	校区住民	H27.5.17	-	-	-	800

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㊦ 防災キャンプ



8月22日～23日（1泊2日）の日程で新居浜小学校に通う4年生から6年生の児童を対象に開催した。災害が生じた時に避難所でのお手伝いの担い手となってほしいという思いで企画し、女性消防団よりAEDの使い方・三角巾を使っての応急手当、消防団より寝床作りやダンボールのトイレ作りを教わり、炊き出し体験ではビニールごはん・缶づめを使って親子丼を作った。参加した児童からは学んだことをいざという時に役立てたいという感想が寄せられた。

#### ㊦ 新居浜校区三世代交流健康ウォークラリー



三世代交流活動の一環として、新居浜校区の史跡を散策し、又、ゲーム大会では古いも若さも童心に戻り、笑い声の絶えない明るく楽しく健康的な交流事業であった。

### (4) 平成27年度事業の反省及び今後の課題

- ㊦ 地域活性化プロジェクトを立ち上げ、新居浜小学校ビオトープの環境整備とスポーツ教室を通じて健康体力づくりに努め、魅力ある地域づくりを行う
- ㊦ 地域自主防災組織の強化
- ㊦ 団塊世代の協力体制づくり

## 口屋跡記念公民館

### (1) 平成 27 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～心触れ合う、住みよい地域づくりをめざして～

- 1 豊かな心を育てる生涯学習の充実
- 2 青少年の健全育成
- 3 社会教育関係団体相互の連携・交流
- 4 人権・同和教育の推進
- 5 生涯スポーツの振興、生活文化活動の育成

### (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ エ ク ト 推 進 事 業	家庭教育講座	小学生・保護者	H27. 6. 19～H28. 3. 14	8	18	64	82
	女性講座	女性	H27. 7. 13～H28. 3. 3	14	205	388	593
	高齢者講座	高齢者	H27. 6. 10～H28. 3. 7	23.5	112	130	242
	高齢者・女性合同講座	高齢者・女性	H27. 5. 13	1.5	15	38	53
	宮西サロン	校区住民	H28. 2. 19	2	5	24	29
	生活文化講座	小学生・保護者	H27. 8. 4	8	25	55	80
	男の料理教室	校区男性	H27. 11. 27、H28. 3. 2	5.5	23	7	30
	スポーツ健康教室	校区住民	H27. 12. 13	2	15	24	39
	三世代交流講座	校区住民	H28. 1. 8	3	20	46	66
	三世代交流福祉もちつき大会	校区住民	H27. 12. 19	3.5	85	105	190
	北中校区子ども絵画展	宮西小・新居浜小・北中生徒全員	H27. 9. 26～10. 3 展示期間 H27. 10. 3 表彰式	6	165	193	358
	先進地研修	運営審議会委員及び校区住民	H27. 7. 26	2	16	5	21
	三世代で考える学ぼう防災訓練	校区住民	H27. 7. 25、H28. 1. 16	6	210	183	393
口屋あかがねプロジェクト事業	団塊世代校区住民	H27. 5. 16～H27. 11. 10	78	152	14	166	
(旧) 地域コミュニティ再生支援事業（地域振興）	小・中学生校区住民	H28. 1. 31	3	50	53	103	
校区行事	三世代交流大運動会	校区住民	H27. 5. 17	—	330	310	640
	文化祭	校区住民	H27. 11. 15	—	800	850	1,650

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㊦ 三世代交流福祉もちつき大会

毎年恒例の「三世代交流福祉もちつき大会」を12月19日に実施した。女性部がつくる赤飯に子どもたちが心をこめて書いた手紙を添えて、75歳以上の独居高齢者宅を訪問した。またもちつきと並行して老人会・たまごとダエンの積木の会の協力で思い思いの作品作りに挑戦した。この事業は核家族で育つ子どもたちには地域行事への参加を通じて三世代が触れ合える貴重な体験になっている。地域住民の連帯感や、子どもたちの健全育成及び地域の活性化のためにも継続していきたい大切な行事である。



#### ㊧ 北中校区子ども絵画展

今年で5回目となる「北中校区子ども絵画展」を10月3日に実施した。この事業は学校・PTA・地域が一体となり、児童、生徒の個性的、創造的表現活動を後押しし、旺盛な創作意欲と豊かな心の育成を目的にした事業である。宮西・新居浜小学校、北中学校生徒全員を対象として夏休みに題材自由で描いた作品を、審査した後公民館に展示（9月26日～10月3日）して、広く地域住民にも観覧してもらった。その後10月3日に表彰式、実技指導の時間を設け大勢の親子が参加した。子どもたちの表現力や感受性を養うためにも今後も大切に継続していきたい事業である。



#### ㊨ 地域コミュニティ再生支援事業（新居浜南高校ユネスコ部による出前講座）

「別子銅山を学ぼう！」と題して新居浜南高校ユネスコ部の生徒さんによる出前講座を平成28年1月31日に実施した。新居浜の歴史・地域の歴史をユネスコ部の生徒さんがわかりやすくクイズも交えて説明してくれた後、銅板の折鶴おりに挑戦した。そして最後は女性部の手作りによる豚汁をみんなで食べて終了した。今後も高校生を交えての事業展開で内容の充実を図りたい。



### (4) 27年度事業の反省及び今後の課題

- ㊦ 地域活動を担うリーダー的人材の確保。
- ㊧ 地域課題を解決し、地域の活力の向上を図る。
- ㊨ ボランティア活動等を通し、地域の福祉増進を図る。
- ㊩ 各種団体・地域住民と連携を図り、安心・安全のまちづくりの実現を目指す。

## 地域交流センター（ふれあい金子）

### (1) 平成 27 年度の地域交流センター活動の概要（重点事業）

～笑顔あふれる地域交流センター～

- 1 地域ふるさとづくりの推進
- 2 生涯学習・スポーツの推進
- 3 各種団体との連携・協力体制の強化
- 4 地域が一体となった青少年健全育成
- 5 自主防災組織の充実と意識の向上

### (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ ェ ク ト 推 進 事 業	高齢者講座	高齢者	H27.6.8～H28.3.7	24	87 (子ども141)	197	425
	家庭教育講座	小学生及び 保護者	H27.5.7～H28.1.30	14	42 (子ども378)	304	724
	三世交代	一般	H27.7.1～H28.1.7	12	37 (子ども46)	45	128
	文化教養講座	一般	H27.7.14～H28.3.20	6	46 (子ども52)	54	152
	乳幼児講座	乳幼児及び 保護者	H27.4.1～H27.12.19	30	0 (子ども56)	60	116
	まちづくり事業 （防災運動会）	一般	H27.5.17	4	94 (子ども28)	73	204
	スポーツ健康教室	一般	H27.6.19～H28.3.20	6	40 (子ども8)	35	83
宿泊合宿	小学生	H27.8.1～H27.8.2	11	23 (子ども50)	13	86	
	金子校区見守り隊会議	一般	H27.8.21	2	20	7	27
	放課後子ども教室推進事業	小学生及び 一般	H27.4.8～H28.3.23	108	34 (子ども639)	71	744
校 区 行 事	ラブ金子ふるさと夏まつり	地区住民	H27.7.19	5	1,465 (子ども1,720)	1,453	4,638
	校区文化祭	地区住民	H27.11.8	8	880 (子ども700)	900	2,480
	芸能発表会	地区住民	H27.12.5	5	46 (子ども24)	182	252

• (3) 特色ある事業紹介

㊦ 乳幼児講座



核家族が進む現代においては、子育ての悩みを一人で抱え奮闘している母親世代が少なくない。子育て中の母親が楽しみながら子供の育て方、しつけ等について学習したり、疲労・ストレス解消・癒しの場として情報交流するなど、幅広い教養が身につけられる場として開設している。

㊧ ラブ金子ふるさと夏まつり



一宮神社の宮の市を再現し、昔を懐かしむとともに地域手作りの夏まつりを開催している。

今回で24回を迎えたが、三世代がふれあい、ひとつの輪になって絆を深めるよい機会でもある。児童の司会進行で始まり、じゃんけん大会・花火大会などを行った。また、校庭のやぐらを囲んで浴衣姿の婦人やはっぴ姿の小学生が「小女郎たぬきおどり」を踊り、心に残る夏まつりが実施された。

㊨ 姉妹館交流



新居浜市金子公民館（現：地域交流センター）と埼玉県入間市立金子公民館とは、源平の合戦で功労のあった武将、金子十郎家忠に縁があり、公民館の名称も同じ金子であることから、両市の郷土史家や有志の方々の出会いから交流が始まった。

昭和60年10月17日には、新居浜市市政50周年事業の一つとして入間市から関係者を迎え、全国的にも珍しい姉妹館締結調印式が新居浜市役所で行われた。

その後、相互訪問を繰り返し、平成26年10月27日に、入間市金子公民館を訪問し文化、芸術、公民館事業の在り方など、様々なことについて話し合い交流を深めた。

▪ (4) 平成27年度事業の反省及び今後の課題

- ㊦ 地域住民主体の生涯学習の推進
- ㊧ 世代間交流事業を充実させ、地域住民の交流の輪を広げる。
- ㊨ 学校関係機関及び諸団体と連携し、青少年の健全育成を図る。
- ㊩ 自主防災組織の充実と意識の向上（住民同士の連携を深める）

# 金栄公民館

## (1) 平成 27 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域づくりの拠点として、暖かく温もりのある公民館を目指して～

- 1 学校・地域との連携を図り、地域活性化につなげる
- 2 伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る
- 3 人権・同和教育の推進
- 4 青少年の健全育成を図る
- 5 世代間交流の充実強化

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数
					男	女	
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ ェ ク ト 推 進 事 業	高齢者講座	高齢者	H27. 5. 26～H28. 3. 4	25	101	206	307
	婦人講座	婦人	H27. 5. 26～H28. 3. 4	24.5	0	185	185
	家庭教育講座	小学生を持つ親	H27. 5. 26～H28. 3. 4	10	0	126	126
	文化講座	一般	H27. 9. 28～H27. 10. 8	4	0	31	31
	三世代交流事業	児童・一般	H27. 10. 25～H28. 1. 22	—	147 (子ども196名)	269	612
	金栄盆踊り	一般	H27. 8. 14	3	180 (子ども140名)	230	550
	環境保護事業	一般	H27. 4. 1～H28. 3. 26	74	0	313	313
	ドリームツリー 「金栄ふれあい広場」	一般	H27. 12. 13	4	480 (子ども210名)	810	1,500
	金栄まちづくり事業	一般	H27. 6. 4～H28. 3. 16	21.5	260	63	323
子育て支援講座	未就園児と保護者	H27. 4. 13～H28. 3. 14	32	0 (子ども234名)	327	561	
放課後子ども教室推進事業		児童・一般	H27. 6. 6～H28. 3. 12	43	76 (子ども618名)	193	887
校区 行 事	校区運動会	一般	H27. 5. 17	6	270 (子ども180名)	250	700
	校区文化祭	一般	H27. 11. 8	—	500 (子ども300名)	650	1,500
その他	金栄ふれあいランド～わくわくキ ッズ王国・ふるさと青空マルシェ～	一般	H27. 11. 7	5	200 (子ども400名)	250	850

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㊦ 金栄まちづくり事業

金栄校区では、安全・安心のまちづくりを目指し各種団体及び小学校と連携し、様々な活動を実施している。10月に実施した「地域総合防災訓練」では、各種体験・引き渡し訓練等を通じて、地震等の災害から自分の身を守るとともに互いに助け合うことの大切さを学ぶことができた。

また、金栄小学校・校区連合自治会、金栄校区自主防災会、公民館、市防災安全課が協働で作成した「金栄校区災害弱者の命をつなぐ避難経路防災マップ」が独立行政法人科学技術研究所の主催する「第6回防災コンテストe防災マップ部門」に於いて2年連続で最優秀賞を受賞した。今後も引き続き校区全体の防災意識の向上に努めたい。



#### ㊦ 金栄ふれあいランド

～わくわくキッズ王国・ふるさと青空マルシェ～

子どもから大人まで校区住民が楽しめる催し及びマルシェを開催した。華々しいオープニングセレモニーも実施し、笑顔溢れる一日となった。



#### ㊦ 伝統芸能の伝承

～金栄トンカカさん踊り～

「金栄トンカカさん踊り保存会」と連携し、様々な行事へ参加している。毎年、金栄小学校3年生児童への指導も実施しており、校区運動会や小学校運動会等で披露している。

踊り連は20名となり今後益々の活躍が期待されている。



### (4) 平成27年度事業の反省及び今後の課題

- ㊦ 地域住民のニーズに合わせた事業及び講座の実施
- ㊦ 地域活動におけるリーダー的人材の確保
- ㊦ 見守り隊の拡大と支援の充実
- ㊦ 自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上
- ㊦ 郷土芸能の伝承と継承

# 高津公民館

## (1) 平成27年度の公民館活動の概要（重点事業）

～住民が主体的に携わる公民館を目指して～

- 1 自治能力の向上と安全な地域づくりに努める
- 2 住民が自ら考え行動する生涯学習の推進とまちづくり構想の策定
- 3 学校、家庭、地域が一体となった青少年の健全育成
- 4 地域の連帯を図る三世代交流とふれあい活動の充実
- 5 人権・同和教育の推進

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育 力向上 プロジェクト 推進事業	高齢者講座	高齢者	H27.5.20～H28.2.17	25	204	228	432
	女性セミナー	女性	H27.6.4～H28.2.4	25	16	226	242
	健康講座	一般	H27.10.25	8	64	79	143
	スポーツ健康教室	一般	H27.6.4～H27.9.6	7	52	40	92
	健康ウォーキング	一般	H27.10.10	9	18	27	45
	れんげ祭り	一般	H27.4.18	2	500	500	1,000
	たかつ納涼夏祭り	一般	H27.7.19	6	650	850	1,500
	たかつ史跡めぐり	一般	H27.12.1	2.5	14	3	17
	文化部発表会	一般	H27.11.28	3	90	272	362
	きつずセミナー	子ども・一般	H27.7.18～H28.3.5	21.5	55	133	188
	たかつ花あふれるまちづくり	一般	H27.4.2～H28.3.12	63	100	171	271
	たかつ防災事業	子ども・児童・一般	H27.7.19	1.5	126	135	261
	青少年健全育成講演会	青少年を 持つ親	H27.9.8	2.5	33	45	78
放課後子ども教室推進事業	児童・一般	H27.5.30～H28.3.19	82	600	717	1,317	
公民館GP（高津まちづくり構想策定委員会）	一般	H27.4.23～H27.12.9	21	168	97	265	
公民館GP（高津まちづくり構想実行推進会議）	一般	H27.12.3～H28.2.3	3	30	11	41	
校区行事	校区文化祭	一般	H27.11.8	6	2,126	2,476	4,602
その他	学校支援事業	子ども・一般	H27.4.17～H28.3.4	11	1,342	1,342	2,684

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㊦ 高津まちづくり構想の策定・高津まちづくり実行推進会議・実行委員会



現在高津校区では各種団体の後継者不足・自治会加入率の低下・南海トラフ巨大地震に備えたまちづくり・将来の人口減少等多くの課題解決のため青年リーダーの育成、高津まちづくり構想の策定、まちづくり実行計画に取り組み、計画から4年目、4部門の実行委員会ができ、実行段階の入り口に來ました。

#### ㊧ 迷路・防災学習と三世代交流納涼夏祭り



7月19日1,500人が参加し、たかつ納涼夏祭りを盛大に開催しました。小学校PTAによるビンゴゲーム、愛護班による防災学習、社協高津支部他8団体による迷路(約160㎡)、高校生ボランティアサークルMay等、10団体の模擬店、郷土の沢津音頭等で三世代の盆踊りの輪が広がり、地域の交流が図られました。

### (4) 平成27年度事業の反省及び今後の課題

南海地震から70年目、熊本地震により南海トラフ巨大地震、中央構造線活断層での発生確率が大きくなっている感があり、ハード(避難・復旧用の幹線道路の確保)・ソフト両面で更に避難計画・訓練に取り組む必要がある。

# 浮島公民館

## (1) 平成27年度の公民館活動の概要（重点事業）

～明るく元気な浮島校区の構築～

- 1 青少年の健全育成を地域の課題として取り組む
- 2 高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進
- 3 「安全・安心」の地域の拠点としてのレベルアップ

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ エ ク ト 推 進 事 業	家庭教育講座	校区住民	H27.5.9～H27.11.19	21	251	447	698
	婦人講座	校区婦人	H27.6.17～H28.3.17	14	1	82	83
	総合講座	校区住民	H27.10.2～H27.12.21	10	153	209	362
	高齢者講座	校区住民	H27.7.10～H28.3.23	13	32	116	148
	伝統を伝える講座	校区住民	H27.10.20～H28.1.7	58	186	146	332
	料理教室	校区住民	H27.4.24～H28.3.18	27	200	38	238
	軽スポーツ教室	校区住民	H27.7.13～H27.11.29	8	53	41	94
	子ども教室	校区児童	H27.4.22～H28.1.5	6	70	59	129
	明るく元気の出る 標語看板作り	校区住民	H27.5.27～H27.6.23	13	27	9	36
	双子クラブ	市内在住双子 及び保護者	H27.4.13～H28.3.14	22	27	82	109
	幼児・児童の 健全育成講座	校区住民	H27.4.9～H28.3.25	8	139	106	245
防災に関する講座	校区住民	H27.10.4	8	11	8	19	
公民館 G P (防災)	校区住民	H27.8.22～H27.12.12	15.5	171	150	321	
校区 行 事	校区文化祭	校区住民	H27.10.25	-	379	511	890
	小学校合同運動会	浮島小学校・ 校区住民	H27.5.17	-	400	285	685
	芸能発表会	校区住民	H27.11.21	-	47	59	106
その他	まもるくんパトロール	校区住民	H27.4.1～H28.3.31	-	-	-	1,600

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㊦ 春季大運動会

浮島校区運動会は、住民の高齢化と浮島小学校児童の減少により参加者が年々減少したことから公民館が中心となり関係者の協議の結果、平成18年度から浮島校区連合自治会・浮島小学校合同による春季大運動会を実施している。当初9月に実施していたが、児童の健康を考慮して平成26年度から5月に変更した。地域住民の参加種目を毎年度見直しながら、例年600～700名程度の参加を得て盛大な運動会となっている。特に昨年青年団による対抗リレーは盛り上がった。



#### ㊧ まもるくんパトロール隊

浮島校区では、大阪の池田小学校の事件をきっかけに、平成17年1月「まもるくんパトロール隊」を組織し、以来、児童の登下校の安心安全を目的に日々活動している。

下校時間が学年により異なるため、同じ道を何度も往復するなど隊員の負担もかかっているが、「できるだけ児童を一人にしない」を合い言葉に雨にも負けず今日も頑張っている。



### (4) 平成27年度事業の反省及び今後の課題

- ㊦ 地域の主体性を尊重した生涯学習の推進を図る。
- ㊧ 多くの地域住民が公民館活動に参加できるよう工夫し、地域の活性化に繋げる。
- ㊨ 子ども達を地域で守り育てる意識と環境の向上を図る。
- ㊩ 公民館活動の担い手となる人材の確保と育成を図る。

# 惣開公民館

## (1) 平成27年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域と共に歩む公民館づくりを目指して～

- 1 事業の企画・運営への住民の参画促進と人材の育成・発掘を図る
- 2 地域資源を活かしたまちづくり
- 3 地域住民に親しまれる公民館づくり

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育 力向上 プロ ジェ クト 推 進 事 業	シニア教室	高齢者	H27. 6. 4～H28. 1. 20	13	38	58	96
	遊 y o u 講座	婦人・一般	H27. 4. 28～H28. 2. 1	48	30 (子ども18)	170	218
	乳幼児学級	乳幼児を持つ親	H27. 5. 21～H28. 2. 5	5. 5	24 (子ども59)	194	277
	生活文化講座	一般	H27. 5. 25～H28. 2. 22	13	2 (子ども46)	114	162
	三世代交流事業	校区住民	H28. 1. 15～H28. 2. 6	7	51 (子ども166)	89	306
	まちづくり事業	校区住民	H27. 7. 25～H28. 1. 8	22	1,011 (子ども1407)	1,132	3,550
	プリンス & プリンセス事業	一般	H27. 7. 24～H27. 8. 27	34	14 (子ども419)	72	505
校区行事	校区文化祭	校区住民	H27. 10. 25	6	300 (子ども500)	400	1,200

### (3) 特色ある事業紹介

㊦ 地域の財産を活かしたまちづくり事業  
惣開校区には別子銅山の近代化産業遺産が多く残り、それらを生かしたまちづくり事業を行った。

平成 27 年 9 月 26 日（土）「今宵はそうびらき&未来への鉦脈&観月会」を開催した。未来への鉦脈は、「そうびらき」をPRできるように、新居浜南高等学校ユネスコ部に協力してもらい、地元企業と地域・学校と連携で企画構成し、巨大スクリーンで歴史遺産のスライドショーを実施した。

観月会は、自治会が中心となり地域一丸となって、1,000食の「芋炊き」を作った。地域の住民が一つの輪になり心に残る事業を行った。



㊧ 卒業記念もちつき大会（平成 28 年 2 月 6 日（土））  
小学校 6 年生の卒業を記念して、毎年恒例で開催している。

PTAや社会福祉協議会、自治会、地域の高齢者などがボランティアで参加し、小学校時代のよき思い出を作るとともに、古き良き日本の伝統文化にふれられて、三世代交流が図られた。

地域の方の手作り赤飯に、6年生の手紙が添えて校区内の独居高齢者に配られた。



### (4) 平成27年度事業の反省及び今後の課題

- ㊦ 世代間の交流のある講座の推進
- ㊧ 魅力があり、誰もが気軽に参加できる講座の開設
- ㊨ 地域住民に対する生涯学習への認識と啓発（特に青年層）による新規参加者の増加

# 若宮公民館

## (1) 平成27年度の公民館活動の概要（重点事業）

～家庭・学校・地域の連携を図り、安全・安心で住みよい若宮校区づくりを目指す～

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域 教育 力向 上 プ ロ ジ ェ ク ト 推 進 事 業	環境にやさしい まちづくり	校区住民	H27.5.15～H27.9.28	10	76	109	185
	安心・安全なまちづくり	校区内住民	H27.4.30～H27.12.4	5.5	88	109	197
	子どもが主役の まちづくり	小学生・保護者	H27.4.20～H28.3.28	34	155	241	396
	高齢者が安心して 暮らせるまちづくり	高齢者	H27.4.14～H28.3.24	38	89	362	451
	スポーツと健康	校区住民	H27.8.22～H28.2.21	12.5	54	99	153
	地域の伝統・歴史の伝承	校区住民	H27.4.22～H28.3.14	51.5	447	634	1,081
	趣味と教養	校区住民	H27.5.25～H28.2.26	22	31	166	197
	先進地研修	校区住民	H27.11.22	9	15	9	24
放課後子ども教室推進事業		児童・一般	H27.5.13～H28.3.23	57	144	208	352
校区行事	校区文化祭	校区住民	H27.11.8	5.5	500	520	1,020

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㊦ 防災・避難訓練

若宮校区は海拔が低く、高齢化率の高い地域である。そのため、校区連合自治会との連携を密にした地域が一体となった防災訓練が喫緊の課題と考え実施している。昨年度は、「避難してから三日分の飲料水・非常食の確保」という自主防災意識に基づき、全家庭に5ℓの給水袋を配布した。

校区防災訓練の当日には、市の給水車の出動を要請し、実際に給水袋を活用し、給水の仕方を学んだ。市の担当者からも、「給水車の供給と需要が整合していない。市民の方々が水を確保できるまでには時間を要するため、三日分の飲料水は各家庭で確保するように。」との指導があった。防災グッズの点検等、個々の反省材料にもなり有意義な訓練であった。その後、体育館で地域防災部長、防災士が中心となってビデオによる防災意識の高揚と新聞紙を活用したスリッパの製作、非常食の試食を行い、訓練の重要性を理解するとともに、冷静且つ的確に判断する意識の共有ができた。



#### ㊧ 子どもの居場所づくり推進事業

- ① □読み聞かせや昔の遊び、竹とんぼ作りなど学校への出前授業
- ② 毎週水曜日実施の放課後子ども教室
- ③ 新田診療所との共催で月1回実施する三世代交流事業

中でも三世代交流事業では、ちぎり絵・流しそうめん・クリスマス会・年賀状作り・思い出巻きなど、地域ボランティアの方々と共に、学校では体験できない活動に取り組んでいる。



わかっ子子ども教室（ネイチャーゲーム）



三世代交流事業（年賀状作り）

### (4) 平成27年度事業の反省及び今後の課題

- ㊦ 公民館活動への住民の参画を推進するため広報活動の方法や、地域の活性化につなげる講座の企画・運営に努める。
- ㊧ 家庭・学校・地域の連携を一層深めて、連合自治会・社協・老人会など校区内の各団体との共催事業を推進する。

# 垣生公民館

## (1) 平成27年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域と共に歩む公民館～

- 1 地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり
- 2 自ら学ぶ生涯学習の推進
- 3 各種団体・機関との連携強化
- 4 生活文化活動の振興
- 5 安全で住みたい垣生づくり

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数			延べ参加者数
					男	女	子ども	
地域教育 力向上 プロジェク ト推進 事業	家庭教育講座 （家庭教育コース）	小学生及び その保護者	H27.7.7～H28.2.20	12	2	51	61	114
	婦人講座 （婦人コース）	婦人	H27.5.18～H28.3.22	22.5	152	414	85	651
	高齢者講座 （高齢者コース）	高齢者	H27.6.8～H27.9.17	6.5	27	57		84
	ふるさと文化講座 （文化コース）	小学3～6年生 及び一般	H27.9.9～H27.12.23	5.5	21	15	239	275
	成人講座	成人男女	H27.8.18～H27.11.10	15	50	46		96
	スポーツ健康教室	校区住民	H27.6.8～H28.2.12	8	105	52	5	162
	子育て支援	校区住民	H27.5.15～H28.3.8	8	10	73	80	163
	イルミネーション ファンタジー	校区住民	H27.12.23	5	200	200	100	500
	垣生キッズ共和国	校区住民	H27.12.23	2	100	100	100	300
	垣生山遊歩道整備	校区住民	H27.6.7～H27.10.4	5	145	63	53	261
納涼祭	納涼祭	校区住民	H27.8.8	2.5	213	212	217	642
	垣生探検隊	校区住民	H28.3.13	4	50	37	53	140
	垣生環境美化事業	校区住民	H27.4.9～H28.3.10	15	1	106		107
公民館GP（自主防災訓練）		校区住民	H27.9.29～H27.10.6	16	83	55	337	475
校区行事	校区芸能祭	校区住民	H27.11.1	2	45	65	15	125
	校区文化祭	校区住民	H27.11.8	4	600	500	300	1,400
	校区運動会	校区住民	H27.5.17	6	750	640	210	1,600

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㊦ 垣生キッズ探検隊

幼稚園児から高齢者の総勢約140人がウォークラリーをしました。垣生校区各種団体の皆さんによる、安全対策やゲームの立ち合い等の協力を得、地図を片手に約3時間のコースをゲームをしながら歩きました。年齢の壁を越えた大声コンテスト等新しい趣向を交え、参加者も協力者も全員が楽しめました。



#### ㊧ イルミネーションファンタジー

毎年12月23日にイルミネーション点灯式を行っています。新居浜高专から講師を招き火山実験やバルーンアート等を子供達は日暮れまで体験しました。垣生小学校合唱団によるコーラスと共に来場者に芋炊きを振る舞いました。イルミネーションは垣生山にも飾られ夜空を彩ります。両方とも翌年1月初旬まで楽しんでいただけます。垣生小学校6年生によるボランティア15名がポスター作りから携わってくれ例年以上に活気があふれていました。



### (4) 平成27年度事業の反省及び今後の課題

- ㊦ 公民館運営方針の実現に向け、新しい講座を展開する。
- ㊧ より一層の地域主導を目指し、運営審議会の充実を図る。
- ㊨ 地域・学校・家庭がより連携し、青少年健全育成と子育て支援に取り組む。

# 神郷公民館

## (1) 平成 27 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安心・安全で住みよいまちづくりを目指す～

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1 青少年の健全育成           | 5 お茶の間懇談会の拡充・強化    |
| 2 地域の安全と安心の推進        | 6 自主防災組織作りの拡充・強化   |
| 3 地域福祉の拡充            | 7 地域の環境美化の推進       |
| 4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援 | 8 スポーツの推進と健康づくりの推進 |

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育 力向上 プロ ジェ クト 推 進 事 業	婦人講座	婦人	H27.4.6～H28.1.18	19	0	58	58
	（高齢者大学） 老人大学	高齢者	H27.5.28～H27.12.8	30.5	186	174	360
	乳幼児期家庭づくり教室	乳幼児をもつ親	H27.6.6～H28.2.10	30.5	201 (子ども640)	448	1,289
	三世代交流事業	一般・子ども	H27.6.13～H28.1.17	21.5	225 (子ども353)	354	932
	観月会	一般	H27.9.11	3	100	120	220
	神郷まちづくり事業	一般・子ども	H27.4.1～H28.3.1	145	573 (子ども401)	579	1,553
	わくわく小学生	一般・子ども	H27.6.23～H28.3.6	43.5	45 (子ども320)	204	569
	ママ友講座	婦人・子ども	H27.6.10～H28.2.29	18	0 (子ども47)	73	120
校 区 行 事	校区運動会	一般	H27.5.10	6.5	550 (子ども150)	450	1,150
	校区文化祭	一般	H27.11.8	6	1,450 (子ども250)	1,700	3,400

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㊦ まちづくりの事業

校区の各種団体役員が、安全安心、環境美化、健全育成の3部会に別かれ、よりよいまちづくりを目指して熟議を重ね、その内容を活かして各世代が協力して様々な事業に取り組んでいる。特に三世交代流の場作り、その活用による地域連携を目的に神郷校区住民のシンボルとして親しまれてきた「忠魂碑」がある広場の整備・緑化に力を入れている。



三世交代流忠魂碑ネーチャーゲーム



工業高校生と共に忠魂碑整備作業

#### ㊧ 観月会

新居浜の郷土食といわれる“いも炊き”で季節を味わいながら地域の親睦を計る。



#### ㊨ 防災訓練

「自分たちの地域は自分たちで守る」ため自主防災組織を整備し、災害に備えた様々な訓練を実施する。



### (4) 平成 27 年度事業の反省及び今後の課題

- ㊦ どの事業もみんなで計画し、より多くの校区住民の参加を目指す。
- ㊧ 各自治会、諸団体の自治能力の育成強化を図り、地域発展につなげる。
- ㊨ 学校・公民館・地域の連携を一層深め、青少年の健全育成に取り組む。
- ㊩ 神郷史情をより多くの校区住民に知っていただき、保存・伝承していきたい。
- ㊪ 神郷まちづくり委員会にて校区の問題点を浮き彫りにし、熟議を重ね問題解決に向け、知恵を出し合い取り組む。

# 多喜浜公民館

## (1) 平成 27 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～

- 1 潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進
- 2 世代間の交流、人材の発掘
- 3 学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成
- 4 郷土の伝統文化の継承と郷土意識の向上
- 5 人権・同和教育の推進

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	スクール多喜浜	一般	H27. 6. 13～H28. 3. 12	33	194	278	472
	高齢者大学	高齢者	H27. 6. 26～H28. 2. 19	28	112	223	335
	三世代交流事業	一般・児童	H27. 6. 17～H28. 2. 7	15	91	85	176
	だいすき多喜浜夏祭り	一般	H27. 7. 11	13.5	240	288	528
	塩田文化バンク	一般	H27. 4. 13～H28. 12. 14	39	99	383	482
	環境講座	一般	H27. 6. 14～H28. 2. 23	13	49	38	87
	まちづくり講座	一般・児童	H27. 8. 20～H28. 2. 17	21	70	62	132
放課後子ども教室推進事業		児童・一般	H27. 5. 27～H28. 2. 24	67	187	334	521
校区行事	校区運動会	校区住民	H27. 5. 17	8	300	300	600
	校区文化祭	校区住民	H27. 11. 3	8	550	550	1,100
	演芸大会	校区住民	H27. 10. 31	5	100	150	250

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㊦ 塩田文化バンク

別子銅山とほぼ同時期に生まれた塩田は、新居浜の発展を支え昭和40年代まで多喜浜の住民とともにあった。廃田以降、人々の記憶から忘れ去られつつある多喜浜塩田を後世に継承していこうという声が地域から高まり、住民が主導してその伝承活動に努めている。「ソルティ多喜浜」を活用した「塩の学習館」での塩づくり体験学習、多喜浜塩田学習、塩田遺跡めぐりなど継続的に取り組んでいる。運動会や郷土芸能発表会では、多喜浜小学校児童による「ソルティちゃん音頭」「塩田讃歌」も継承している。また、塩田で培われた相互扶助、連携協力の精神的基盤である“かしよい”文化と共に、今では使われなくなった“かしよい”の言葉も受け継いでいくために啓発活動も始めている。



#### ㊦ 少年の日を祝う会

校区内で「少年の日」を迎える中学2年生を招待し、地域を挙げて祝う「少年の日を祝う会」を毎年開催している。中学生は体育館にて和太鼓の鑑賞をした後、それぞれ手ほどきを受け和太鼓演奏も体験した。式では、保護者、地域住民出席のもと中学生たちが多喜浜に対する郷土愛と地域への感謝の気持ちあふれる素晴らしい発表を行い、とても良い三世代交流の場となった。



### (4) 平成27年度事業の反省及び今後の課題

#### ㊦ 塩田文化の保存伝承

#### ㊦ 伝統行事を通して様々な世代交流を行う

# 大島交流センター

## (1) 平成 27 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域に親しまれるセンターづくり～

- 1 高齢者にやさしい福祉の推進事業
- 2 豊かな心で育てようふれあい交流
- 3 歴史と自然を守り伝統文化の伝承

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ ェ ク ト 推 進 事 業	教 養 講 座	一 般	H27. 5. 17～H28. 2. 15	52. 5	37	87	124
	高 齢 者 講 座	一 般	H27. 6. 26～H28. 2. 15	23	5	50	55
	と う ど 祭 り	児 童 ・ 青 少 年 ・ 一 般	H27. 8. 11～H28. 2. 25	54. 5	303	214	517
	ふ れ あ い 交 流	児 童 ・ 一 般	H27. 8. 1～H27. 8. 2	16	73	83	156
	防 災 教 室	一 般	H27. 10. 30～H27. 11. 11	11. 5	12	38	50
校 区 行 事	文 化 祭	児 童 ・ 青 少 年 ・ 一 般	H27. 11. 8	5	36	53	89

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㊦ 異年齢体験交流キャンプ

小学生・中学生・大学生及び社会人が集い、社会性や自立心の醸成など、感性豊かで好奇心旺盛な子どもも本来の特性を見直すとともに青少年健全育成を目的として実施した。



紙飛行機コンテスト



感想発表

#### ㊧ とうど祭り

伝統文化の保存と継承を目的とし、地域住民が親睦を深めながら、島外の人達との交流を図る。



念仏踊りの練習



とうど祭り準備

#### ㊨ 防災教室

災害時における対策を防災運動会を通し、地域住民みんなで学ぶ。



バケツリレー



消火訓練

### (4) 平成27年度事業の反省及び今後の課題

- ㊦ 少子高齢化が進む中、伝統文化の保存と継承の対策
- ㊧ 島民の「買物難」解消と健康維持に役立つ事業の推進
- ㊨ 非常時に備え、楽しく防災知識の習得ができる講座の実施

# 泉川公民館

## (1) 平成 27 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～

- 1 再発見事業
- 2 住民が総参加の事業展開
- 3 まちづくりの醸成

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育 力向上 プロ ジェ クト 推 進 事 業	ふるさと塾	一般	H27. 5. 22～H28. 2. 22	22	190	85	275
	なんでも楽習会	一般	H27. 7. 28～H27. 12. 11	24	83	82	165
	星原市 2015	子ども・一般	H27. 8. 23	5	650	400	1,050
	シニアネット	高齢者	H27. 7. 6～H28. 3. 22	3.5	28	5	33
	泉川感謝祭	一般	H27. 9. 19	3	120	136	256
	「防災」の時、どうする？	子ども・一般	H27. 7. 12	1	12	9	21
	環境講座	一般	H27. 9. 2～H28. 2. 4	6	40	22	62
	伝統行事を伝える	子ども・一般	H27. 12. 9～H28. 1. 10	3.5	290	276	566
放課後子ども教室推進事業		児童・一般	H27. 4. 18～H28. 3. 19	111	457	447	904
公民館GP（介護予防に関するサテライト事業など）		一般	H27. 4. 7～H28. 3. 25	157	626	633	1,259
校 区 行 事	校区運動会	子ども・一般	H27. 5. 17	6	1,050	800	1,850
	公民館まつり	子ども・一般	H27. 11. 6	6	1,000	1,000	2,000
そ の 他	学校支援事業	子ども・一般	H27. 4. 4～H28. 3. 13	253日	4,900	3,020	7,920

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㊦ 星原市 2015

青少年の健全育成とまちづくりの一環として、毎年実施している。実行委員会を立ち上げ、各種団体と前年度の反省を踏まえながら、よりよいものにするべく話し合いを行う。

小学生の相撲大会やゲーム、ショータイム、模擬店等にぎわい、終わりには餅なげもあり、子どもから高齢者まで楽しめる夏まつりとなっている。



#### ㊧ エクササイズウォーキング(公民館GP)

公民館主催で慶應義塾大学と協働して行った事業で、活動量計をつけ毎日 8,000 歩を目標にウォーキングに取り組んだ。ウォーキングの前は専門家の指導があり、単に歩けばいいのではなく、靴紐の結び方、歩く姿勢や視線の大切さなどを学び、通常の歩行よりも運動を意識しながら歩くことを目的とする。各ブロック毎の「防災マップ」「おさんぼマップ」をもとに、毎月違うコースを歩く。毎月 15 日(変更あり)には、公民館に来てみんなで楽しくウォーキングに出かけましょう！



### (4) 平成27年度事業の反省及び今後の課題

- ㊦ 新規人材の確保、育成
- ㊨ 地域ぐるみで子どもや青少年の健全育成を図る
- ㊩ 地域福祉を推進する関係機関や団体と連携を強化する

## 中萩公民館

### (1) 平成 27 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す～

「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町 日本一の中萩」

- 1 生涯学習・生涯スポーツ活動の推進
- 2 青少年健全育成の推進
- 3 社会福祉活動の推進
- 4 人権・同和教育の推進
- 5 安心・安全な地域づくりの推進

### (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ 参加者数
					男	女	
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ ェ ク ト 推 進 事 業	中萩セミナー	校区住民	H27.5.12～H27.3.10	22	30	206	236
	高齢者セミナー	高齢者	H27.6.8～H27.2.8	16	172 (子ども 92)	234	498
	健康セミナー	校区住民	H27.6.16～H28.3.8	18	71 (子ども 31)	97	199
	子どもスポレク祭	校区住民	H27.11.28	3	15 (子ども 82)	20	117
	中萩三世代交流事業	校区住民	H27.12.26～H28.3.5	15	66 (子ども251)	66	383
	十河信二を 知り学ぶ活動	校区住民	H27.8.29～H28.2.6	8	126 (子ども 5)	46	177
	環境改善事業	校区住民	H27.4.14～H28.3.22	16	18 (子ども148)	39	205
	まちづくり推進事業	校区住民	H27.7.13～H27.11.9	2	32	10	42
放課後子ども教室推進事業		校区住民	H27.4～H28.3	51	53 (子ども702)	81	836
校区 行 事	校区運動会	校区住民	H27.5.17	7	1,600 (子ども500)	1,000	3,100
	校区文化祭	校区住民	H27.11.15	8	2,400 (子ども1,100)	2,500	6,000
	三世代交流演芸大会	校区住民	H27.9.26	4	298 (子ども107)	431	836
	校区防災訓練	校区住民	H27.9.27	3	210 (子ども 40)	190	440

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㊦ 中萩三世代交流事業

3回目となる「中萩校区三世代交流事業 ～昔の遊び やっちゃお～」を開催しました。紙飛行機づくりや折り紙、お手玉やおはじき、竹馬やけん玉など、昔懐かしい遊びを校区の人たちと一緒に体験しました。人形劇では「お友達と仲良くしよう」というテーマのお話を鑑賞し、また、三味線体験では初めて触れる音色に感動していました。



人形劇鑑賞



三味線体験

#### ㊧ 環境改善事業

校区の中心を流れる東川の整備や、えひめA I - 2を作成・配布することにより生活排水をきれいにする活動を行っています。今年度は、小学生も参加し、東川の土砂撤去などを行いました。この活動を通して、より多くの方に自然環境保護に興味を持ってもらえればと思っています。



### (4) 平成27年度事業の反省及び今後の課題

- ㊦ 公民館の各種事業が、各種団体の積極的な支援と協力により有効に実施することができた。
- ㊧ はぎっ子の健全育成について、地域の各種団体との連携を取りながら、なお一層の充実を図りたい。
- ㊨ 地域の人々のニーズや実態を把握し、地域力の向上を図り、より多くの人々の参加を目指して、魅力ある事業を展開する
- ㊩ 開かれた公民館として、地域の人々の誰もが活動し、また誰もがつながっている公民館にしていくことを目指す。

# 船木公民館

## (1) 平成 27 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～

- 1 学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成
- 2 心豊かな福祉のまちづくりの推進
- 3 一人ひとりの学ぶ心を大切にする生涯学習の推進
- 4 人権・同和学習の推進
- 5 地域に根ざした親しまれる公民館づくり

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	人権講座	地域住民	H27.10.20	2	20	6	26
	健康講座	地域住民	H27.4.1～H28.3.31	11.5	19	37	56
	環境講座	地域住民	H27.4.1～H28.3.31	12	97	82	179
	伝統文化講座	地域住民	H27.4.1～H28.3.31	26.5	561	878	1,439
	子ども講座	地域住民	H27.4.1～H28.3.31	16	93	162	255
	趣味講座	地域住民	H27.4.1～H28.3.31	15	1	74	75
	池田池ラジオ体操とお池をかこむ会	地域住民	H27.8.2	3	230	270	500
	池田池をわたる風とマンドリン	地域住民	H27.7.18	3	320	450	770
	地域づくり講座	地域住民	H27.4.1～H28.3.31	11	3,116	3,331	6,447
	H A P P Y クッキング講座	地域住民	H27.4.1～H28.3.31	18	51	48	99
	ふるさと探訪講座	地域住民	H27.4.1～H28.3.31	32.5	72	131	203
公民館 G P（防災）	地域住民	H27.4.1～H28.3.31	3	219	102	321	
校区行事	校区住民大運動会	地域住民	H27.5.17	6	500	490	990
	池田池菖蒲まつり	一般	H27.6.7	4	1,180	1,620	2,800
	校区夏まつり	地域住民	H27.8.15	4	1,900	1,700	3,600
	長寿大運動会	高齢者	H27.10.25	6	259	206	465
	校区文化祭	地域住民	H27.11.8	7	1,640	1,360	3,000
	公民館大掃除	地域住民	H27.12.20	2.5	98	152	250
	校区成人式	成人者等	H28.1.3	4	30	40	70
	校区マラソン駅伝大会	小・中学生	H28.2.6	4	180	180	360
	校区徒歩探訪会	地域住民	H28.2.14	4	60	85	145

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㊦ 池田池をわたる風とマンドリン

7月18日(土)18時から約3時間にわたって開催された。今年も昨年度に引き続きお天気に恵まれ賑わった。船木小金管バンドは総勢52人の児童が楽しく演奏し、船木中音楽部は揃いのTシャツがとてもキュートで目も耳も楽しませてくれた。我が子や孫の演奏を楽しみに父兄やおじいちゃん、おばあちゃんが多数来場して頂きよかった。また初出場のフラをはじめ、大正琴、和太鼓、よさこいがそれぞれ演目を披露し会場が盛り上がった。

メインイベントは、新居浜マンドリンクラブの演奏である。楽しくもはかなげな独特の音色の演奏に聴き入り会場が酔いしれた。

外の会場では青少年健全育成部によるバザーが開設され、うどんやかき氷、フランクフルト等で来場者のお腹を満足させた。また、フリーマーケットの出店もあり様々な世代が楽しめる行事になった。



#### ㊧ 船木校区とうど祭り



1月17日(日)8時半から、お正月の火祭りを船木校区自慢の池田池で実施した。池田池公園南広場に会場を設置し、船木神社の宮司さんによる神事後、各家庭から持ち寄った正月飾りやしめ縄等を納めた竹組みの笹に今年の年男年女が火を入れ、今年一年間の無病息災・五穀豊穰を祈願した。火はまたたく間に空に向かって燃え上がり、青竹のはぜる音がポンポンと鳴り響く中、威勢よくしめ縄等を燃やしつくした。

その後は連自治会女性部により、美味しい手作りぜんざいが振る舞われ、約150人の来場者は身も心も温まった。



### (4) 平成27年度事業の反省及び今後の課題

- ㊦ 公民館活動の参加者及び協力者が固定化されるに伴い高齢化が深刻な問題になっている。
- ㊧ 若い世代にも関心を持ってもらえるよう考えたい。
- ㊨ 住民の意見をよく知る必要がある。その手段を検討していく。
- ㊩ 若い世代のみならず、多世代の人の愛郷心を育てていきたい。

# 大生院公民館

## (1) 平成 27 年度の公民館活動の概要(重点事業)

～地域住民が集まり、共に進む公民館～

- 1 事業の企画・運営の住民参画を通して、人材の育成発掘を図る
- 2 自然といる地域資源を活かした特色ある事業の推進
- 3 放課後子ども教室推進事業への取組
- 4 自治会各種団体等と連携した安心・安全の地域づくりの推進

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者いきいきセミナー	高齢者	H27.5.9～H28.3.15	16	138	117	255
	くらしのセミナー	校区住民	H27.5.22～H27.11.9	16	2 (子ども)	77 1)	80
	子育て支援セミナー	乳幼児及 保護者	H27.5.12～H28.2.9	12	0 (子ども)	49 59)	108
	スポーツ健康教室	校区住民	H27.5.17～H27.7.19	6	82 (子ども)	33 0)	115
	三世代交流事業	校区住民	H27.8.8～H28.1.8	11	71 (子ども)	96 176)	343
	うずい教室	小学校児童 保護者	H28.1.5～H28.3.30	20	20 (子ども)	37 132)	189
	大野山プロジェクト	校区住民	H27.5.5～H28.2.13	12	287 (子ども)	243 398)	928
	郷土の歴史と文化	校区住民	H26.4.12～H27.11.29	11	26 (子ども)	48 36)	110
	大生院まちづくり事業	校区住民	H28.2.10～H28.2.10	8	11 (子ども)	9 0)	20
放課後子ども教室推進事業	希望者一般 児童・保護者	H27.7.17～H27.8.31	29	44 (子ども)	151 629)	824	
みどりの少年団	希望者一般 児童・保護者	H27.4～H28.3	—	100 (子ども)	94 500)	694	
公民館GP	校区住民	H27.7.5～H28.2.24	5	98 (子ども)	51 380)	529	
わくわく体験	校区住民	H27.8.22～H27.10.3	—	49 (子ども)	38 37)	124	
校区文化祭	校区住民	H27.11.1	—	650 (子ども)	700 500)	1,850	

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㊦ たのも団子づくり（三世代交流事業）

「おたのもさん」は50年ほど前には農村地域のどの家庭でも作られていたが、今ではほとんど行われなくなっている。

大生院校区の豊作祈願する伝統行事として、復活しています。

米の粉を蒸して作った色団子を材料に、動物や植物などの形を作ります。

作品完成後には、園児から歌や踊りを披露していただきました。



#### ㊦ ウォークラリー（大野山プロジェクト）

～☆僕らは大生院の探偵団☆～

毎年冬の恒例行事となっているウォークラリー。参加者スタッフあわせ200名を超える。

小学校を出発し、校区内を探訪しながら各チェックポイントでのゲームあそび、またコースも事前に下歩きするなど改良を行っている。

これからも継続的に取り組んでいきたい行事である。



### (4) 平成27年度事業の反省及び今後の課題

㊦ 公民館活動への住民の参画の促進

㊦ 次世代を担う人材の発掘と育成

㊦ 地域全体で、子どもや青少年の健全育成の充実

㊦ 地域住民のニーズに合わせ、より多くの人々の参加を目指し魅力あふれる事業を展開していく

# 角野公民館

## (1) 平成 27 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～共に学び・話し・喜び合える地域づくりを目指して～

- 1 思いやる心を育てる生涯学習を推進する地域づくり
- 2 伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり
- 3 学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり
- 4 自分達で命を守る防災組織の確立を図る地域づくり
- 5 三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	合同セミナー (三世代交流)	子ども～高齢者	H27.5.22～H28.2.24	25	944	1,022	1,966
	手作りセミナー	一般・女性	H27.7.30～H28.1.26	28	6	131	137
	いき生き生活セミナー	一般・高齢者	H27.8.19～H28.2.6	25	64	84	148
	家庭教育セミナー	一般・児童・生徒・保護者	H27.8.3～H27.12.5	18	57	100	157
	伝統文化プラン	一般	H27.7.20～H27.12.16	6	232	203	435
	未来まちづくりプラン	一般	H27.5.8～H28.2.5	86	512	574	1,086
	スポーツ健康教室	一般	H27.7.12～H27.8.10	8	71	80	151
公民館 G P (防災訓練・防災会議・他)	一般	H27.4.15～H28.3.8	30	345	155	500	
校区行事	町民大運動会	校区住民	H27.5.17	6	890	880	1,770
	すみの夏まつり	校区住民	H27.7.20	5	1,035	1,065	2,100
	文化祭	校区住民	H27.11.8	8	2,238	2,262	4,500
	芸能祭	校区住民	H27.11.21	8	157	183	340
	とうどおくり	校区住民	H28.1.17	3	147	158	305
その他	地域清掃	校区住民 一	H27.6.28	3	104	96	200

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㉞ 公民館G P 校区における防災拠点づくり事業

角野校区では、近い将来予想される大規模災害に備える為に、防災組織「角野校区防災会」をスタートした。毎月1回の会合を重ね防災士を中心に各種団体（縦横の人材）がメンバーに加わり、防災拠点になりうる組織作りをした。防災意識の高まりとともに、総合防災訓練を実施し、学校等の連携のもと地域の特色に応じた実践的な訓練や、先進地研修、防災講演会等行う。日頃から防災意識の高揚を図り防災・減災につとめ、地域の人が日頃から関わりを深め相互に協力しあう関係作りを進めている。



#### ㉟ ～あかがねの里、別子銅山の原点をさぐる～ 家庭教育セミナー

近代化産業遺産が多く残る地域、別子銅山を知り後世に伝える事業を柱にしている。その中の一つ、別子銅山峰を訪ね昔の繁栄を肌で感じ、一步一步山を登り昔に思いを馳せる。山登りを始めて10年目になる。自然を感じ、郷土を大切に思う気持ちを育てている。



### (4) 平成27年度事業の反省及び今後の課題

- ㉞ 学校との連携により、新しい事業の展開を進める。
- ㉟ 次世代を担う人材の発掘と育成に努める。
- ㊱ 角野校区防災会を中心に地域の連携をより一層深め、防災意識を高める。
- ㊲ 地域の拠点として地域課題を解決し豊かなまちづくりを目指す。

# 別子山公民館

## 平成 27 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域づくりの拠点として、暖かく温もりのある公民館を目指して～

- 1 学校・地域との連携を図り、地域活性化につなげる
- 2 伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る
- 3 人権・同和教育の推進
- 4 青少年の健全育成を図る
- 5 世代間交流の充実強化

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育 力向上 プロジェクト 推進事業	地域環境講座	校区住民	H27. 4. 14～H28. 3. 28	7	9	12	21
	まちづくり支援事業	校区住民	H27. 4. 11～H28. 3. 13	29	41	14	55
	ふれあい体験学習	校区住民	H27. 10. 25～H27. 10. 20	11	37	16	53
	いきいきまちづくり	校区住民	H27. 9. 6	15	77	59	136
校区行事	産業文化祭	校区住民	H27. 11. 8	8	140	90	230

### (3) 特色ある事業紹介

#### ㊦ 地域環境講座（草木染体験教室）



別子山地域内の自然植物を利用して、草木染体験教室を開催いたしました。

講師は、地域おこし協力隊員にお願いをし、染め上がった布を使い、今後地域のお土産品としての価値を見出し、地域活性化の一助にするべく取り組みを進めております。

#### ㊧ ふれあい体験学習（独居高齢者配布用餅つき）



年末を迎え、地域内にお住いの独居高齢者の皆さんを対象に配布を行います、お餅つきを実施いたしました。

普段、一人暮らしということで、少しでも思いのこもった年末年始をお過ごしいただくため実施しています。

#### ㊨ まちづくり支援（国際雪合戦四国大会参戦）



ここ2年間ほど、別子山地域内での雪合戦大会開催は、積雪量の不足や天候の状況などで実施にこぎつけることが出来ておりませんが、大会開催に当たり、競技の円滑な運営と審判力の強化を見据え、四国大会に参戦し研修を深めています。

#### (特産品開発セミナー)



地域連合自治会が取り組みを進めております地鶏や、別子山で古来より栽培されてきた「銀不老豆」を使って、地域の特産品開発につなげるため、はじめは定番の料理法で味を確かめ、今後どう料理すればよいのか等、試行錯誤しながら料理に取り組みました。

### (4) 平成 27 年度事業の反省及び今後の課題

- ㊦ 溢れる自然という地域素材を利活用した、体験型学習の推進を図る。
- ㊧ 地域住民の生涯学習の推進を図り、人材育成につなげる。
- ㊨ 地域づくりの拠点として、地域課題を検討し、今後の地域発展につなげる。
- ㊩ 地域の連携を一層深める。

# 青少年センターの主な施策と実績

## 1 運営協議会

青少年センターの運営に必要な運営方針、重点目標、業務計画、少年補導委員の推薦、青少年の善行表彰の審議等について協議している。

協議会の開催状況（平成 27 年度）

第 1 回 平成 27 年 5 月 22 日（金）

第 2 回 平成 28 年 2 月 16 日（火）

## 2 街頭補導

街頭補導は、少年補導委員を中心に活動場所を選んで効果をねらうとともに、計画的・組織的に問題少年、非行少年の早期発見、早期補導を基本に取り組んでいる。

### (1) 実施の状況（平成 27 年度）

街頭補導回数	従事補導委員延べ人数	補導した少年延べ人数
609 回	2,740 人	223 人

### (2) 行為別内容（指導・声かけ）（平成 27 年度）

（単位：人）

区 分	児童生徒	その他	計
飲 酒 喫 煙 怠 学 ・ 怠 業 盛 り 場 徘徊 夜 遊 び 暴 走 行 為 ゲ ー ム セ ン タ ー 無 灯 火 ・ 重 乗 等 声 かけ（帰 宅 指 導 等） そ の 他	4     20 20 145 27	3     1 3	7     21 23 145 27
計	216	7	223

## 3 相談活動

国際化、少子化、高齢化、情報化などが進む今日、青少年を取り巻く社会環境も変化し、また、青少年自身の価値観、意識、行動も変容している。

このような社会の中で、保護者をはじめ、学校関係者、地域住民、関係機関等が連携を密にし青少年の健全育成に取り組んでいるが、いじめや非行などが減少しない傾向にある。

この問題解決には、子どもたちの人間性を豊かにし、たくましく生きる力を育成することが必要である。

子どもの非行、いじめなどで悩みをもっている家庭、関係者、青少年自身からも相談を受け、問題の早期解決、予防、生活習慣の改善策等について話し合っって支援をし、必要な場合は関係諸機関に連絡し、相談、助言、指導を行っている。

(1) 相談の日 毎週月曜日～金曜日 8:30～17:15（祝日・年末年始の休日を除く）

(2) 相談の方法 来所相談・電話相談・招致相談

(3) 平成 27 年度少年相談の状況

項目	来所相談	電話相談	招致相談	合計
相談件数	2	13	0	15

ア 相談対象者

学 識	小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他	合 計
相談件数	1	5	6	3	15

イ 相談内容

相談内容	ぐ 犯 ・ 不 良 行 為	触 刑 れ 罰 る 法 行 令 為 に	そ の 他	合 計
相談件数	3	1	11	15

4 関係機関・団体との連絡連携

家庭、学校、警察、大型店、関係機関、団体等との連携により問題少年、非行集団少年等の早期発見、早期補導に努めた。

関係機関や団体が催す青少年健全育成、非行防止等の研修会、連絡会等に積極的に参加し、情報の収集、情報交換等に努めた。

5 青少年善行表彰

青少年の資質の向上を目的に日常生活や行動において善行著しい者について、運営協議会の決定に基づいて学校に出向いて表彰を伝達した。

【善行表彰受賞者（平成 27 年度）】

中学生 9 名 高校生 6 名 小学校 1 団体 中学校 1 団体

6 青少年健全育成の活動状況

新居浜市では、7 月 1 日～7 月 31 日の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11 月 1 日～11 月 30 日の「子ども・若者育成支援強調月間」を重点に、青少年健全育成のための活動を展開している。

(1) 青少年健全育成に関する啓発資料の作成と配布

広報紙による啓発と未成年者の飲酒・喫煙防止、不健全図書等販売店への協力依頼のための啓発。

(2) 青少年健全育成に関する標語

各小・中・高校へ標語を募集し、審査の後、表彰した。

最優秀（3 点）、優秀（5 点）、佳作（12 点）作品は、広報誌に掲載及び強調月間中、ポスターを作成し、小・中・高校、公民館、市役所等に掲示し、啓発に努めた。

〈最優秀作品〉

ひとことで 救いの手になる 君の声	中 萩小 6 年	塩崎 文乃香
だめだよと 勇気を出して 立ち向かおう	泉 川中 1 年	星田 悠伍
「ちょっとだけ」 軽い気持ちに 重い未来	西 高 3 年	瀧本 彩花

〈優秀作品〉

あいさつで 心の中まで ピッカピカ	多喜浜小 2 年	飯尾 楓
ありがとう 言って言われて いいえがお	宮 西小 3 年	篠原 晴菜
あいさつの えがお花さく 通学路	金 栄小 4 年	加藤 ころこ
支え合い みんなで咲かす 笑顔の輪	船 木中 2 年	鈴木 大誓
「ダメだよ」と 言葉にしてこそ 思いやり	東 高 1 年	山内 来美

# 生涯学習センターの主な施策と実績

## 1 生涯学習センター事業報告

生涯学習センターでは、従来の社会教育事業を継続するとともに、市民の高度化、多様化した学習ニーズに対応した生涯学習大学を開設し、学習機会の提供の充実を図った。また、生涯学習情報の提供、市民の生涯学習への自主的な参画（生涯学習推進員・大学運営スタッフ）に努めた。

## 2 生涯学習大学の開設

市民一人ひとりが自主的に参加し、自らの意思で選択し受講できる生涯学習大学を開設している。

### (1) 生涯学習大学講座内容

(平成 27 年度)

講座名	対象	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
					男	女	
日本文学講座	市民	H27. 5. 9～H27.10. 3	8	16	22	61	508
松山大学公開講座	市民	H27. 5.16～H27.12.11	8	16	36	17	253
新居浜高専市民講座	市民	H27. 5. 9～H27.11.28	8	16	47	11	338
科学博物館講座	市民	H27. 5.27～H27.11.25	8	16	47	33	506
遍路学事始め	市民	H27. 5.26～H27.10.27	5	10	40	23	263
ふるさと学	市民	H27. 5.15～H27. 9.25	4	8	40	20	200
広瀬幸平講座	市民	H27. 5.28～H27. 7.23	3	6	26	11	99
新居浜おとな塾	市民	H27. 9. 4～H27.12. 4	4	8	5	15	72
自然探訪	市民	H27. 5.12～H27. 9. 8	4	8	28	29	195
地域参加で健康づくり	市民	H27. 5.25～H27. 7. 6	11	22	2	34	325
志を受け継ぐ	市民	H27. 9.15～H27.11.10	3	6	19	7	67
わくわくシニアライフ	市民	H27. 5.22～H27.11.13	7	14	6	45	261
新居浜環境講座	市民	H27. 5.16～H27. 9.19	4	8	11	6	55
あなたのための防災講座	市民	H27. 5.19～H27. 7.14	4	8	7	6	47
学生が学んだ別子銅山	市民	H27. 6.19～H27.10.23	4	8	11	5	60
身近な国際交流	市民	H27. 5.30～H27.11.14	7	14	11	24	162
暮らしの中の知恵袋	市民	H27. 9.24～H27.11.26	4	8	0	24	89
懐かしの心の唄講座	市民	H27. 6. 3～H27.10.21	8	16	31	206	1,561
健康アラカルト	市民	H27. 5.14～H27.11.12	7	14	10	49	316
悠遊ワーカー講座	市民	H27. 6.15～H27. 9.17	2	5	11	2	15
にいほま若者塾	市民	H27. 8. 4～H27. 8.10	4	8	12	20	130
かんたんビデオ講座	市民	H27. 5.23～H27.11.21	7	14	17	6	126
雑談しま専科	市民	H27. 6. 3～H28. 3. 2	10	20	13	16	183
チケット受講生	市民				延べ(130)	延べ(86)	216
修業のつどい	市民	H28.1.23	1	3			680
計			135	272	582	756	6,727

### (2) 講演会

行事名	実施年月日	事業の内容	参加者数
平成 27 年度 「修業のつどい」講演会	平成 28 年 1 月 23 日(土)	講師 河口教昌 (新居浜市民合唱団指揮者・瀬戸フィル ハーモニー交響楽団所属) ピアニスト 荒井仁美 演題 音楽が与えてくれたもの (新居浜市市民文化センター 中ホール)	358 人

# 高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績

## 高齢者生きがい創造学園事業報告

おおむね60歳以上の者を対象にして、その生きがいづくりと健康・自立を目指す学習ニーズに応えられるよう講座を開設して、学習機会の提供、各種情報の収集・提供やボランティア活動・サークル活動の促進をした。

### (1) 生きがい創造学園講座内容

(平成27年度)

講座名	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
				男	女	
高齢者社会を賢く生きる	H27. 6. 2 ~ H27. 11. 17	8	16	30	61	484
郷土を歩く	H27. 5. 14 ~ H27. 11. 5	6	36	19	25	177
男の料理教室	H27. 5. 13 ~ H28. 2. 17	8	24	24	0	178
趣味の料理教室	H27. 5. 8 ~ H28. 2. 12	8	24	8	16	182
家庭菜園教室	H27. 5. 19 ~ H27. 12. 15	8	16	19	15	218
俳句教室	H27. 5. 8 ~ H28. 2. 12	10	20	8	11	160
茶道教室	H27. 5. 15 ~ H28. 3. 4	16	32	1	6	116
書道教室	H27. 5. 13 ~ H28. 2. 17	16	32	5	25	436
絵手紙教室	H27. 5. 12 ~ H28. 3. 1	16	32	7	22	387
写真教室	H27. 5. 7 ~ H28. 2. 4	9	18	17	9	169
陶芸教室	H27. 5. 20 ~ H28. 2. 17	8	16	9	10	131
コーラス教室	H27. 5. 11 ~ H28. 3. 7	16	32	8	35	466
四季の組み木教室	H27. 5. 7 ~ H28. 2. 18	11	22	4	10	147
ハーモニカ教室	H27. 5. 20 ~ H28. 3. 2	12	24	15	10	305
グラウンドゴルフ教室	H27. 5. 11 ~ H27. 11. 9	10	20	22	16	331
ラージボール卓球教室	H27. 5. 18 ~ H28. 1. 13	10	20	10	24	290
3B体操教室	H27. 5. 8 ~ H28. 2. 12	10	20	3	36	302
計		182	404	209	331	4,479

### (2) サークル活動等

#### 【サークル活動】

講座終了者が、グラウンドゴルフサークルをはじめとする54サークルで自主的で幅広い活動をしている。

年間延べ回数 1,380回 男 11,316人 女 22,167人 計 33,483人

#### 【代表者会】

目的 学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図ることを目的とする。

構成 学園の各講座、サークルの受講者の互選により選出された代表者で構成される。

組織 総務委員会・広報委員会・体育委員会・図書委員会で構成される。

行事 学園祭・グラウンドゴルフ大会・研修会等

## 学校教育課の主な施策と実績

平成 27 年度の重点目標を「基礎的・基本的な事項の確実な定着を図り、「生きる力」の基となる、確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成を目指し、家庭や地域社会との連携を深めながら、個性を生かす特色ある学校教育の充実に努める。また、安全管理の徹底を図り、健やかな学習環境の整備に努める。」として、前年度の反省を活かし、調和のとれた教育課程の編成と実施に努めた。また、地域に根ざした開かれた学校経営に努めるとともに、創意を生かした特色ある学校づくりを目指し、その改善・充実に努めた。

### 特色ある学校づくり

学校は地域の誇りであり、選ばれる立場にあるということを認識し、学校教育の画一性・受け身体質を克服し、各学校がそれぞれの実情に応じ、自主的・自立的に創意・工夫を凝らした教育の展開を図る。

〈重点実施項目・内容〉

◎「持続発展教育（E S D）支援事業」を推進する。

### 小学校

学校名	事業名
新居浜小学校	ビオトープを通して地球環境を考えよう
宮西小学校	地域とつながり 未来へはばたく みやにし（人・文化・自然）
金子小学校	人とつながり自然と触れ合う魅力ある学校づくり
金栄小学校	金栄いきいきつながりプロジェクト ～地域の方との交流活動を通して～
高津小学校	ふるさと発見 つなげよう未来へ
浮島小学校	「共に生きる」
惣開小学校	世界の中の日本再発見 ～惣開大好き・新居浜大好き・日本大好き～
若宮小学校	自己を拓き 広げよう ともに生きる力
垣生小学校	「社会」「自然」「歴史・文化」とのふれあいを通して ～命の尊さと共に生きることの素晴らしさを感じられる子～
神郷小学校	めざそう 神郷 E環境
多喜浜小学校	「多喜浜塩田を未来に伝える、ふるさと学習」
泉川小学校	進めよう！エコ・アクション ～地域環境を守るために、明るい展望をもって気付き、考え、実行する児童の育成～
船木小学校	ふれあい ～ふるさと船木の森・自然・人～
中萩小学校	「伝えよう！地域のよさを」
大生院小学校	「つながり」を大切にする子どもの育成 ～人・地域社会・自然との関わりを通して～
角野小学校	角野タイムトラベル ～ふるさとに誇りをもち、そのよさを発信していける子の育成～
別子小学校	「学校・地域文化の継承」「自然から学ぶ」

## 中学校

学校名	事業名
東中学校	「うぐいす運動」
西中学校	「地域を知り、人とつながり、未来を拓こう」
南中学校	人と自然が共生し、かけがえのない環境を大切にする生徒の育成—小中連携を含む—
北中学校	「ふるさと学習」～地域を知り、地域に学び、地域に発信する～
泉川中学校	地域社会に生きる一員として
船木中学校	環境・経済・人権の視点から、持続可能な発展を目指し、私たちはどのように生き抜けばよいのか考えよう。
船木中学校 ひびき分校	「地域と連携した和太鼓活動」 ～地域に学び、自己の生き方を考える～
中萩中学校	「自立・共存・交流」 ～地域に学び、自己の生き方を考える～
大生院中学校	伝え合い学び合う生徒の育成 ～人・もの・自然との関わりを通して～
角野中学校	「大人になっても語ろう！角野の誇り」
川東中学校	「地域の暮らしを見つめ、地域や社会の一員としてよりよく生きる」
別子中学校	「学校・地域文化の継承」「自然から学ぶ」

## 生徒指導

不登校対策に校長を中心に全教職員が一致協力して取り組み、全力を尽してその防止・解決に努めた。

不登校対策検討委員会や関係機関との連携を図り、実態に即した活動を実施した。

昨年度に引き続き本年度も、教育委員会、各学校及び青少年の健全育成団体との連携を図るため、「児童生徒をまもり育てる協議会」を中学校区別に実施した。

各学校と「あすなる教室」との連携を深め、進路相談会や研修会を実施した。

## 人権・同和教育

校区別人権・同和教育懇談会開催事業として、基礎研修、学級・学年別研修及び地区別懇談会の三本立で実施した。地区別懇談会は、中学校区ごとに運営委員会を開催して取り組み、小・中学校、保護者、行政、地域住民が協力する取組が定着してきた。

## 国際・情報化

3名のALTと英語指導員(3名)を小・中学校に派遣することにより、生きた英語教育の充実を図ることができた。また、市内全小・中学校がホームページを開設し、広く情報公開に努めている。

## 1 教職員研修の推進

研修内容の3本柱として、「特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実」「人権・同和教育の充実」「生徒指導の徹底」を挙げ、次のとおり研修に努めた。

### (1) 重点目標

豊かな人間性や生きる力の育成

### (2) 最重要課題

E S Dの推進による楽しい学校づくり

### (3) 研修の内容

#### ア 特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実

- ㉞ 基礎的・基本的事項を確実に身につけ、個性を生かす学習指導の充実と評価方法の確立に努める。
- ㉟ 児童生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。
- ㊱ 豊かな体験を通して、道徳的実践力の育成と情操教育の充実を図る。
- ㊲ 学校図書館や教育機器(コンピュータ等)の活用による指導法の改善に努める。
- ㊳ 体験的・問題解決的な学習を重視し、ティームティーチングや少人数による授業の実施等、多様な学習指導の工夫に努める。
- ㊴ 授業研究、事例研究等の研究を通して、「生きる力」を育てる実践的指導力の向上を図る。

#### イ 人権・同和教育の充実

- ㉞ 相互に認め合い、戒め合い、支え合う仲間意識を育て、いじめ等を生まない集団づくりに努める。
- ㉟ 家庭・地域・学校の連携をより深め、人権思想の啓発と高揚を図る。
- ㊱ 困難な条件のもとにある児童生徒の教育条件を整備し、学力の向上と進路保障の体制を整える。
- ㊲ 差別の現実を正しくとらえ、差別を解消する視点を明確にし、問題解決への実践力を身につける同和問題学習の推進に努める。
- ㊳ 小・中学校の連携を図りながら、教職員一人一人の同和教育間の確立と同和問題解決の力量を高める。

#### ウ 生徒指導の徹底

- ㉞ いじめ・不登校・非行の問題について、校長を中心に全教職員が一致協力し、全力を尽くしてその防止・解決に努める。
- ㉟ 学習指導と生徒指導の一体化を図り、一人一人のよさを認め、可能性を伸ばすよう指導の改善に努める。
- ㊱ 教職員と児童生徒、保護者との信頼関係を確立し、積極的な生徒指導に努める。
- ㊲ 児童生徒や保護者に対する教育相談を充実し、温かい人間関係のなかで、児童生徒理解に努める。
- ㊳ 学校と家庭・地域社会・関係諸機関等との連携を密にし、協力体制の一層の充実を図る。

### (4) 研修の日程と協議内容

#### ア 小・中学校長研修会

4月15日(水) 新居浜市教育委員会 平成27年度基本方針の説明  
平成27年度 校長研修会計画

11月16日(月) 「子どもの人権を考える」

2月24日(水) 「学校経営の反省を今後の教育に望むこと」

#### イ 小・中学校教頭研修会

5月26日(火) 「持続発展教育(E S D)推進による楽しい学校づくり」の推進のために、教頭としてどのようにとらえ、どのように取り組んでいくか。

8月28日(金) 「持続発展教育(E S D)推進による楽しい学校づくり」を進める中、教頭自身の取組をどう分析・評価し、どのように改善しようとしているか。

#### ウ 小・中学校主幹教諭及び教務主任研修会

5月21日(木) 「E S Dの推進による楽しい学校づくりのために主幹教諭及び教務主任として自校の特色を生かした教育活動をどのように展開していくか。」

8月20日(木) 「新居浜市学力向上推進委員会の取組を受け、確かな学力の定着と向上のために主幹教諭または教務主任としてどのように取り組んでいるか。」

#### エ 小・中学校生徒指導主事研修会

4月23日(木) 「いじめ・不登校の未然防止のために、各校においてどのような工夫、努力をしようとしているか」

8月26日(水) 「いじめへの対応について」

2月5日(金) 「平成27年度生徒指導指導者養成研修から」

- オ 交通安全指導担当者研修会  
4月15日(水) 「小・中学生の交通事故の実態とその対策について」
- カ 人権・同和教育主任研修会  
4月21日(火)、5月22日(木)、7月28日(火)、8月24日(月)、1月19日(火)、2月19日(金)  
平成27年度人権・同和教育の推進について
- ・ 校区別人権・同和教育懇談会の取組について
  - ・ 校区別人権・同和教育研究協議会の取組について
  - ・ 新居浜市小中学校人権・同和教育研究大会の取組について
  - ・ 人権作文の取組について
  - ・ 共通教材について
  - ・ 平成27年度の人権・同和教育の推進の反省と今後の課題について
- キ 教科研修会・中学校区別研修会  
6月13日(金) 小学校教科研修会において授業研究を行った。  
6月17日(火) 中学校教科研修会において授業研究を行った。  
2～3学期 各中学校区別に小中の連携・小中の連携に重点を置き教科外の授業研究を行った。
- ク 新居浜市小・中学校人権・同和教育研究大会の開催  
11月19日(木)  
小・中学校同日開催とし、小・中の交流を深めた。
- 【研究主題】**「差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、  
明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよ  
いか」
- 小学校 〔会場〕 A群 泉川小学校  
B群 神郷小学校  
C群 浮島小学校 惣開小学校
- 中学校 〔会場〕 A群 西中学校  
B群 角野中学校

## 2 教育研究所の歩み

20期の3年次として、確かな学力を育むための実践とふるさと学習の研究に努めた。基礎・基本の定着を図り、わかる授業の徹底と家庭学習の充実により、学力の向上を図る実践研究とふるさと学習の調査研究を行った。

教育研究所員については、20期において次の体制のもとに実践研究を行った。

ア 新居浜市学力向上推進委員と研修主任とする。

イ 原則1年として再任を妨げない。

ウ 20期教育研究所の期間は、平成25年4月～29年3月(4年間)とする。

研究結果を、冊子にまとめ、研究成果の共有を図った。

### 【主な活動】

- 4月27日(月) 第1回新居浜市学力向上推進委員会
- 5月12日(火) 第1回新居浜市学力向上推進委員会実践活動部会
- 5月25日(月) 第1回社会科副読本編集委員会
- 8月4日(火) 第2回社会科副読本編集委員会
- 8月21日(金) 第3回社会科副読本編集委員会
- 1月26日(火) 第4回社会科副読本編集委員会
- 2月22日(月) 第2回新居浜市学力向上推進委員会
- 2月25日(木) 第5回社会科副読本編集委員会

## 3 適応指導教室(あすなろ教室)の歩み

不登校児童・生徒の数が全国的にも、また新居浜市においても増加の傾向にあることから、平成5年9月に青少年センターが旧図書館の一階に移転したのを機会に、同年10月から青少年センター内に「適応指導教室」を設置した。当初は、中学校生徒の受入れのみで始まったが、学校教育課所管になった平成10年度から、児童の受入れも開始した。

【入級児童・生徒数】

年 度	人 数 (名)	備 考
平成 18 年度	23	うち 児童 0 名
平成 19 年度	34	うち 児童 4 名
平成 20 年度	16	うち 児童 2 名
平成 21 年度	23	うち 児童 4 名
平成 22 年度	20	うち 児童 5 名
平成 23 年度	19	うち 児童 2 名
平成 24 年度	15	うち 児童 2 名
平成 25 年度	19	うち 児童 5 名
平成 26 年度	22	うち 児童 2 名
平成 27 年度	21	うち 児童 2 名

#### 4 教育における国際化への対応

##### (1) A L T (外国語指導助手) による訪問指導

新居浜市では、総務省・文部科学省及び外務省の協力で行っている「J E Tプログラム」(語学指導を行う外国青年招致事業)の事業目的に則りA L T (外国語指導助手)として、3名を招致した。

##### ア 趣 旨

各中学校の英語担当教員及び生徒に、A L Tによる生きた英語に接する機会を提供し、本市の英語教育の充実発展を図り、合わせて国際理解教育推進の一助とする。

##### イ 訪問期間

平成 27 年 4 月 (1 学期初め) ~平成 28 年 3 月 (3 学期末)

##### ウ 訪問 (派遣) 方法

訪問日は、月曜日から金曜日までとする。中学校への訪問期間は原則として、1 週間を単位とし、市内 12 中学校を 2 名が順次指導訪問する。また、市内 17 小学校を 1 名が順次指導訪問する。

##### エ A L T の職務

- ㊦ 英語教師の授業補助 (ティームティーチング)
- ㊧ 英語担当の教員の研修 (現職教育)
- ㊨ 教材作成の援助
- ㊩ その他、学校長に指示された職務

##### オ 成 果

「A L Tとのふれあいや授業を通して、発音やスピーチ能力が高まり、英語に関心をもつ児童生徒が増えた。」あるいは、「自分の英語力を試そうとする生徒が増え、コミュニケーション能力が育ってきている。」等の学校からの報告がある。このようなA L Tとのティームティーチングによる授業を通して生きた本場の英語を体験させ、学ぶ楽しさと国際理解を深めることができた。

##### (2) 第 26 回新居浜市中学生英語スピーチコンテストの開催

英語によるコミュニケーションや表現に興味をもたせ、国際化社会に対応できる生徒を育成することをねらいに、新居浜市中学生英語スピーチコンテストが、市内英語教科会の協力のもとに開催された。

- 主 催 新居浜市教育委員会 新居浜ライオンズクラブ
- 日 時 平成 27 年 9 月 24 日 (木)
- 会 場 新居浜市市民文化センター中ホール
- 弁 士 10 名
- 題 材 自由 (5 分以内)

##### (3) 小学校英語指導員による訪問指導

英語指導員が市内の全小学校訪問指導し、外国語活動や総合的な学習の時間などを活用して、小学生の英語活動や英会話学習、国際理解教育の指導に当たっている。

## 5 中学生による国際交流事業

### (1) 趣 旨

21世紀を担う中学生が国際交流を通して、その国の文化・経済・生活習慣・国民性等を理解して、友好親善の絆を結ぶとともに、国際的視野の拡大を図り、国際感覚を磨き、さらには本市の活性化に通じる諸活動を推進するため、昭和61年度から中高生を中心に海外派遣研修事業を実施している。なお、新居浜市国際交流推進委員会の審議を経て、平成19年度からは中学生海外派遣事業としてアメリカ合衆国フランクリン市へ中学生を派遣することになった。

### (2) 実施状況

	訪問国（都市）	名称	日程	訪問者
61	中国 （泰安・済南・ 徳州）	日中友好の翼 ニイハマ訪中団	7/23～7/31	市長、教育委員、 市議会議員、教師等11人 中高生20人
62	東南アジア （シンガポール・ バンコク）	東南アジア 友好のかけ橋‘87団	7/23～7/29	団長（教育長） 教師等6人 中高生25人
63	韓国	‘88日韓友好団	8/1～8/8	団長（教育長） 教師等6人 中高生30人
元	アメリカ （ロサンゼルス）	太平洋横断 夢の使節‘89団	7/30～8/8	団長（助役） 教師等6人 中高生30人
2	オーストラリア （シドニー・ メルボルン）	Hello. Australia 希望とふれあい‘90	7/26～8/3	団長（教育委員長） 教師等6人 中高生30人
3	オーストラリア （シドニー・ メルボルン）	Friendship with Australians 青春・発見・感動‘91	7/25～8/1	団長（教育委員長） 教師等8人 中高生30人
4	オーストラリア （シドニー・ メルボルン）	Good day with Aussie‘92	7/27～8/3	団長（収入役） 教師等8人 中高生30人
5	オーストラリア （シドニー・ メルボルン）	A good will mission to Australia‘93	7/29～8/5	団長（教育委員長） 教師等7人 中高生25人
6	オーストラリア （シドニー・ メルボルン）	Jump into the life of Australia‘94	7/28～8/4	団長（教育委員長） 教師等7人 中高生25人
7	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	Lets make wonderful friendship in Australia‘95	7/26～8/3	団長（助役） 教師等6人 中高生25人
8	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	Lets go to Australia to find the same smiles！‘96 —同じ笑顔を探して—	7/29～8/6	団長（教育委員長） 教師等7人 中高生25人
9	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	Making new friends in the land of the Southrn Cross —南十字星の下で 友情を誓って—	7/28～8/5	団長（教育委員長） 教師等5人 中高生25人
10	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	Put our Hearts Together into One —深いきずなをこの一時で—	7/27～8/4	団長（市長） 教師等6人 中高生25人
11	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	In Australia, Lets Shine Together！1999☆ —みんな輝いて—	7/26～8/3	団長（教育委員長） 教師等5人 中高生25人

	訪問国（都市）	名称	日程	訪問者
12	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	Spread your Wings. Lets Go To A New Age —翔け 未来へ—	7/26 ~ 8/3	団長（教育委員長） 教師等 5 人 中高生 25 人
13	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	BuildingBridges.LetsMake Borderless Countres. —国境をこえて…—	7/26 ~ 8/3	団長（教育委員） 教師等 5 人 中高生 25 人
14	韓国（ソウル）	韓国訪問団友好新風	8/21 ~ 8/25	団長（教育長） 教師等 6 人 中高生 45 人
15	中 止			
16	韓国（ソウル）	「日韓友好輝団 '04」 —輝く自分を見つけて—	8/9 ~ 8/13	団長（教育委員長） 教師等 6 人 中高生 45 人
17	韓国（ソウル）	「日韓栄光親善団 '05」 —全ての隔たりを越えて—	8/8 ~ 8/12	団長（教育委員長） 教師等 6 人 中高生 45 人
18	韓国（ソウル）	「日韓新世代交流団 '06」 —未来へ生かすこの時を—	8/1 ~ 8/6	団長（中学校長会長） 教師等 6 人 中高生 41 人
19	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Dream Chaser 2007 —笑顔は世界の共通語—	10/31 ~ 11/9	代表 指導主幹 教師等 2 人 中学生 20 人
20	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Lets Make Friends 2008 —国境を越えた仲間づくり—	10/28 ~ 11/7	代表 指導主幹 教師等 2 人 中学生 20 人
21	中 止			
22	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Friendship Link 2010 —世界はひとつ 友情の輪—	10/30 ~ 11/9	代表 指導主幹 教師等 2 人 中学生 19 人
23	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Imagine What We Can Do Together —みんな友達—	10/29 ~ 11/8	団長 教育長 教師等 2 人 中学生 19 人
24	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	The Bonds of Friendships Link the World —絆が世界を結ぶ—	10/27 ~ 11/6	代表 指導主幹 教師等 2 人 中学生 21 人
25	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Friendships Without Borders —国境のない友情—	10/26 ~ 11/5	団長 教育委員 指導主幹 教師 中学生 18 人
26	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Smile Link connect the world 2014 —世界を繋ぐ愛顔の輪—	10/25 ~ 11/4	団長 教育委員 指導主幹 教師 中学生 20 人
27	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Blooming warm smiles around the world 2015 —世界中に咲き誇れ、笑顔の花—	10/24 ~ 11/3	団長 教育委員 指導主幹 教師 中学生 20 人

## 6 奨学金等

### (1) 新居浜市入学準備金貸付制度

#### 【貸付け対象及び資格】

高等学校または高等専門学校に入学しようとする者の保護者で、入学準備金の調達が困難であり、次の各号に該当するもの

- ア 本市に住所を有し、引き続き2年以上居住している者
- イ 高等学校または高等専門学校への入学が確実である者の保護者

【基金の額】

350 万円

【貸付け金額】

50,000 円

【返還方法】

貸付金を貸し付けた月から起算して5月据え置き31月以内に無利子で月賦による返還

【貸付け状況】

(単位：円)

年 度	貸付者 (人)	貸 付 額	年 度	貸付者 (人)	貸 付 額
18	0	0	23	1	50,000
19	1	50,000	24	3	150,000
20	1	50,000	25	4	200,000
21	2	100,000	26	2	100,000
22	1	50,000	27	2	100,000

(2) 新居浜市奨学資金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、高等学校、高等専門学校、大学又は専修学校（専門課程）に在学し、その学資の支弁が困難であり、次の各号に該当するもの

- ア 学業が優秀で性行の善良な者
- イ 身体の健康な者
- ウ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

1億3,400万円

【貸付け金額】

- ア 高等学校の生徒……………卒業まで毎月8,000円
- イ 高等専門学校の学生……………1年から3年まで毎月10,000円  
4年から5年まで毎月18,000円
- ウ 大学（短期大学を含む。）の学生  
又は専修学校（専門課程）の生徒……………毎月26,000円

【返還方法】

卒業後満1年後から15年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け状況】

(単位：円)

区分 年度	高 等 学 校		高 等 専 門 学 校		大 学		計	
	貸付者 (人)	貸付額	貸付者 (人)	貸付額	貸付者 (人)	貸付額	貸付者 (人)	貸付額
18	1	96,000	0	0	20	6,240,000	21	6,336,000
19	2	192,000	0	0	17	5,304,000	19	5,496,000
20	1	96,000	0	0	11	3,432,000	12	3,528,000
21	4	384,000	1	216,000	11	3,432,000	16	4,032,000
22	4	384,000	1	120,000	10	3,120,000	15	3,624,000
23	5	480,000	1	120,000	12	3,744,000	18	4,344,000
24	5	480,000	1	216,000	15	4,914,000	21	5,610,000
25	5	480,000	2	336,000	11	3,432,000	18	4,248,000
26	3	216,000	1	120,000	18	5,616,000	22	5,952,000
27	2	192,000	1	120,000	14	4,368,000	17	4,680,000

(3) 新居浜市青野記念奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、新たに大学（修業年限4年以上）へ入学したもの（短期大学、高等専門学校又は専修学校から大学へ編入学したものを含む。）で、その学資の支弁が困難であり、次の各号に該当するもの

- ア 学業が優秀で性行の善良な者
- イ 身体が健康な者
- ウ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

7,000万円

【貸付け・給付金額】

4年間を限度として毎月32,000円（うち16,000円は貸付金、16,000円は給付金とする。）

※平成5年度以前決定した者については、毎月20,000円（うち10,000円は貸付金、10,000円は給付金）

【返還方法】

卒業後満1年後から15年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】

（単位：円）

年度	大 学		備考
	貸付者（人）	貸付額	
18	4	1,536,000	うち給付金 768,000
19	4	1,536,000	うち給付金 768,000
20	4	1,536,000	うち給付金 768,000
21	4	1,536,000	うち給付金 768,000
22	4	1,536,000	うち給付金 768,000
23	4	1,536,000	うち給付金 768,000
24	4	1,536,000	うち給付金 768,000
25	4	1,536,000	うち給付金 768,000
26	4	1,536,000	うち給付金 768,000
27	4	1,536,000	うち給付金 768,000

(4) 新居浜市特別奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、大学院（修士課程・博士課程）に在学するもの又は海外の大学に在学するもので、次の各号に該当するもの

- ア 学業が優秀で中正妥当な性格で特に研究熱心な者
- イ 留学生は、高等学校卒業で30歳未満の者
- ウ 学資が乏しく修学困難な者
- エ 身体が健康な者
- オ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【貸付け・給付金額】

修士課程及び留学生は2年間、それ以外は5年間を限度として毎月30,000円（うち20,000円は貸付金、10,000円は給付金とする。）

【返還方法】

卒業後満1年後から10年間以内に無利子で半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】

(単位：円)

年度	区分	大学院・留学生		備 考
		貸付者(人)	貸付額	
18		3	1,080,000	うち給付金 360,000
19		1	360,000	うち給付金 120,000
20		0	0	うち給付金 0
21		2	720,000	うち給付金 240,000
22		3	1,080,000	うち給付金 360,000
23		1	360,000	うち給付金 120,000
24		2	660,000	うち給付金 220,000
25		4	1,320,000	うち給付金 440,000
26		3	1,080,000	うち給付金 360,000
27		3	840,000	うち給付金 280,000

7 新居浜市寺尾音楽教育振興基金

【設 置】

故 寺尾貞子氏の遺志を継がれた遺族の寄附金により学校音楽教育の振興を図ることを目的として、新居浜市小・中学校音楽教育振興会が行う事業の経費に充てるため、平成元年度に設置した。

【基金の額】

1,000万円

【学校音楽教育振興資金】

学校音楽教育振興資金は、次の各号に掲げる事業を行う新居浜市小・中学校音楽振興会に補助する。

- ア 学校音楽教育における教職員の資質向上のための研修事業
- イ 特に、学校音楽教育発展に貢献し、その功績が顕著な者の表彰
- ウ その他新居浜市小・中学校音楽教育振興会が行う事業で教育委員会が承認する事業

【運用収益の処理】

基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、学校音楽教育振興資金に充てるものとする。

教職員の研修に関する事業

音楽指導者講習会 平成27年8月21日(金) マリンパーク新居浜

8 新居浜市工藤交通災害遺児修学基金

【設 置】

故 工藤圓治氏の寄付金により、交通災害遺児に対する修学援助を図ることを目的として、平成5年度に設置した。

【基金の額】

1,000万円

【修学援助】

交通災害遺児(義務教育就学中の児童及び生徒)に対し、図書券を支給

## 【支給状況】

(単位：人)

年度	小 学 校	中 学 校	計
	対 象 者	対 象 者	
23	0	6	6人 18,000円
24	1	4	5人 15,000円
25	1	2	3人 9,000円
26	1	1	2人 6,000円
27	4	1	5人 15,000円

## 9 就学援助制度

## 【趣 旨】

学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対して必要な援助を行う。

## 【援助の対象】

新居浜市に住所を有し、小学校又は中学校に在学する児童生徒の保護者で生活保護法第6条第2項に規程する要保護者及び要保護者に準ずる程度に困窮している者

## 【就学援助の種類】

学校給食費、通学費、修学旅行費、校外活動費(宿泊を伴わないもの)、校外活動費(宿泊を伴うもの)、学用品購入費、新入学児童・生徒学用品費等、通学用品購入費

## 【就学援助の状況】

(単位：円)

年度	小 学 校		中 学 校		計	
	対象者	援助金	対象者	援助金	対象者	援助金
17	476	27,028,561	219	17,453,354	695	44,481,915
18	541	30,263,504	236	20,125,180	777	50,388,684
19	528	29,736,266	272	21,867,494	800	51,603,760
20	550	31,268,587	284	23,944,412	834	55,212,999
21	568	32,112,257	297	23,958,257	865	56,070,514
22	549	32,913,315	320	27,268,325	869	60,181,640
23	552	32,533,592	356	30,983,202	908	63,516,794
24	546	32,731,536	370	32,756,047	916	65,487,583
25	524	31,265,030	324	28,449,877	848	59,714,907
26	535	31,849,307	335	27,786,536	870	59,635,843
27	577	35,908,625	312	26,181,819	889	62,090,444

## 10 幼稚園就園奨励事業

## 【目 的】

幼稚園教育の振興に資するため、国の補助を受け、幼稚園に就園する満3歳児から5歳児の保護者の所得に応じた経済的負担の軽減と公私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図る。

【補助金の交付状況】

区分		年度						
		21	22	23	24	25	26	27
対象園児 (人)	市立	5	12	9	6	9	6	-
	私立	852	860	841	901	906	990	991
	(計)	857	872	850	907	915	996	991
補助金額 (減免額) (千円)	市立	98	240	180	120	180	117	-
	私立	29,795	30,359	30,117	30,902	31,240	45,623	83,367
	(計)	29,893	30,599	30,297	31,022	31,420	45,740	83,367

【平成 27 年度所得階層別内訳】

区分	所得階層区分	第 1 子			第 2 子			第 3 子		
		補助 単価	対象 園児	補助金額 (減免額)	補助 単価	対象 園児	補助金額 (減免額)	補助 単価	対象 園児	補助金額 (減免額)
私立	I 従来条件									
	市民税非課税世帯 (生活保護世帯を含む)	168,000	27	4,382,000	186,000	4	744,000	204,000	1	17,000
	市民税所得割非課税世帯	168,000	10	1,554,000	186,000	0	0	204,000	0	0
	市民税の所得割課税額が 77,100 円以下となる世帯	50,400	96	4,674,600	127,200	9	1,017,600	204,000	1	170,000
	市民税の所得割課税額が 211,200 円以下となる世帯	39,600	388	14,889,600	121,800	53	5,186,200	204,000	2	289,000
	上記区分以外の世帯	-	-	-	102,000	17	1,419,500	204,000	0	0
	小計		521	25,500,200		83	8,367,300		4	476,000
	II 新条件									
	市民税非課税世帯 (生活保護世帯を含む)				186,000	15	2,712,500	204,000	4	731,000
	市民税所得割非課税世帯				186,000	10	1,813,500	204,000	0	0
	市民税の所得割課税額が 77,100 円以下となる世帯				127,200	33	4,134,000	204,000	2	408,000
	市民税の所得割課税額が 211,200 円以下となる世帯				121,800	210	25,415,500	204,000	20	3,618,000
	上記区分以外の世帯				102,000	73	7,318,500	204,000	16	2,873,000
	小計					341	41,394,000		42	7,630,000
	私立計		521	25,500,200		424	49,761,300		46	8,106,000

## 11 私学助成

就学前教育の充実を図るため、私立幼稚園の運営に対し助成を行っている。

9園 4,667,832円

## 12 学校保健

### (1) 学校職員・児童生徒の健康診断の拡充

近年、飽食の時代になり成人に多く見られている病気が児童生徒にも多く発生している。そこで、検診機会の少ない児童生徒に対し、集団検診を実施することで早期発見・早期治療に努める。また、教職員においても各種検診を実施している。

### (2) 学校保健委員会の推進

心身共に健康でたくましく生きる児童生徒の育成に向け、学校・地域社会・家庭との連携を深め、自ら積極的に健康づくりに取り組むため、各校の学校保健委員会の充実と有効活用に努めている。

### (3) 健康・安全教育の推進

児童生徒が健康でなければ楽しい学校生活は送れない。そこで疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、交通安全、学校内の災害発生防止に向け、健康・安全教育を推進している。

### (4) 日本スポーツ振興センター災害救済給付制度の加入促進

日本スポーツ振興センター災害救済給付制度へは、原則全員加入している。

#### 【体位測定表】

(平成27年度)

		人数(人)	身長(cm)	体重(kg)	座高(cm)	
			平均	平均	平均	
幼稚園	4歳	男	38	102.9	16.5	57.9
		女	44	102.7	16.6	57.9
	5歳	男	49	110.9	19.6	62.3
		女	45	108.6	18.6	61.5
小学生	6歳	男	546	116.3	21.4	65.0
		女	545	115.4	21.0	64.6
	7歳	男	600	122.3	24.2	68.4
		女	510	121.4	23.5	67.3
	8歳	男	525	127.2	26.7	69.1
		女	481	127.1	26.2	69.8
	9歳	男	527	132.6	30.5	72.4
		女	514	133.0	30.4	72.5
	10歳	男	520	138.4	34.0	74.7
		女	532	139.4	33.7	75.5
	11歳	男	588	144.4	38.6	77.5
		女	528	146.5	39.3	79.0
中学生	12歳	男	545	152.3	43.7	81.1
		女	501	151.3	44.2	81.5
	13歳	男	577	158.9	48.2	84.5
		女	567	154.3	46.8	83.2
	14歳	男	579	164.1	53.0	87.3
		女	557	155.5	49.5	84.1

#### 【歯科検診成績】

(平成27年度、単位：人)

区分	検査人員	むし歯		その他歯・口腔疾患異常者数
		処置完了者	未処置ある者	
幼稚園	147	6	43	1
小学校	6,372	1,901	2,178	427
中学校	3,264	1,139	653	312
計	9,783	3,046	2,874	740

【脊柱側弯症検診】

(平成 27 年度、単位：人)

区 分	検 査 人 員	一次検診異常者数
小 学 校	1,044	22
中 学 校	1,033	48
計	2,077	70

- 検査対象者は小学校 5 年生、中学校 1 年生全員  
モアレ写真撮影による（一次検診）

【血液検査結果】

(平成 27 年度、単位：人)

区 分	検 査 人 員	一次検診異常者数	二次検診異常者数
小 学 校	1,182	371	54
中 学 校	1,136	352	25
計	2,318	723	79

- 検査対象者は小学校 4 年生、中学校 1 年生全員  
(小学校 5 年生、中学校 2 年生で昨年異常だった者の再検査を含む。)

13 学校体育活動の推進

学校体育団体育成と体育行事の充実推進

学校体育の推進を図る新居浜市小学校体育連盟及び新居浜市中学校体育連盟においては、充実した事業計画のもとに的確な運営を行い、多くの実績をあげた。

【新居浜市小学校体育連盟】

体育活動を通しての児童の健全育成については、新居浜市水泳記録会・新居浜市陸上競技会・親善球技大会を中心として実施した。記録会においては、多くの児童が自己記録を更新するための継続した練習を行い、能力及び体力の向上に大きく貢献した。また、親善球技大会では、サッカーの技能を高めるとともに、スポーツの楽しさや学級のチームワークを育成することにも大きく役立った。

【新居浜市中学校体育連盟】

各部各種目ともに活発な推進活動が行われ全体的に成果が上がっている。

公式大会として市長旗・杯争奪新居浜市中学校選手権大会・新居浜市中学校総合体育大会・新居浜市中学校新人体育大会を開催し、活動及び指導内容が向上し対外的にも力を発揮している。中学校駅伝大会においては、県駅伝が平成 26 年度に引き続き、国領川河川敷コースで開催され、男子の部・女子の部でアベック優勝した西中学校がともに 2 度目の全国大会に出場し、男子は 4 位入賞、女子も 9 位と健闘した。

行事実績

【新居浜市小学校体育連盟】

小学校教職員ソフトボール大会	5月9日(土)	河川敷ソフトボール場	雨天中止
小学校教職員バレーボール大会	6月13日(土)	市民体育館他	250人
小学校体育実技講習会	6月1日(月)、8月17日(月)		
	11月20日(金)	山根公園屋内プール他	100人
小学校水泳記録会	7月22日(水)	金栄小・高津小	550人
小学校陸上記録会	10月21日(水)	河川敷陸上競技場	400人
小学校親善球技大会	2月3日(水)	各小学校(会場)	600人

【新居浜市中学校体育連盟】

市長旗・杯争奪中学校選手権大会	4月18日(土)、25日(土)、26日(日)		
	29日(日)	市営野球場他	1,400人
中学校教職員ソフトボール大会	6月20日(土)	河川敷ソフトボール場	雨天中止
中学校総合体育大会	6月2日(火)、3日(水)、4日(木)		
	6日(土)	市営野球場他	1,900人
中学校新人体育大会	9月29日(火)、9月30日(水)、10月3日(土)		
		市営野球場他	1,700人
中学校駅伝競走大会	11月3日(火)	河川敷陸上競技場周辺	400人

#### 14 人権・同和教育実践の状況

##### (1) 新居浜市小学校人権・同和教育研究大会

- 期 日 平成 27 年 11 月 19 日 (木)
- 会 場 A群 泉川小学校  
B群 神郷小学校  
C群 浮島小学校・惣開小学校

○ 研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

○ 研究授業

群	会 場	分科会	教科等	題 材 名	
A	泉川小学校	低	1年	道徳	こころはっぱ
	泉川小学校	中	3年	道徳	同じ仲間だから
	泉川小学校	高	6年	社会	世界に歩みだした日本 「生活や社会の変化」
B	神郷小学校	低	2年	道徳	ロンは見ていた
	神郷小学校	中	4年	道徳	いっしょになって、わらっちゃだめだ
	神郷小学校	高	6年	社会	世界に歩みだした日本 「生活や社会の変化」
C	浮島小学校	低	2年	道徳	心と心をつなぐために
	惣開小学校	中	4年	学級活動	仲間づくり活動 「みんななかよし 4松大好き」
	惣開小学校	高	6年	道徳	よき日のために

##### (2) 新居浜市中学校人権・同和教育研究大会

- 期 日 平成 27 年 11 月 19 日 (木)
- 会 場 A群 西中学校  
B群 角野中学校

○ 研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

○ 研究授業

群	会 場	分科会	教科等	題 材 名
A	西中学校	1年	道徳	あなたはすごい力で生まれてきた
		2年	道徳	三月三日の風 —水平社誕生物語—
		3年	道徳	峠
B	角野中学校	1年	道徳	わたしにできること
		2年	道徳	三月三日の風
		3年	道徳	わたしたちにできること (自作プレゼンテーション)

## 発達支援課の主な施策と実績

地域における発達支援の中核的機関として設立した「こども発達支援センター」を中心に、総合相談、臨床心理士などによる幼稚園、保育所、小、中学校への巡回相談や発達検査の継続実施、個別の教育支援計画の作成運用など関連施設や機関とのネットワークの強化を図りながら発達支援の諸事業を展開した。関係諸機関を包括した新居浜市地域発達支援協議会において、労働・福祉分野の取組について、情報共有を行い検討を進めた。また、個別療育、小集団療育、構音訓練、個別SST等を内容とする早期療育通園事業の運営を実施し、心身の発達に課題のある未就学児に日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の指導・療育を行い、早期療育体制の充実強化に取り組んだ。さらに、発達障がい等の特性の理解や効果的な支援のあり方に関する連続講座や発達障がい支援者のための実践セミナー、特別支援教育ハンドブックの活用等により、関係職員の専門性、実践力の向上や発達障がい等の理解啓発を図った。

### 1 特別支援教育支援員の配置

障がいや発達課題のある児童が在籍する小・中学校において、生活や学習上の困難を有する児童生徒に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行うために学校特別支援教育支援員を配置し、児童生徒や教員を支援することにより、特別な教育的支援を必要としている児童生徒の学習効果を高め、学校生活へのよりよい適応を図った。

種別	目的	人数	配置学校
特別支援学級指導員	特別支援学級において、学級運営上特別な教育的支援が必要な場合、児童生徒や教員を支援することにより、学級の運営を円滑にすることを目的とする。	小学校 (1人)	浮島
生活介助員	重度の障がいがある児童生徒、市立幼稚園児が市内の学校・市立幼稚園に在籍し、学校の指導体制の現状では、安全確保や学級運営に重大な困難がある場合、園児、児童生徒に必要な介助を実施することにより学校生活を円滑にすることを目的とする。	幼稚園 (6人)	神郷・王子
		小学校 (69人)	新居浜・宮西・金子・金栄・高津・浮島・惣開・垣生・神郷・多喜浜・泉川・船木・中萩・大生院・角野
		中学校 (20人)	東・西・南・北・泉川・船木・大生院
学校支援員	発達障がい等のある児童が在籍する通常学級において、生活や学習上の困難を有する児童に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行うことにより学習効果を高め、学校生活への適応を図ることを目的とする。	小学校 (14人)	新居浜・宮西・金子・金栄・高津・浮島・惣開・若宮・垣生・神郷・多喜浜・泉川・船木・中萩・大生院・角野

## 2 教育支援委員会の開催状況

一貫した教育支援の充実を図るため児童等の心身の障がい及び発達課題の種類及び程度に応じ、適切な就学等の支援について必要な調査及び検討を行った。

開催回数	判断依頼数
6回	274件

## 3 自閉症・情緒障がい学級通学費補助の状況

通学区域外の自閉症・情緒障がい学級に通学する児童生徒にその通学費の一部を補助することで、特別支援教育を推進するとともに保護者の負担軽減を図った。

対象児童生徒数	11人
---------	-----

## 4 新居浜市地域発達支援協議会の開催状況

地域発達支援協議会では、NPOの取り組みや各機関の合理的配慮の取組について共通理解を図るとともに今後の新居浜市の発達支援の諸課題について検討を進めた。

開催日	協議内容
8月19日	新居浜特別支援学校川西分校の学校概要説明及び学校見学 平成26年度の発達支援課の主な施策と実績について 協議会等の開催計画について
10月1日	NPOの取組状況と課題について 発達支援課の取組について
2月4日	障害者差別解消法施行に伴う各機関の合理的配慮の取組状況について

## 5 総合相談の実施状況

障がいや発達課題のある子どもへの育児や発達、就学について保護者が抱えている不安や疑問について相談にのり、適切な支援へつなげていった。また、必要に応じて、学校や園や医療機関と調整を行うなど関係機関との連携を図った。

実施件数(延)	相談内容
幼児 258人(335人)	子ども理解、障がい、発達障がい、就学相談、入園相談、不適応、登園しぶり、S F新規作成(90人)、S F見直し(11人)、引継ぎ実施(保育園・幼稚園などへ30人・小学校へ41人)
小学生 185人(529人)	障がい、発達障がい、不登校、その他(担任不信、いじめ等) S F新規作成(19人)、S F見直し(17人)、引継ぎ実施(中学校へ20人)
中学生 71人(343人)	いじめ、障がい、発達障がい、進路相談、不適応 S F新規作成(6人)、S F見直し(14人)、引継ぎ実施(高校へ20人)
高校生 19人(68人)	適応相談、進路相談、障がいの理解と支援、ソーシャルスキル、 S F見直し(1人)、引継ぎ実施(大学へ1人)
成人 3人(29人)	人間関係、ソーシャルスキル
計 536人(1304人)	

## 6 巡回相談の実施状況

保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校における障がいや発達課題のある子どもの早期発見、発見後の具体的な支援方策の協議、相談を通しての現場の教職員のスキルアップ、保護者や関係機関との情報の共有、信頼関係の構築が図られた。

実施数（延）と内訳	相談内容
保育所：129人 ・5歳児 16人 ・4歳児 48人 ・3歳児 40人 ・2歳児 15人 ・0～1歳児 10人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着きがない</li> <li>・こだわりがない</li> <li>・気持ちのコントロールができない</li> <li>・集団行動がとりにくい</li> <li>・他児とのかかわりがうまくいかない</li> <li>・言葉の遅れ</li> <li>・人への関心が薄い</li> <li>・全体的な発達の遅れがある</li> <li>・切り替えしにくい</li> <li>・指示が伝わりにくい</li> <li>・かんしゃくを起こす</li> </ul>
幼稚園：31人 ・5歳児 7人 ・4歳児 14人 ・3歳児 10人	
小学校：450人 ・1年生 85人      ・2年生 94人 ・3年生 98人      ・4年生 91人 ・5年生 72人      ・6年生 10人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習面の遅れ</li> <li>・集団行動が苦手</li> <li>・こだわりが強い</li> <li>・話がきけない</li> <li>・指示理解ができにくい</li> <li>・集中力が続かない</li> <li>・衝動性がある</li> <li>・多動である</li> </ul>
中学校：96人 ・1年生 46人 ・2年生 34人      ・3年生 16人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特性理解について</li> <li>・支援方法について</li> </ul>
合計 706人	

## 7 発達検査の実施状況

発達の特徴やバランス・得意・不得意を把握し、具体的なかかわり方や個々の状態に応じた学習方法を知り、支援へつなげる。

幼児	小学生	中学生	高校生	計
67人	70人	13人	1人	151人

## 8 早期療育通園事業(親子通園事業)の実施状況

心身に障がいのある未就学児及び心身の発達に課題のある未就学児に対して、日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の相談、指導、療育などを行うことによりその発達を支援し、かつ助長するとともに、その保護者に対して家庭における教養上の諸問題についての相談指導を行った。

### (1) 事業の概要

教室名	教室実施曜日	登録者数	主な療育内容
ことばの教室	水・木・金	127人	構音訓練、個別療育、個別SST
育ちの教室	水・木・金	58人	小集団療育、集団SST

### (2) 事業実施状況

(延利用人数、単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ことばの教室	6	71	100	150	121	96	113	180	152	165	141	45	1340
育ちの教室	32	70	67	67	47	38	61	97	68	81	84	28	740

## 9 ペアレントトレーニングの実施状況

新居浜市早期療育通園事業等を利用する保護者が社会性、コミュニケーションの発達に課題のある子どもの特性を知り、子どもへの関わり方を具体的に学ぶ。

- 日時 第1回目 9月5日(土) 9:30~12:00  
第2回目 9月17日(土) 9:30~12:00  
第3回目 10月3日(土) 9:30~12:00
- 内容 第1回目 ペアレントトレーニングとは・行動分析  
第2回目 ほめる・無視のコツ(講習とロールプレイ)  
第3回目 指示の出し方(講習とロールプレイ)
- 講師 愛媛県立新居浜病院小児科医師 大藤 佳子  
西条中央病院理学療法士 石井摩耶
- 参加者 第1回目 12名 第2回目 14名 第3回目 13名

## 10 講演会などの開催状況

講演会や連続講座の開催を通して、障がいや発達課題のある子どもの特性理解や実態把握の方法、具体的な支援の在り方の理解を深め、専門性と実践力を高めることができた。また、発達障がいや特別支援教育に関する地域社会の理解の向上を図った。

### (1) 第1回特別支援教育研修会

- 日時 平成27年6月13日(土) 9:30~15:30
- 場所 別子銅山記念図書館 ホール
- 目的 発達障がいについて理解を深めるとともに、支援を必要とする幼児の気づき、適切な支援へつながることができるようにする。
- 参加者 64名(幼稚園教諭・保育士・関係機関職員)
- 内容 演題「幼児の困り感に寄り添う支援について ~よりよい支援を目指して~」  
【講演1】「なぜ!!今、保育カウンセリングなのか」  
現代の子どもを取り巻く環境  
(少子化、ライフスタイル、育児環境、子育て観の変化)  
気になる子どもの姿と保育  
(発達障がいへの対応、保育者の負担、保護者とのトラブル)  
保育カウンセリング(子ども、保護者への早期介入)  
地域において文化、教育の原点(ESD)  
子どもの権利と発達  
【講演2】「幼児の困り感に寄り添う支援について」
  - ・保育カウンセリングの意義と基本姿勢、2つのアプローチ  
(援助的・治療的アプローチと教育的・開発的アプローチ)
  - ・よりよい支援・連携に必要なこと  
(傾聴、カウンセリングスキル、アセスメント、カウンセリングマインド)
  - ・気になる子どもの姿から理解と支援につなげる  
(記録の取り方、アセスメント、園全体で取り組む方法、家庭との連携)【講演3】 日頃の保育での悩みからアセスメントし、支援策を考える
  - ・事例を出し合い、支援について討議(グループワーク)
- 講師 千葉大学教育学部 教授 富田 久枝

### (2) 特別支援教育講演会

- 日時 平成27年8月3日(月) 10:00~12:30
- 場所 新居浜市市民文化センター 大ホール
- 目的 新居浜市の小・中学校教職員が、特別支援教育の充実に当たり、校内支援体制を整え、組織的・計画的に取り組むため、特別支援教育の最前線で活躍している講師の講演を通して、特別な支援を必要とする児童・生徒に対する適切な理解と児童・生徒の将来像を見すえた支援の在り方を学習する機会とする。
- 参加者 540名 小学校教諭:288名 中学校教諭:217名

学校支援員：13名 生活介助員：6名 その他：16名

○内 容 演題「自尊感情・自己肯定感を育てるために」

－ 子どもの将来を見すえて『今』に取り組む －

○講 師 愛媛大学教育学部 教授 花熊 暁

(3) 発達支援スキルアップ連続講座（前期）

○日 時 平成27年8月10日（月）・11日（火） 10:00～15:00

○場 所 新居浜工業高等専門学校 視聴覚室

○目 的 発達障がいのある子どもを支援する者が、的確な実態の把握の方法や、背景にある機序、具体的な支援の在り方の理解を深め、その専門性と実践力を高める。

○参加者 1日目 89名 2日目 76名（教職員・幼稚園教諭・保育士・関係機関職員）

○内 容 演題「インクルーシブ教育システム構築のために

～幼・保・小・中・高でなにをしたらよいか、なにをすべきなのか～

- ・学びのユニバーサルデザイン
- ・合理的配慮の提供
- ・アクティブ・ラーニング
- ・キャリア教育

○講 師 愛媛大学教育学部 教授・愛媛大学教育学部附属特別支援学校長 吉松 靖文

(4) 発達支援スキルアップ連続講座（後期）

○日 時 平成28年1月5日（火）・6日（水） 10:00～15:00

○場 所 新居浜市市民文化センター 大会議室

○目 的 発達障がいのある子どもを支援する者が、的確な実態把握の方法や、背景にある機序、具体的な支援の在り方の理解を深め、その専門性と実践力を高める。

○参加者 1日目 77名（学校教職員・幼稚園教諭・保育士・関係機関職員）

2日目 92名（学校教職員・幼稚園教諭・保育士・関係機関職員）

○内 容 1日目 幼児期の発達を支える

～ハイハイからコーディネーション運動へ

2日目 反抗期と発達障がいの特性の共通点

～合理的配慮の視点から～

○講 師 特別支援教育士スーパーバイザー 渡部 徹

(5) 心理アセスメント講座

○目 的 いろいろな側面から子どもをとらえ支援策を実践するためには、学校教職員の教育的対応の強化が必要となってくる。そのためWISC-IIIおよびIV発達検査の基礎を学習したうえで、事例検討から児童生徒の現状や生育過程や発達検査のプロフィールからわかる認知特性をふまえ、課題や解決策を学ぶことを目的とする。

○日時及び研修内容及び参加者

月 日	内 容	参加者
7月30日（木） 9:30～15:30	【発達検査について】 WISC-III・IV発達検査基礎&実技研修	小中学校教諭・支援員 59名
7月31日（金） 9:30～15:30	【発達検査について】 小学校教科書改訂にみるユニバーサルデザイン化について	小中学校教諭・支援員 62名
9月5日（土） 11月7日（土） 12月12日（土） 13:30～16:00	【事例検討及び講義】 プロフィール分析及び総合的なアセスメント （事例から読み取り学習）	小中学校教諭・支援員 31名

○場 所 ウイメンズプラザ・新居浜市こども発達支援センター

○講 師 特別支援教育士スーパーバイザー 渡部 徹

(6) 発達障がい支援者のための実践セミナーの状況

- 日 時 平成 27 年 7 月 24 日（金） 9:30～17:00 25 日（土）・26 日（日） 8:30～17:00
- 場 所 新居浜市こども発達支援センター
- 目 的
  - ・自閉症の本質的な障がい特性について理解する。
  - ・自閉症支援における理念と方法を学ぶ。
  - ・OJTによる学習（講義と実践との組み合わせ）
- 委託先 （特非）ライフサポートここはうす  
トレーナー 4 名 桑原綾子・黒川久美・井原佳代・矢野志穂
- 協力児 3 名
- 受講者 15 名（小中学校教諭、保育士・幼稚園教諭 他）

11 ソーシャルスキル支援事業の状況

- 日 時 年 9 回 日曜日（13:30～15:30）
- 場 所 新居浜市総合福祉センター
- 目 的 主に発達障がいの児童生徒を対象に他者との良好な関係を形成し、それを維持していくための知識やスキルを身につけるための指導を行い、社会性や対人関係能力等の向上を図る。
- 講 師 愛媛大学教育学部特別支援教育講座准教授 荻田 知則研究室  
にはまローズ
- 参加者 41 名（延）

12 聴覚障がい児相談事業の状況

- 日 時 月 1 回（9:30～16:00）
- 場 所 新居浜市こども発達支援センター
- 目 的 聴覚の障がいや聞こえや言葉の獲得に課題のある子どもたちが、より豊かに自尊心をもって自立した生活ができることを目指す。
- 内 容 聴覚の発達の相談・聴覚の発達に必要な指導療育（手話等）に関すること  
保護者への支援及び通所機関への助言と支援
- 相談員 愛媛県立松山聾学校 教諭 高須賀 妙子
- 相談件数 58 名（延）

13 特別支援教育就学奨励費の状況

【目 的】

市町村が特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学のため必要な援助をし、もって特別支援教育の振興の資することを目的としている。

【対 象】

市内の小学校及び中学校の特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者

【就学奨励の種類】

学校給食費、通学費、職場実習交通費、交流及び共同学習交通費、修学旅行費、校外活動参加費（宿泊なし）、校外活動参加費（宿泊あり）、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費等

【就学奨励の状況】

年度	小 学 校		中 学 校		計	
	対象者 (人)	奨 励 費(円)	対象者 (人)	奨 励 費(円)	対象者 (人)	奨 励 費(円)
17	37	1,113,729	11	457,135	48	1,570,864
18	40	1,085,946	12	502,556	52	1,588,502
19	38	1,059,076	17	529,097	55	1,588,173
20	37	1,075,878	15	601,833	52	1,677,711
21	37	1,019,641	21	766,194	58	1,785,835
22	50	1,533,286	16	526,473	66	2,059,759
23	51	1,346,323	19	659,141	70	2,005,464
24	58	1,634,988	25	990,264	83	2,625,252
25	67	1,876,018	27	973,808	94	2,849,826
26	82	2,304,020	25	846,979	107	3,150,999
27	78	2,147,758	21	681,789	99	2,829,547

# 学校給食課の主な施策と実績

## 1 学校給食の意義

- (1) 児童生徒に栄養のバランスのとれた食事を提供することにより児童生徒の健康の増進、体位の向上を図り、又、これらを通して日常における正しい食習慣を身につける。
- (2) 事前の準備、後片づけを通して児童生徒は大きな生活体験をもち、共同生活の基本的態度を身につける。
- (3) 食事を共にすることにより、教師と児童生徒、児童生徒相互の心のふれ合いの場を作り、好ましい人間関係の育成を図る。

## 2 学校給食の運営等

各調理場の施設・設備の修繕、改善、更新等を適宜に行うとともに、安全で新鮮な物資の納入に努めた。また、学校給食会理事会、学校栄養職員会及び各専門部会を開催し、円滑な学校給食の運営を図った。

学校給食センター及び高津共同調理場を対象とした共同調理場運営委員会を開催し、共同調理場の円滑な運営を図った。

## 3 学校給食の充実等

地元の食材を使った郷土料理などの実施やより身近に実感を持って地域の産業、文化等の理解を深めることのできる地元農産物等の利用に努めた。

中学校給食の喫食率は、平成 27 年度 93.80%と前年度に比べ 0.65 ポイント向上した。

## 4 主な主催行事

- (1) 学校給食研修会
  - 日 時 平成 27 年 7 月 24 日（金） 市民文化センター
  - 内 容 サラヤ株式会社食品衛生サポートインストラクター  
「学校給食の異物混入、食中毒等の例からみる衛生管理について」
- (2) 新規給食献立調理実習試食会  
平成 27 年 8 月 18 日（火） 泉川公民館
- (3) 新居浜市学校給食研究大会
  - 日 時 平成 27 年 11 月 27 日（金） 中萩小学校
  - 研究テーマ：食への関心を高め、健やかな成長を目指す児童の育成  
～学んで、食べて、心も体も健康に～
- (4) 教育委員会調理場訪問衛生研修会
  - 平成 27 年 12 月 10 日（木） 船木小学校
  - 12 月 11 日（木） 垣生小学校
  - 平成 28 年 1 月 15 日（金） 宮西小学校

## 5 給食の状況

- (1) 実施状況 （平成 27 年度）

区 分	完 全 給 食		給 食 未 実 施		備 考
	校	人	校	人	
小 学 校	17 校	6,416 人	1 校	9 人	ひびき分校未実施
中 学 校	11	3,360	1	9	
計	28	9,776	1	9	

（ひびき分校は児童自立支援施設につき別途実施）

- (2) 一食当たり単価（完全給食） （単位：円）

区 分	平成 2 年～	平成 6 年～	平成 21 年 9 月～
小 学 校	200	220	240
中 学 校	220	260	280

# スポーツ文化課の主な施策と実績

## 1 市民体育・スポーツの振興

- (1) 新居浜市における生涯スポーツの両輪ともいえる新居浜市体育協会(競技スポーツ)と新居浜市連合体育振興会(社会体育)との連携と協力体制の確立に努め、市民体育の振興を図ってきた。各々の団体においても、組織の充実を図るとともに、連携・協力することによって、社会体育の一大事業である「第46回市民体育祭」を成功させることができた。
- (2) 新居浜市の少年スポーツ指導者ならびに新居浜市教育委員会が委嘱している新居浜市スポーツ推進委員及び地区体育振興会に配置している新居浜市校区スポーツ普及員に対して、講習会・研修会を実施し、各指導者の資質・指導力の向上と後継者の発掘に努め、社会体育指導者制度の確立と充実を図った。また、各指導者団体独自の研修会を開催し、資質の向上に努めた。
- (3) 重点目標にもある「生涯スポーツ」の普及振興のため、「新居浜市スポーツ推進計画」に基づく、各種目競技大会支援及び地区における、スポーツ・レクリエーション行事の開催のための企画・プログラムの提供や、運営・指導の促進のための資料提供と広報活動に努めた。
- (4) 少年期のスポーツ活動の推進のため、研修会の開催による指導者の資質の向上を図り、スポーツ大会の開催による競技力の向上に努めた。また、愛媛国体等に向けて高校運動部活動への支援など各種スポーツの競技力の向上を図った。
- (5) 新居浜市(愛媛県・四国四県)の代表として、各種目競技の全国大会などへ選手派遣のために、出場選手派遣費の一部補助を行い、全国的に「新居浜」の名を残すことのできるように努めた。

## 2 市民体育振興事業

日程	事業名	場所	参加人数
4月19日(日)	市民歩け歩け大会	山根市民グラウンド	70名
9月17日(木)～11月15日(日)	市民体育祭	各会場	3,785名

## 3 競技力向上事業

日程	事業名	場所	参加人数
4月26日(日)	第44回近県ソフトテニス新居浜大会	市民テニスコート他	400名
5月10日(日)	第35回全国招待少年剣道大会	市民体育館	3,500名
7月19日(日)～11月3日(火)	少年スポーツ大会	各会場	900名
11月3日(火)	市内駅伝競走大会	東雲競技場発着	37チーム
3月12日(土)～13日(日)	第25回近県招待中学生ソフトテニス大会	市民テニスコート他	延600名

## 4 講習会・研修会事業

少年スポーツ指導者研修会

4月8日(水)、6月4日(木)、7月2日(木)、8月26日(水)、2月19日(金) 延べ8回 延べ559名

体力づくり指導者講習会

4月23日(木)、5月27日(水)、6月26日(金)、7月15日(水)、8月21日(金)、9月16日(水)

延べ6回 延べ293名

## 5 野外活動施設整備と運営

ハイキングコース等の維持管理

新居浜市指定のハイキングコース及び登山道については、登山者が安全に登山できるよう維持管理を行った。

## 6 芸術文化活動

地域の芸術文化の水準向上と、すそ野の拡大を課題とし、市民の自由な芸術・文化活動の促進を図るため新居浜文化協会を中心にして春の市民文化際、秋の芸術祭、市美術展を開催するなど、地域住民が積極的に各種の芸術文化活動に参加し、創作や表現の喜びを味わえる機会の拡大を図った。

また、市内の小中学生に学校施設において優れた芸術に触れる機会を提供する「学校出前コンサート」、「芸術文化キャラバン隊」を行うとともに、新居浜の歴史・文化への理解を深め、郷土新居浜を愛する心を育てる「こどもふるさと写生大会」を実施した。

## 7 文化財の保存活用

郷土に残された優れた文化遺産に対する正しい理解と認識を深め、その保存活用を図るための調査、文化財めぐり等を実施した。

市指定天然記念物「アッケシソウ」保存保護事業補助

文化財めぐりの実施 40名 姫路市（世界遺産姫路城、書写山円教寺）

## 8 体育文化施設の充実

体育文化施設の充実を図るために東雲市民プール、市営サッカー場、市民文化センター等の改修を行った。また、(公財)新居浜市文化体育振興事業団及び別子校区連合自治会を指定管理者とし、体育文化施設の管理運営や文化及び体育に関する事業を行うことによって、施設の利用促進や効率的な管理運営を図り、体育文化の振興に努めた。

## 9 文化振興基金

平成28年3月31日現在の文化振興基金積立金額 833,066,260円

## 10 体育施設建設基金

平成28年3月31日現在の体育施設建設基金積立金額 692,987,592円

## 11 総合型地域スポーツクラブ設立

総合型地域スポーツクラブとして、平成20年6月に金子地域文化スポーツクラブ、平成26年2月に楽SPO船木の2クラブを設立し、活動を行っている。

## 12 (公財)新居浜市文化体育振興事業団

新居浜市の文化及び体育施設の管理運営を受託するとともに、文化及び体育に関する事業を行うことによって、施設の利用促進及び効率的な管理運営を図り、もって文化及び体育の振興に寄与することを目的に、昭和61年8月1日に設立され、平成18年4月からは各施設の指定管理者となっている。平成26年1月6日、公益財団法人に認可された。

○ 所在地 繁本町8番65号

○ TEL 33-2180

○ 組織 理事9人、監事2人、評議員9人

○ 事業内容 (1) 文化体育施設の指定管理

市民文化センター、市民・山根総合・多喜浜体育館、市営野球場、山根市民グラウンド、市民・山根公園テニスコート、東雲市民・山根公園屋内プール、武徳殿、弓道場、重量挙げ練習場、東雲競技場、市営サッカー場、銅山の里自然の家、文化振興会館、女性総合センター

(2) 文化事業の企画及び実施に関すること

健康食の料理教室、演劇鑑賞教室、市民茶会、市民音楽祭、美術実技講習会 外

(3) 体育事業の企画及び実施に関すること

綱引き大会、市民クロッケー大会、市民軽スポーツ大会、小学生バレーボール講習会 外

## 13 銅山の里自然の家利用状況

(単位：人)

月 \ 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
4	69	54	155	12	278
5	372	320	306	711	479
6	177	154	42	22	62
7	641	0	350	350	261
8	1,240	334	1,255	448	593
9	299	194	17	115	223
10	217	331	41	137	193
11	62	24	54	83	19
12	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0
3	12	20	12	64	136
合計 (延人数)	3,089	1,431	2,232	1,942	2,244

使用料納付者のみの利用者数であり、短時間の見学的利用者は含まない。

利用者の平均形態 1泊2日

## 14 体育施設・文化施設年度別利用状況

(単位：人)

施設名 \ 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
市民体育館	93,206	94,563	54,581
山根総合体育館	56,399	55,764	67,708
多喜浜体育館	19,726	17,866	19,281
東雲市民プール	54,040	36,974	43,273
山根公園屋内プール	22,873	27,896	21,993
別子山市民プール	183	170	207
市営野球場	16,858	19,234	16,592
武徳殿	28,000	27,900	28,300
弓道場	4,460	4,580	4,310
重量挙練習場	10,300	9,650	10,150
文化振興会館	21,662	22,781	19,625
山根市民グラウンド	81,724	103,671	83,560
別子山市民グラウンド	305	32	57
市民テニスコート	52,117	51,454	55,122
山根公園テニスコート	49,832	39,274	42,077
東雲競技場	23,261	31,746	27,170
市営サッカー場	30,994	31,661	40,775
合計	565,940	575,216	534,781

施設名		年度 項目	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
			回 数(回)	利用者数(人)	回 数(回)	利用者数(人)	回 数(回)	利用者数(人)
市民文化センター	大ホール		324	76,185	210	53,575	286	65,074
	中ホール		271	38,399	285	40,051	263	33,498
	別館 会議室等		2,281	59,462	2,828	65,500	3,208	65,614
小 計			2,876	174,046	3,323	159,126	3,757	164,186
ふるさと館				2,860		1,767		1,906
合 計			2,876	176,906	3,323	160,893	3,757	166,092

#### 15 平成 27 年度 体育施設等月別利用状況

施設名 月	市民 体育館	東雲市民 プール	市民 テニスコート	山根公園 テニスコート	山根公園 屋内プール	山根市民 グラウンド	山根総合 体育館	市 営 野球場	東 雲 競技場
4	7,756	0	4,801	3,458	2,096	4,534	5,872	787	2,374
5	12,855	0	6,117	3,811	292	6,310	5,725	4,225	2,367
6	8,699	4,230	4,628	3,691	0	3,110	5,189	1,245	2,195
7	7,553	17,034	5,379	3,903	3,349	6,425	5,396	940	2,392
8	7,228	22,009	4,724	3,619	3,672	3,070	3,966	4,500	1,781
9	5,644	0	4,961	4,523	1,867	4,656	5,437	1,410	1,786
10	4,642	0	4,978	3,125	1,902	40,715	6,157	807	2,399
11	204	0	3,189	3,474	1,925	2,305	7,393	812	3,376
12	0	0	4,041	3,109	1,657	4,050	5,018	470	1,746
1	0	0	3,719	2,920	1,731	2,326	5,292	100	1,728
2	0	0	3,541	2,698	1,764	3,150	5,314	0	3,181
3	0	0	5,044	3,746	1,738	2,909	6,949	1,296	1,845
小 計	54,581	43,273	55,122	42,077	21,993	83,560	67,708	16,592	27,170

(山根市民グラウンドは、公式大会参加者のみ)

(単位：人)

武徳殿	弓道場	重量挙 練習場	銅山の里 自然の家	市 営 サッカー場	多喜浜 体育館	別子山市民 グラウンド	別子山市民 プール	文 化 振興会館	計
2,400	350	800	278	0	1,374	0	0	4,017	40,897
2,600	360	850	479	361	1,519	0	0	1,014	48,885
2,300	350	750	62	3,720	1,582	20	0	1,296	43,067
2,700	400	850	261	3,078	1,291	0	30	1,598	62,579
2,300	300	1,100	593	11,376	583	37	177	1,177	72,212
2,400	350	850	223	4,493	1,798	0	0	1,288	41,686
2,500	450	950	193	2,329	1,623	0	0	1,659	74,429
2,400	400	800	19	5,581	2,168	0	0	1,887	35,933
2,400	350	850	0	3,814	1,677	0	0	1,551	30,733
2,200	300	750	0	3,163	1,534	0	0	1,444	27,207
2,000	300	800	0	2,464	2,053	0	0	1,338	28,603
2,100	400	800	136	396	2,079	0	0	1,356	30,794
28,300	4,310	10,150	2,244	40,775	19,281	57	207	19,625	537,025

16 平成27年度 月別利用状況（市民文化センター）

施設名 月	大ホール	大・ロビー	中ホール	大会議室	中会議室	小会議室	和室
4	7,028	0	2,406	1,020	2,468	533	40
	(29)	(0)	(26)	(15)	(113)	(62)	(6)
5	5,646	0	3,477	755	2,668	549	40
	(25)	(0)	(23)	(17)	(125)	(70)	(12)
6	3,929	0	3,526	1,470	3,458	552	25
	(23)	(0)	(21)	(21)	(130)	(69)	(8)
7	9,420	0	4,288	1,316	2,791	517	40
	(34)	(0)	(31)	(23)	(137)	(68)	(16)
8	6,422	0	3,873	1,336	3,462	451	76
	(29)	(0)	(36)	(26)	(168)	(76)	(26)
9	3,479	0	3,763	1,215	2,946	608	20
	(21)	(0)	(30)	(18)	(118)	(69)	(6)
10	2,064	0	1,792	930	2,424	566	25
	(23)	(0)	(18)	(14)	(106)	(67)	(6)
11	10,814	0	4,261	1,083	2,558	547	37
	(28)	(0)	(31)	(22)	(141)	(68)	(14)
12	4,293	0	3,129	689	1,850	583	55
	(18)	(0)	(16)	(12)	(94)	(70)	(12)
1	734	0	2,518	645	1589	581	15
	(4)	(0)	(24)	(11)	(100)	(68)	(4)
2	7,314	0	0	857	2,272	522	62
	(26)	(0)	(0)	(16)	(124)	(69)	(18)
3	3,931	0	465	919	2,388	636	35
	(26)	(0)	(7)	(14)	(102)	(64)	(6)
累計	65,074	0	33,498	12,235	30,874	6,645	470
	(286)	(0)	(263)	(209)	(1,458)	(820)	(134)

上段：人数

下段：回数

視聴覚教室	料理教室	茶華教室	展示室	プラネタリウム	ふるさと館	月計	累計
855	85	21	107	0	153	14,716	14,716
( 14)	( 4)	( 2)	( 10)	( 0)		( 281)	
1,000	50	71	150	0	199	14,605	29,321
( 18)	( 6)	( 7)	( 13)	( 0)		( 316)	
1,250	107	131	149	248	150	14,995	44,316
( 20)	( 7)	( 7)	( 15)	( 20)		( 341)	
1,015	90	55	109	198	103	19,942	64,258
( 21)	( 11)	( 9)	( 14)	( 15)		( 379)	
923	95	66	115	76	108	17,003	81,261
( 23)	( 8)	( 7)	( 15)	( 20)		( 434)	
959	66	46	80	0	150	13,332	94,593
( 16)	( 5)	( 5)	( 7)	( 0)		( 295)	
845	90	46	245	0	162	9,189	103,782
( 13)	( 7)	( 5)	( 15)	( 0)		( 274)	
910	143	204	302	0	210	21,069	124,851
( 17)	( 14)	( 14)	( 23)	( 0)		( 372)	
510	169	134	122	0	167	11,701	136,552
( 11)	( 13)	( 13)	( 11)	( 0)		( 270)	
740	10	26	130	0	166	7,154	143,706
( 14)	( 2)	( 3)	( 11)	( 0)		( 241)	
892	87	53	167	0	128	12,354	156,060
( 17)	( 7)	( 8)	( 14)	( 0)		( 299)	
1,030	50	31	337	0	210	10,032	166,092
( 14)	( 2)	( 3)	( 17)	( 0)		( 255)	
10,929	1,042	884	2,013	522	1,906	166,092	166,092
( 198)	( 86)	( 83)	( 165)	( 55)		( 3,757)	

# 広瀬歴史記念館の主な施策と実績

## 1 展示内容等

### (1) 展示館の内容

広瀬幸平の一生を、テーマごとに映像や実物資料、パネルを用いて紹介する。別子銅山の経営維持に奔走し、採鉱・精錬・陸運の近代化を推進するなど、わが国の殖産興業に尽力した幸平の姿をみることが出来る。

### (2) 旧広瀬邸（国指定重要文化財）の内容

母屋は明治10年建築、明治20年に現在地に移築、新座敷と庭園は明治22年に建築・造園された。伝統的な日本建築様式を持ちながらも、開国により西洋から輸入されたマントルピース、洋式便器、板ガラス、避雷針といった新しい文化が取り入れられており、そのふたつが見事に調和している。

## 2 資料の収集状況

広瀬家所蔵品、古文書など約3,740点（平成3年5月7日現調）

## 3 平成27年度事業実績

### (1) 特別企画展

ア 特別企画展「近代陶磁デザインの革新・再生と瓢池園」

○ 日時 平成27年10月17日（土）～11月29日（日）

イ 記念講演会「近代陶磁プロデューサー河原徳立と瓢池園」

○ 日時 平成27年10月31日（土）

○ 講師 末岡照啓（住友史料館副館長・新居浜市広瀬歴史記念館特別顧問）

○ 参加人数 85名

### (2) 第9回台所喫茶店

○ 日時 平成27年11月14日（土）・15日（日）

## 4 平成27年度月別観覧者内訳

年 月	開館 日数	観 覧 人 数 (人)							
		一 般					小 計 ①	中学生 以下②	人数 ①+②
		個人	個人減額	団体	観覧料後納	免除			
平成27年 4月	25	400	34	59	0	28	521	257	778
5月	27	509	31	250	0	430	1,220	313	1,533
6月	25	248	13	20	10	5	296	39	335
7月	26	180	7	93	0	84	364	56	420
8月	26	250	20	0	77	63	410	139	549
9月	26	287	9	47	40	4	387	26	413
10月	26	385	48	247	0	368	1,048	239	1,287
11月	24	347	47	196	219	624	1,433	240	1,673
12月	23	169	16	32	0	185	402	21	423
平成28年 1月	24	206	22	0	10	61	299	30	329
2月	23	219	16	50	14	43	342	169	511
3月	27	311	28	98	0	12	449	33	482
	302	3,511	291	1,092	370	1,907	7,171	1,562	8,733

# 図書館の主な施策と実績

## 1 図書館の利用状況

### (1) 貸出図書

(27.4.1～28.3.31)

開館日数 294日

#### ア 本館

(単位：冊)

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	6,127	11,997	26,576	24,790	33,944	52,496	11,105	50,896	4,243	196,320	6,463	104,683	312	33,988	563,940

#### イ 移動図書館

(単位：冊)

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	887	979	2,042	845	2,974	4,258	677	8,064	362	16,480	502	11,901	0	228	50,199

#### ウ 角野分館

(単位：冊)

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	621	1,062	2,840	1,822	3,460	4,534	687	4,806	404	21,156	516	13,124	19	2,530	57,581

#### エ 合計

(単位：冊)

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	7,635	14,038	31,458	27,457	40,378	61,288	12,469	63,766	5,009	233,956	7,481	129,708	331	36,746	671,720

#### オ AV資料

	館内	館外	計
C T(本) (カセットテープ)		0	0
V T(本) (ビデオテープ)	876	492	1,368
C D(枚)		12,978	12,978
DVD(枚)	1,221	18,932	20,153
計	2,097	32,402	34,499

### (2) 登録者数

(単位：人)

区分	児童 (小学生以下)	一般 (中学生以上)	団体	計
登録者	9,487	47,601	239	57,327

### (3) 団体貸出

市内の幼稚園、学校、福祉施設、読書会等に貸出をしている。

貸出冊数 100冊以内、貸出期間は4週間。

平成27年度貸出冊数 26,799冊

(4) 心身障害者に対する図書退出

市内に在住する心身障害者（身体障害者の場合は1級～3級の手帳を有する者）が、貸出希望を申し出た場合、郵送による貸出及び連絡車による配送を実施している。（郵送に要する費用は図書館が負担している。）

貸出冊数5冊以内、貸出期間は30日間。

(5) 開架図書冊数

(28.3.31現在)

(単位：冊)

館別	区分	一 般	児 童	計
本 館		113,591	36,412	150,003
移 動 図 書 館		3,599	7,286	10,885
角 野 分 館		9,267	9,313	18,580
計		126,457	53,011	179,468

(6) リクエスト

(27.4.1～28.3.31)

(単位：件)

館別	区分	窓 口	館内OPAC	WebOPAC	携帯OPAC	リクエスト	合 計
本 館		5,228	2,564	17,684	285	1,731	27,492
移 動 図 書 館		738					738
角 野 分 館		1,096	354			59	1,509
計		7,062	2,918	17,684	285	1,790	29,739

(7) 相互貸借

予約された資料などが自館で手に入らない場合、他館から借用することがある。

(国立国会図書館総合目録ネットワークに参加)

(27.4.1～28.3.31)

(単位：件)

借 受		貸 出	
県内図書館	県外図書館	県内図書館	県外図書館
285	54	65	12

## 2 主な事業

(1) 生涯学習活動の支援、推進と機会の提供

市民の自主的、自発的な学習活動を支援するため、資料・情報提供の推進及び学習機会・場所の提供に努める。図書館企画事業の工夫と蔵書リストの作成配布。展示コーナーの充実。ホール・会議室等における文化集会事業の利用促進。

- ・パスファインダー（主題別資料リスト）の作成

- ・「読書通帳」の作成・配布（平成28年1月）

- ・定例おはなし会

【本館】 毎月第1木曜日（乳幼児0～3歳対象）

毎月第2・4水曜日（幼児対象）

毎月第3土曜日（小学生対象）

【角野分館】 毎月第1・3水曜日（幼児対象）

「紙芝居、絵本の読みきかせ、パネルシアター、エプロンシアター、ストーリーテリング」等を行う。

協力（ボランティア）回転木馬、民話の里すみの 参加者（子ども1,239名、大人751名）

## (2) 地域資料の保存と情報発信

郷土の歴史や文化を次世代に継承するために、郷土・行政資料を積極的に収集・保存し、郷土出身者や郷土の産業遺産等についての情報発信を行う。

- ・愛媛新聞公開データベースの閲覧

- ・別子銅山コーナー・住友関連コーナー等の充実

- ・別子銅山に関する本の解説講座「別子銅山を読む」

あかがねの町新居浜市を紐解く別子銅山に関する本の解説講座。

第1回「別子物語」平成27年5月23日（土）参加者（大人79名）

第2回「産業文化都市創造論」平成27年7月9日（木）参加者（大人52名）

第3回「新居浜の相撲物語」平成27年9月12日（土）参加者（大人48名）

第4回「別子銅山の近代化を支えた端出場水力発電所」平成27年11月14日（土）

参加者（大人49名）

第5回「口屋－現在・過去・未来」平成28年2月20日（土）参加者（大人55名）

- ・「<sup>ライブラリー</sup>図書館&来ぶらり<sup>らい</sup>」

郷土の歴史をたどりながら散策することで、歴史を学びさらには郷土への誇りと愛着を含めることを目的に開催

子ども対象 平成27年7月26日（日）9:00～12:00 参加者（10名）

大人対象 平成27年12月13日（日）13:00～16:00

## (3) 関係機関との連携による地域の情報拠点化の推進

市民の読書活動の推進及び地域課題の解決を支援するため、公共図書館相互の連携のみならず、他の関係機関との資料や情報の相互利用等の協力活動の積極的な実施に努める。

本市子育て支援施策との連携、健康支援、ビジネス支援、就業支援、行政支援の実施、地域等関連情報等の提供と調査を行う。

- ・ブックスタート事業

毎月第1・2火曜日、保健センターの5か月児健康相談（対象996名）において司書が説明の言葉を添えて絵本等の入ったブックスタートパックを手渡す。984名 配布率98.8%

- ・健康講座

市民の多様な健康情報へのニーズにこたえるため、医療機関と連携して健康講座を行い、所蔵する健康関係の図書リストを作成し、配布。（健康支援図書コーナーを設置）

「ロコモ予防で健康長寿！」平成27年5月21日（木）

「おしっこの話」平成27年8月6日（木）

「高齢者とお薬について」平成27年12月10日（木）

「膝を治そう、旅行に行こう」平成28年2月18日（木）

- ・ロビー展

「新居浜市男女共同参画推進週間パネル展」「愛媛県東予地方局地域政策課 東予の誇れる産業遺産（たから）東予管内地域交流巡回パネル展」「eワーク愛媛事業紹介」等 計10回

- ・出前講座

学校、高齢者福祉施設等へ出かけ「お話し会」を行い、本やお話に親しんでもらい、図書館のPRも行う。学校図書館支援員、協力（ボランティア）回転木馬 計23回

参加者（子ども861名、大人176名）

- ・図書館ネットワーク

- ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスによる資料提供

・愛媛県立図書館図書の遠隔地返却サービス協力

#### (4) 学校図書館との連携

子どもの読書活動・学習活動を推進していくため、学校や学校図書館との連携を行う。

・団体貸出、図書館見学・職場体験の受入、図書購入時や調べ学習の図書リストの作成・情報提供、リサイクル図書等の活用

#### (5) 図書館 PR 活動の充実

図書館の活動を市民によく知ってもらい、図書館の利用促進につなげるため、PR 活動の改善を図る。

・「移動図書館青い鳥号のペーパークラフトをつくろう！」

こども読書週間イベント。気軽に図書館に来てもらえるよう、図書館ロビーにて移動図書館の立体工作を作成。平成 27 年 5 月 5 日（火）、6 日（水）10:00～16:00 参加者（60 名）

・「わけちゃんの人形劇」

和気 瑞江さんによるパネルシアター

『たまごをポン!』『大きなだいこん』『のっぺらぼう』と人形劇『なかよし』

講師 和気 瑞江 平成 27 年 7 月 4 日（土）10:30～11:30 参加者（子ども 95 名 大人 71 名）

・夏休みは図書館へいこう！

第 1 弾「夏休み子ども探検隊とオリジナルバックをつくろう」平成 27 年 7 月 23 日（木）

図書館子ども探検隊 10:00～10:30 オリジナルバックづくり 10:30～12:00

書庫等の見学、本が書架にならぶまでのしくみや便利な図書館サービスの紹介。

基本のさかなをアレンジしたオリジナルバックを作成。

参加者（小学生親子 21 組）

第 2 弾「夏休み体験！子ども一日図書館員」平成 27 年 7 月 30 日（木）

図書館見学と窓口体験 13:00～13:40

リーフレットづくり 13:50～16:00

今年度からユネスコスクールの取り組みが行われており、持続的発展教育に関するテーマの図書から、子どもたちに紹介リーフレットづくりに取り組んでもらった。

参加者（小学生 4～6 年生 13 名）

第 3 弾「夏の夜のちょっと怖いお話会と夜の図書館探検」平成 27 年 8 月 7 日（金）

子どもと大人対象の怖いお話と語り。19:15～20:00 参加者（子ども 72 名、大人 45 名）

夜の図書館探検 20:00～20:30 参加者（子ども 45 名）

・図書館まつり

日頃、図書館を支えてくださっている市民の皆さんに感謝し、楽しんでもらうため開催。

平成 27 年 11 月 29 日（日）

「ブックリサイクル」 9:00～

図書館での役割を終えた本や雑誌、市民からの寄贈本（重複及び図書館において資料的価値のないもの）約 11,355 冊を市民に無償で提供した。参加者（来場者約 475 人）

「図書館見学」 13:00～13:30

図書館の概要、書庫、郷土資料室等施設の見学。参加者（10 名）

「ゆがみ発見！らくらく骨盤ストレッチ講座」13:30～16:00

クリニカルカイロラクロス沖本院長とスタッフ 3 名を講師に、歪みや姿勢の説明から家庭でもできる歪み検査やストレッチのコツなどを教わった。参加者（31 名）

「くみ紐講座」13:30～16:00

初心者でもわかりやすく、モノづくりの楽しさと達成感を味わえる講座。参加者（13 名）

(6) 移動図書館の利用促進

学校の昼休み乗り入れや、高齢者福祉施設、病院、幼稚園等へのステーション設置により、利用促進を図る。市内 33 ステーションを運行（うち小学校 13 校、中学校 2 校）。

(7) 資料の収集、除籍の計画的な実施

図書館資料の収集、除籍を迅速・計画的に行い、資料の有効活用を図る。

・雑誌スポンサー制度の実施（平成 24 年 7 月 1 日より開始）

「雑誌スポンサー制度」とは、雑誌そのものを寄贈してもらうのではなく、雑誌の購入代金を負担してもらう制度。雑誌は、図書館の中でも回転率の高い資料で、多くの人が毎日利用しているので、高い広告価値がある。（雑誌 209 タイトル中 17 タイトル）

# 総合文化施設（あかがねミュージアム）の主な施策と実績

## 1 月別入館者数

	平成 27 年度
7 月	33,669
8 月	27,374
9 月	17,916
10 月	16,838
11 月	25,356
12 月	17,110
1 月	15,931
2 月	19,342
3 月	18,658
計	192,194

## 2 平成 27 年度新居浜市美術館展示内容

- 40年の歩み～美術館から総合文化施設へ～ 7月18日（土）～10月18日（日）38,629人
- あかがねミュージアム開館記念 夢とロマンの探求者 寺坂公雄展  
7月18日（土）～8月30日（日）28,428人
- 新居浜の美術 昨日・今日・明日 I～新居浜の現代洋画1960年代以降を中心に～  
9月5日（土）～10月18日（日）7,763人
- 新居浜市美術館開館記念展「新居浜―日本回想の新居浜美術 1890-2015」  
11月3日（火）～12月20日（日）9,215人
- 新居浜の美術 昨日・今日・明日 II～新居浜市所蔵日本画を中心に～  
1月9日（土）～2月28日（日）5,114人
- あかがねミュージアム運営グループ企画おもちゃ図書館きしゃポッポ20年の歩み  
私たちの「たからもの」展 1月5日（火）～1月14日（木）6,078人
- 平成27年度第40回東予地区高等学校美術・工芸、書道展 1月24日（日）～2月14日（日）7,000人
- 平成27年度第35回新居浜こども美術展 2月17日（水）～2月28日（日）7,798人
- 幻聴 別子銅山300年の歴史が語るもの 山中賢一写真展 3月5日（土）～4月17日（日）6,410人
- 大阪市立美術館所蔵住友コレクションの近代日本画―関西邦画展覧会回顧―  
3月12日（土）～4月17日（日）5,946人

## 3 平成 27 年度主なイベント

- (1) オープニングイベント 7月18日（土）～20日（月）  
  - オープニング基調講演 鴻上尚史「コミュニケーションの達人になる方法」
  - オープニング対談 デーモン閣下×鴻上尚史「文化と遊びと場所」

高見知佳「ようこそ絵本の世界へ」  
キッズショー歌と踊りのハピクラショー  
スペシャル バラエティーショー  
オープニングツーマンライブ 関取花・岩崎愛  
オープニングスペシャルライブ 小山田壮平×藤原寛  
あかがね音楽祭  
太鼓台競演（松木坂井太鼓台・庄内太鼓台）

(2) 太鼓台展示

7月18日（土）～10月4日（日） 金栄太鼓台  
10月6日（火）～12月6日（日） 松木坂井太鼓台  
12月8日（火）～2月6日（土） 田の上太鼓台  
2月7日（日）～4月30日（土） 宇高太鼓台

(3) 展覧会関連イベント

7月20日（月） 「新居浜藻谷塾」  
11月7日（土） 湯浅譲二と語る「実験工房」  
11月8日（日） ピアノコンサート『「実験工房」演奏会再演』  
11月15日（日） ワクワクこどもギャラリートーク  
11月21日（土） 記念講演会「住友春翠と近代美術 黒田清輝の支援者」  
11月22日（日） 講演会「新居浜ー日本」  
11月29日（日） ワクワクこどもギャラリートーク（12月13日（日））  
3月12日（土） 山中賢一写真展関連企画 アーティストトーク  
3月12日（土） 学芸員によるギャラリートーク（4月9日（土））  
3月26日（土） 講演会「住友コレクションの日本画」

(4) その他

8月15日（土） 劇団笑夢公演「にいのものがたり」（8月16日（日））  
8月22日（土） あかがねロックフェスティバル  
9月22日（火） 虚構の劇団「ホーボーズ・ソング」～スナフキンの手紙Neo～（9月23日（水））  
11月15日（日） リュートとつむぐ歌と詩「まど・みちお&武満徹」  
出演：石丸幹二、つのだたかし  
10月4日（日） あかがねフォーク・ポップコンサート  
10月22日（木） 「あとの祭り」～篠笛とからくり音楽のゆうべ～  
11月28日（土） 平成27年度公共ホール音楽活性化支援事業「北島佳奈ヴァイオリンコンサート」  
12月13日（日） 「シネマの天使」新居浜特別上映会&石田えり舞台挨拶  
12月20日（日） らくさぶろうのおしゃべりコンサート「最高のホルンの響き」  
1月13日（水） あかがね新春寄席 古今亭菊志ん独演会  
1月17日（日） 上野の森ブラスコンサート

#### 4. 教育普及事業、ワークショップ

7月30日（木） ぼくたち私たちの壁プロジェクト  
11月22日（日） あかがね親子陶芸教室  
12月13日（日） あかがね親子陶芸教室  
12月27日（日） あかがね親子陶芸教室  
1月5日（火） まちゆりとみきゃんのでんでんを太鼓をつくろう  
2月20日（土） やってみよう！えんげきワークショップ  
2月27日（土） ぼくたち私たちの壁プロジェクト「鉾石を使って絵具をつくろう」（2月28日（日））